

新温泉町地方創生に関する住民アンケート
結果報告書

平成27年9月

◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下1位で表示しているため、合計が100%にならない場合がある。
- グラフ中のNは構成比を表示する際の母数を示す。合計には無回答を含むため、各項目の合計と一致しない場合がある。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査項目	1
3	調査の設計	1
4	回収結果	1
II	調査の結果	2
1	回答者の属性	2
(1)	性別・年齢	2
(2)	家族構成	3
(3)	職業	4
(4)	住居	5
(5)	町内での居住年数	6
(6)	現在お住まいの校区	6
2	人口減少について	7
問 1	あなたは、新温泉町の人口が減少していくことについて、どのように思いますか。	7
問 2	人口減少に歯止めをかけながら活力ある地域づくりを進めるうえで、今後、新温泉町が重視して取り組むべきことは、何だと思いますか。	9
3	人口減少対策についての具体的な取り組みについて	11
問 3	安定した雇用を創出し、安心して働けるようにするためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。	11
問 4	町外からの新しい人の流れ（U I J ターンなど）をつくるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。	15
問 5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。	19
問 6	人口が減少しても安心して暮らすためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。	23
問 7	子どもの教育環境の充実とふるさと意識を醸成するためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。	27
問 8	高齢者が安心していきいきと暮らすためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。	31
問 9	まちのにぎわいをつくるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。	35

問 1 0	他の地域との交流や連携を進める際に、どのようなことが重要・必要だと思いますか。……………	39
4	新温泉町のまちづくりについて……………	42
問 1 1	新温泉町は住みやすいまちですか。……………	42
問 1 1	前問で「5 わからない」以外を答えた方にお聞きします。なぜ、そのよう - 1 に感じるのですか。……………	44
問 1 2	現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。……………	45
問 1 2	前問で「4 わからない」以外を答えた方にお聞きします。なぜ、そのよう - 1 に思うのですか。……………	47
問 1 3	新温泉町をイメージする時、どのようなことが思い浮かびますか。……………	48
問 1 4	新温泉町の好きなところ・誇れるところは何ですか。……………	49
問 1 5	新温泉町のよくないところ・改善すべきところは何ですか。……………	53
問 1 6	新温泉町が将来どのような特色をもったまちになることを期待しますか。……	57
問 1 7	新温泉町を活性化するためには、どのような地域資源を活かせばよいと思 いますか。……………	59
問 1 8	時代の流れへの対応は重要な課題であると考えていますが、人口減少以外に 特に重要かつ優先的に対応すべきと考えるものは何ですか。……………	61
5	結婚・出産・子育てに関する意識や希望について……………	63
問 1 9	あなたは現在結婚（事実婚含む）をしていますか。……………	63
問 2 0	現在結婚している方にお伺いします。知り合ったきっかけは何ですか。……………	64
問 2 1	現在独身の方に、あなたの結婚観についてお伺いします。……………	65
問 2 2	結婚したい年齢は何歳ぐらいですか。……………	67
問 2 3	あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。……………	68
問 2 4	あなた自身またはあなたのパートナーはこれまでに出産したことがあります か。……………	70
問 2 5	前問で「1 ある」と答えた方にお伺いします。これまでに生んだお子さん の人数は何人ですか。……………	71
問 2 6	あなたは理想として、お子さんを何人欲しいと思いますか（思いましたか）。……	72
問 2 7	理想の人数より実際のお子さんの人数が少ない方にお伺いします。その理由 は何ですか。……………	73
問 2 8	あなたの世帯の働き方は次のどれにあてはまりますか。……………	75
Ⅲ	主な自由意見……………	76
	アンケート調査票……………	78

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、国が推進する地方創生を目的とした人口ビジョン及び総合戦略策定の基礎資料とするため、無作為に抽出した 18 歳以上の住民の方 3,000 人を対象にアンケート調査を行い、町の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とする。

2 調査項目

- 人口減少について
- 人口減少対策についての具体的な取り組みについて
- 新温泉町のまちづくりにについて
- 結婚・出産・子育てに関する意識や希望について

3 調査の設計

①調査対象地域

町全域

②調査対象

平成 27 年 7 月 2 日現在 新温泉町内在住の 18 歳以上の住民の方 3,000 人

③抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出

④調査方法

郵送配布、回収

⑤調査時期

平成 27 年 7 月 10 日（金）から 7 月 27 日（月）まで

4 回収結果

- | | |
|-------|-------|
| ①配布数 | 3,000 |
| ②回収数 | 1,132 |
| ③未到達数 | 3 |
| ④回収率 | 37.8% |

II 調査の結果

1 回答者の属性

(1) 性別・年齢

<性別>

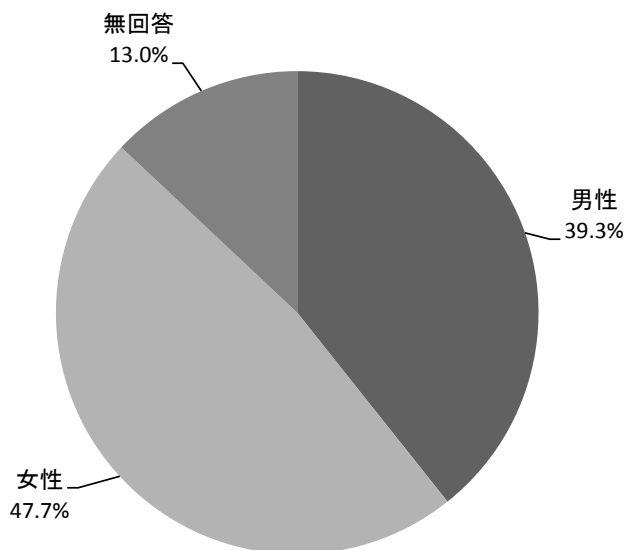
〔男性〕が 39.3%、〔女性〕が 47.7%で〔女性〕の方が 8.4 ポイント高い。

<年齢>

年齢構成は、〔29 歳以下〕が 6.2%、〔30 歳代〕が 8.1%、〔40 歳代〕が 9.5%、〔50 歳代〕が 16.8%、〔60 歳代〕が 24.7%、〔70 歳代〕が 18.0%、〔80 歳以上〕が 13.7%となっている。〔60 歳代〕が最も高く、これに〔70 歳代〕〔50 歳代〕〔80 歳以上〕が続き、60 歳以上が 56.4%と半数以上となっている。

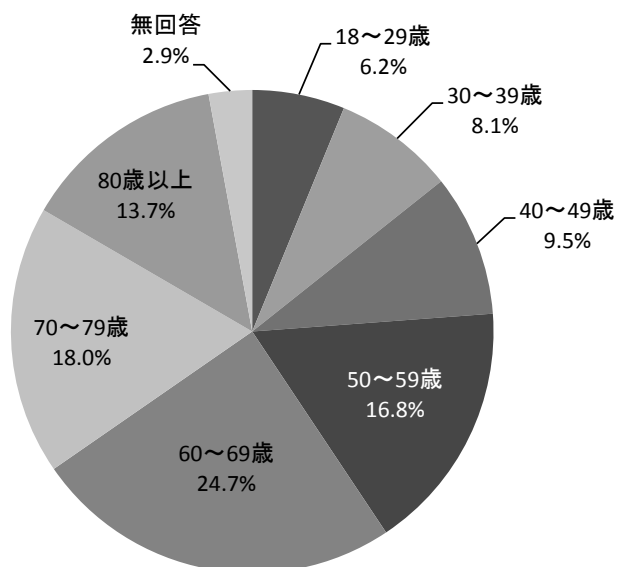
<性別>

調査数	1,132	100.0%
男性	445	39.3%
女性	540	47.7%
無回答	147	13.0%



<年齢>

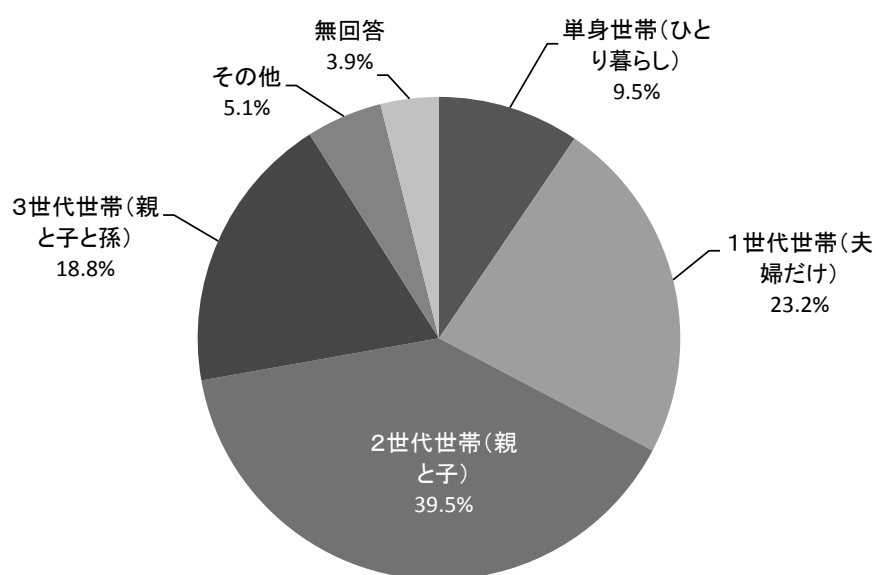
調査数	1,132	100.0%
18～29歳	70	6.2%
30～39歳	92	8.1%
40～49歳	108	9.5%
50～59歳	190	16.8%
60～69歳	280	24.7%
70～79歳	204	18.0%
80歳以上	155	13.7%
無回答	33	2.9%



(2) 家族構成

〔単身世帯〕が9.5%、夫婦のみなどの〔1 世代世帯〕が23.2%、核家族などの〔2 世代世帯〕が39.5%、〔3 世代世帯〕が18.8%となっていて、〔2 世代世帯〕が4 割を占めている。

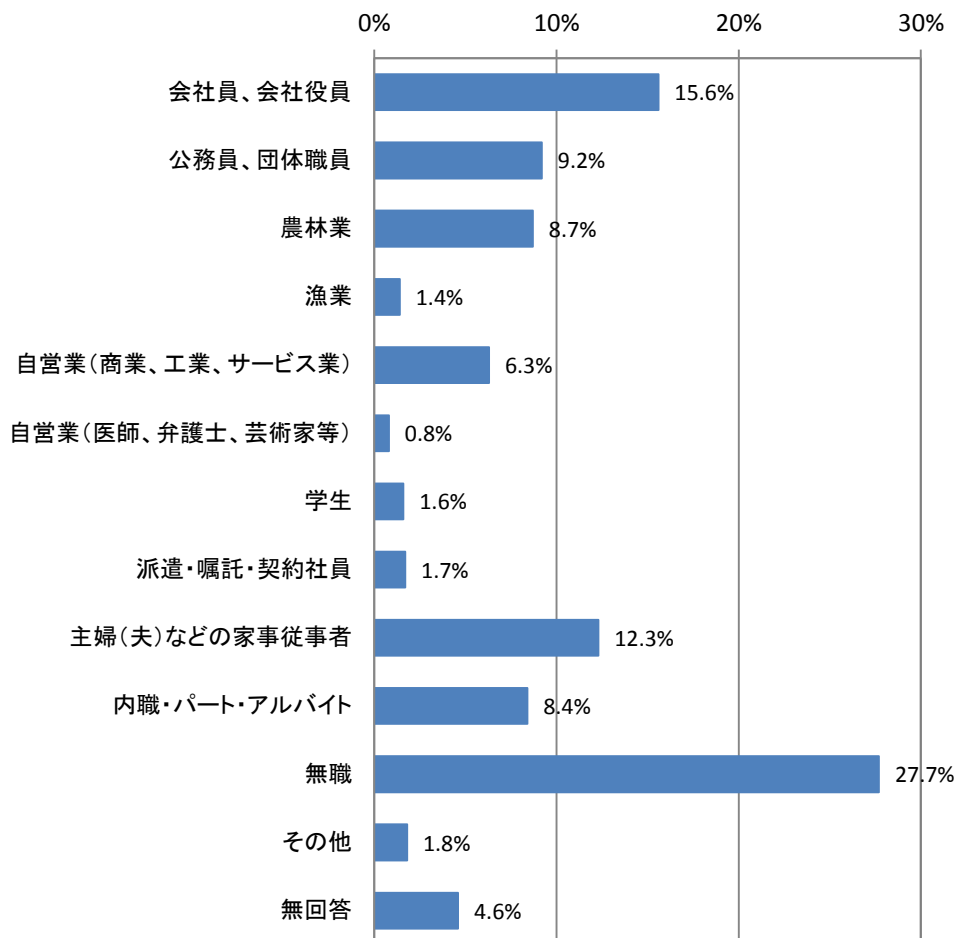
調査数	1,132	100.0%
単身世帯(ひとり暮らし)	107	9.5%
1世代世帯(夫婦だけ)	263	23.2%
2世代世帯(親と子)	447	39.5%
3世代世帯(親と子と孫)	213	18.8%
その他	58	5.1%
無回答	44	3.9%



(3) 職業（兼業の方は主なもの）

比率が高い順に〔無職〕が 27.7%、〔会社員・会社役員〕が 15.6%、〔主婦（夫）などの家事従業者〕が 12.3%、〔公務員・団体職員〕が 9.2%、〔農林業〕が 8.7%、〔内職・パート・アルバイト〕が 8.4%となっている。

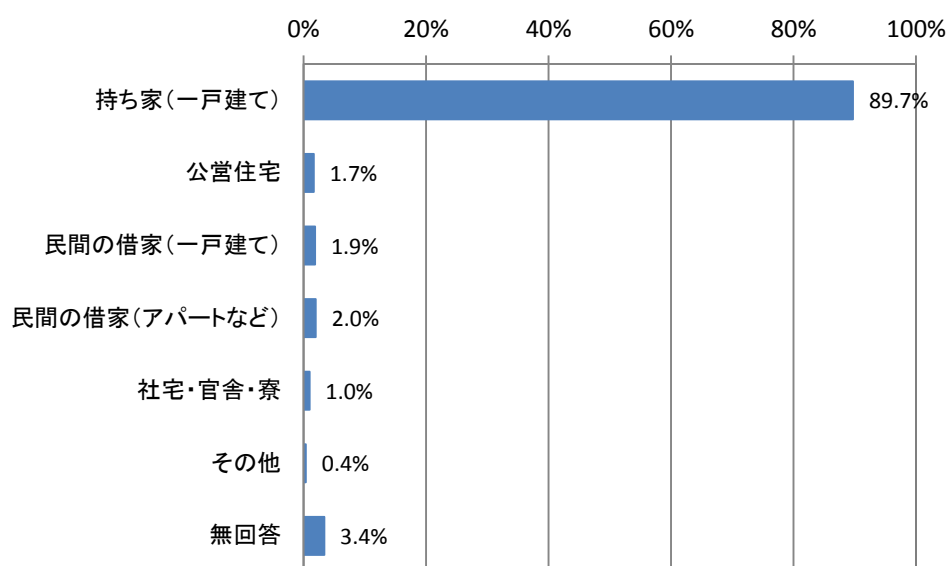
調査数	1,132	100.0%
会社員、会社役員	177	15.6%
公務員、団体職員	104	9.2%
農林業	98	8.7%
漁業	16	1.4%
自営業（商業、工業、サービス業）	71	6.3%
自営業（医師、弁護士、芸術家等）	9	0.8%
学生	18	1.6%
派遣・嘱託・契約社員	19	1.7%
主婦（夫）などの家事従事者	139	12.3%
内職・パート・アルバイト	95	8.4%
無職	314	27.7%
その他	20	1.8%
無回答	52	4.6%



(4) 住居

〔持ち家(一戸建て)〕が 89.7%を占めている。

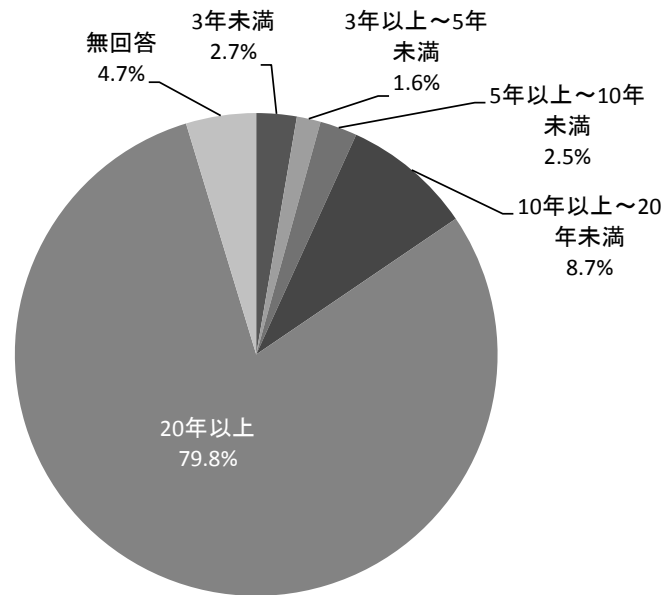
調査数	1,132	100.0%
持ち家(一戸建て)	1,015	89.7%
公営住宅	19	1.7%
民間の借家(一戸建て)	22	1.9%
民間の借家(アパートなど)	23	2.0%
社宅・官舎・寮	11	1.0%
その他	4	0.4%
無回答	38	3.4%



(5) 町内での居住年数

〔20 年以上〕が 79.8%で大半を占めている。〔10 年以上～20 年未満〕の 8.7%と合わせると
ほぼ 9 割が 10 年以上である。5 年未満は 1 割に満たない。

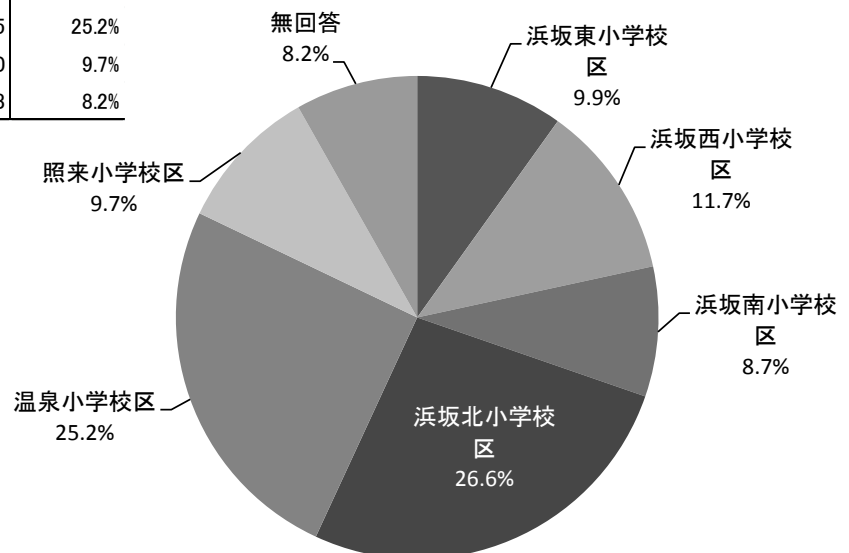
調査数	1,132	100.0%
3年未満	31	2.7%
3年以上～5年未満	18	1.6%
5年以上～10年未満	28	2.5%
10年以上～20年未満	99	8.7%
20年以上	903	79.8%
無回答	53	4.7%



(6) 現在お住まいの校区

比率が高い順に〔浜坂北小学校区〕が 26.6%、〔温泉小学校区〕が 25.2%、〔浜坂西小学校区〕が 11.7%、〔浜坂東小学校区〕が 9.9%、〔照来小学校区〕が 9.7%、〔浜坂南小学校区〕が 8.7%となっている。

調査数	1,132	100.0%
浜坂東小学校区	112	9.9%
浜坂西小学校区	132	11.7%
浜坂南小学校区	99	8.7%
浜坂北小学校区	301	26.6%
温泉小学校区	285	25.2%
照来小学校区	110	9.7%
無回答	93	8.2%



2 人口減少について

問1 あなたは、新温泉町の人口が減少していくことについて、どのように思いますか。(○は1つ)

【全体】

比率が高い順に「現在より増加するよう努力すべき」が34.0%、「できるだけ減少幅が小さくなるよう努力すべき」が31.1%となっており、人口減少に歯止めをかけるための努力が求められているといえる。

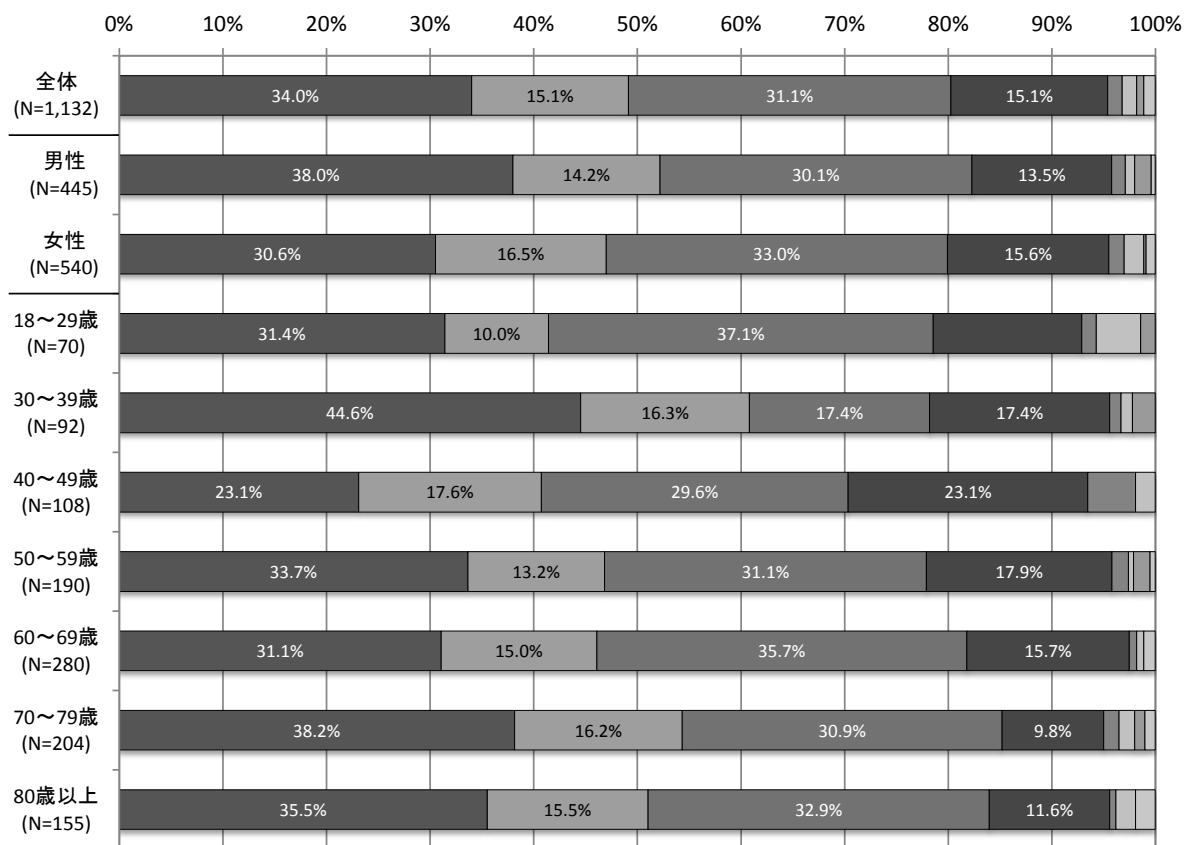
【男女別にみた特徴】

「現在より増加するよう努力すべき」は、〔女性〕より〔男性〕の方の比率が高く、〔男性〕の人口増加希望が強いといえる。

【年齢別にみた特徴】

「現在より増加するよう努力すべき」は〔30歳代〕で最も高く、〔40歳代〕で最も低い。〔40歳代〕では「人口減少は望ましくないが、やむを得ない」の比率が各年代層の中で最も高くなっている。

	調査数	よく、人口減少は望ましくなるよう努力すべき	人口減少は望ましくなる程度の人を維持すべき	人口減少は望ましくなるだけ減少幅が小さくなるよう努力すべき	人口減少は望ましくないが、やむを得ない	人口減少は望ましくないが、でもしなくてもどちらでもよい	わからない	その他	無回答
全体	1132	385	171	352	171	16	16	8	13
	100.0%	34.0%	15.1%	31.1%	15.1%	1.4%	1.4%	0.7%	1.1%
男性	445	169	63	134	60	6	4	7	2
	100.0%	38.0%	14.2%	30.1%	13.5%	1.3%	0.9%	1.6%	0.4%
女性	540	165	89	178	84	8	10	1	5
	100.0%	30.6%	16.5%	33.0%	15.6%	1.5%	1.9%	0.2%	0.9%
無回答	147	51	19	40	27	2	2	-	6
	100.0%	34.7%	12.9%	27.2%	18.4%	1.4%	1.4%	-	4.1%
18～29歳	70	22	7	26	10	1	3	1	-
	100.0%	31.4%	10.0%	37.1%	14.3%	1.4%	4.3%	1.4%	-
30～39歳	92	41	15	16	16	1	1	2	-
	100.0%	44.6%	16.3%	17.4%	17.4%	1.1%	1.1%	2.2%	-
40～49歳	108	25	19	32	25	5	2	-	-
	100.0%	23.1%	17.6%	29.6%	23.1%	4.6%	1.9%	-	-
50～59歳	190	64	25	59	34	3	1	3	1
	100.0%	33.7%	13.2%	31.1%	17.9%	1.6%	0.5%	1.6%	0.5%
60～69歳	280	87	42	100	44	2	2	-	3
	100.0%	31.1%	15.0%	35.7%	15.7%	0.7%	0.7%	-	1.1%
70～79歳	204	78	33	63	20	3	3	2	2
	100.0%	38.2%	16.2%	30.9%	9.8%	1.5%	1.5%	1.0%	1.0%
80歳以上	155	55	24	51	18	1	3	-	3
	100.0%	35.5%	15.5%	32.9%	11.6%	0.6%	1.9%	-	1.9%
無回答	33	13	6	5	4	-	1	-	4
	100.0%	39.4%	18.2%	15.2%	12.1%	-	3.0%	-	12.1%



- 人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべき
- 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持すべき
- 人口減少は望ましくないが、できるだけ減少幅が小さくなるよう努力すべき
- 人口減少は望ましくないが、やむを得ない
- 人口が減少してもしなくても、どちらでもよい
- わからない
- その他
- 無回答

問2 人口減少に歯止めをかけながら活力ある地域づくりを進めるうえで、今後、新温泉町が重視して取り組むべきことは、何だと思いますか。（〇は3つまで）

【全体】

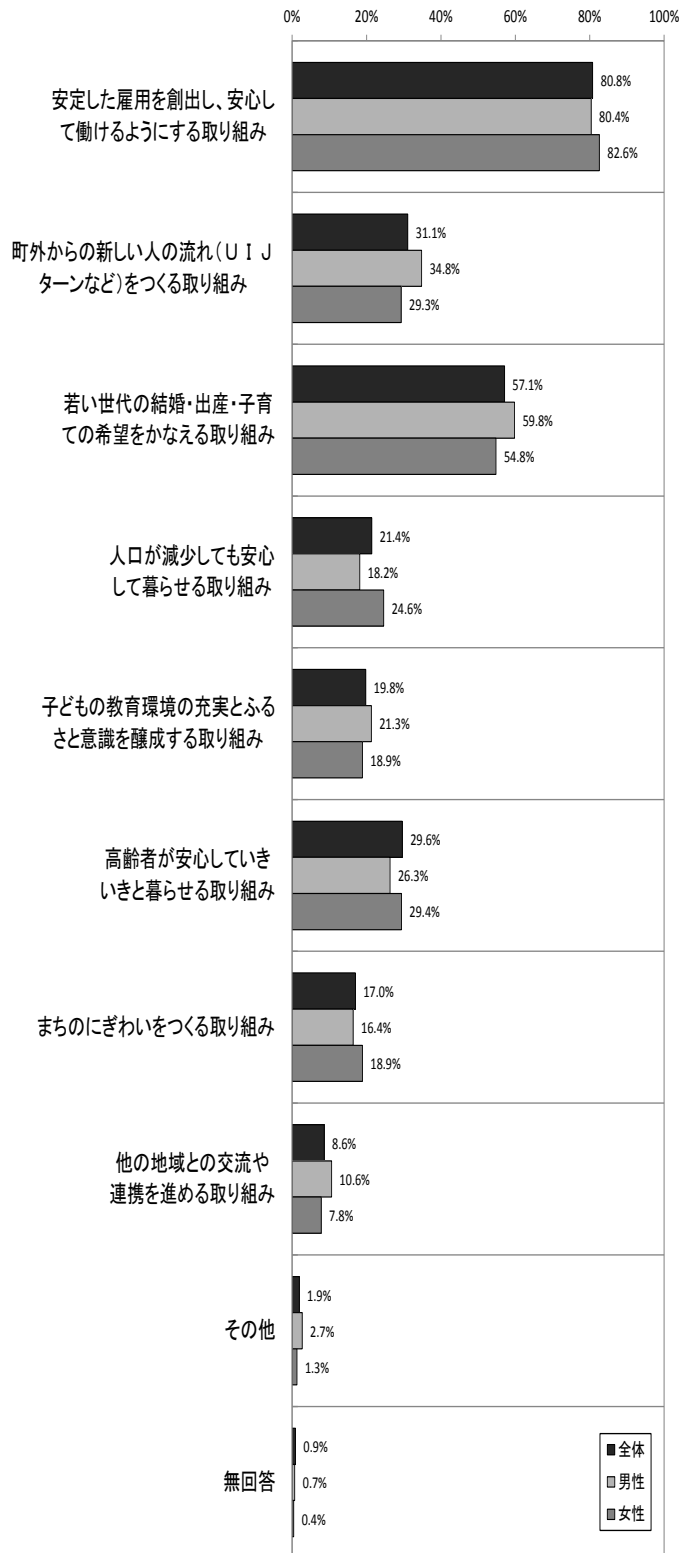
比率が高い順に「安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする」が80.8%、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が57.1%となっている。安定した雇用の確保が基本で、その上での若い世代の希望の実現が求められているといえる。

【年齢別にみた特徴】

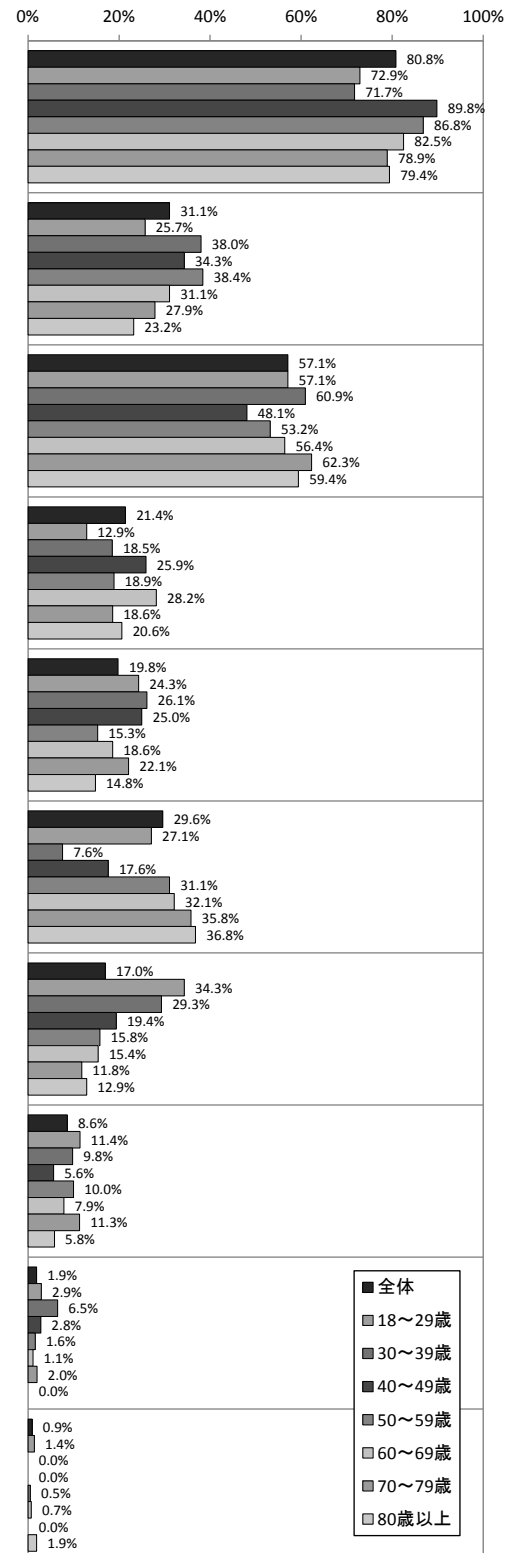
「安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする」は〔40歳代〕で最も高く、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」は〔70歳代〕で最も高く〔40歳代〕が最も低い。特に〔40歳代〕では安定した雇用の確保の希望が強いといえる。「まちのにぎわいをつくる取り組み」では若い層ほど比率が高くなっており、若い世代については、雇用の確保、結婚・出産・子育てとともに、にぎわいづくりを重視した取り組みが求められているといえる。

調査数	1,132	100.0%
安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする取り組み	915	80.8%
町外からの新しい人の流れ(UJターンなど)をつくる取り組み	352	31.1%
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組み	646	57.1%
人口が減少しても安心して暮らせる取り組み	242	21.4%
子どもの教育環境の充実とふるさと意識を醸成する取り組み	224	19.8%
高齢者が安心していきいきと暮らせる取り組み	335	29.6%
まちのにぎわいをつくる取り組み	193	17.0%
他の地域との交流や連携を進める取り組み	97	8.6%
その他	22	1.9%
無回答	10	0.9%

【男女別】



【年齢別】



3 人口減少対策についての具体的な取り組みについて

問3 安定した雇用を創出し、安心して働けるようにするためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。（○は3つまで）

【全体】

比率が高い順に「観光産業の振興」が51.4%、「農林水畜産業の振興」が47.2%、「後継者の確保・育成」が41.2%となっている。観光産業や農林水畜産業という本町の基幹産業の振興には、後継者の問題が重視されているといえる。

【男女別にみた特徴】

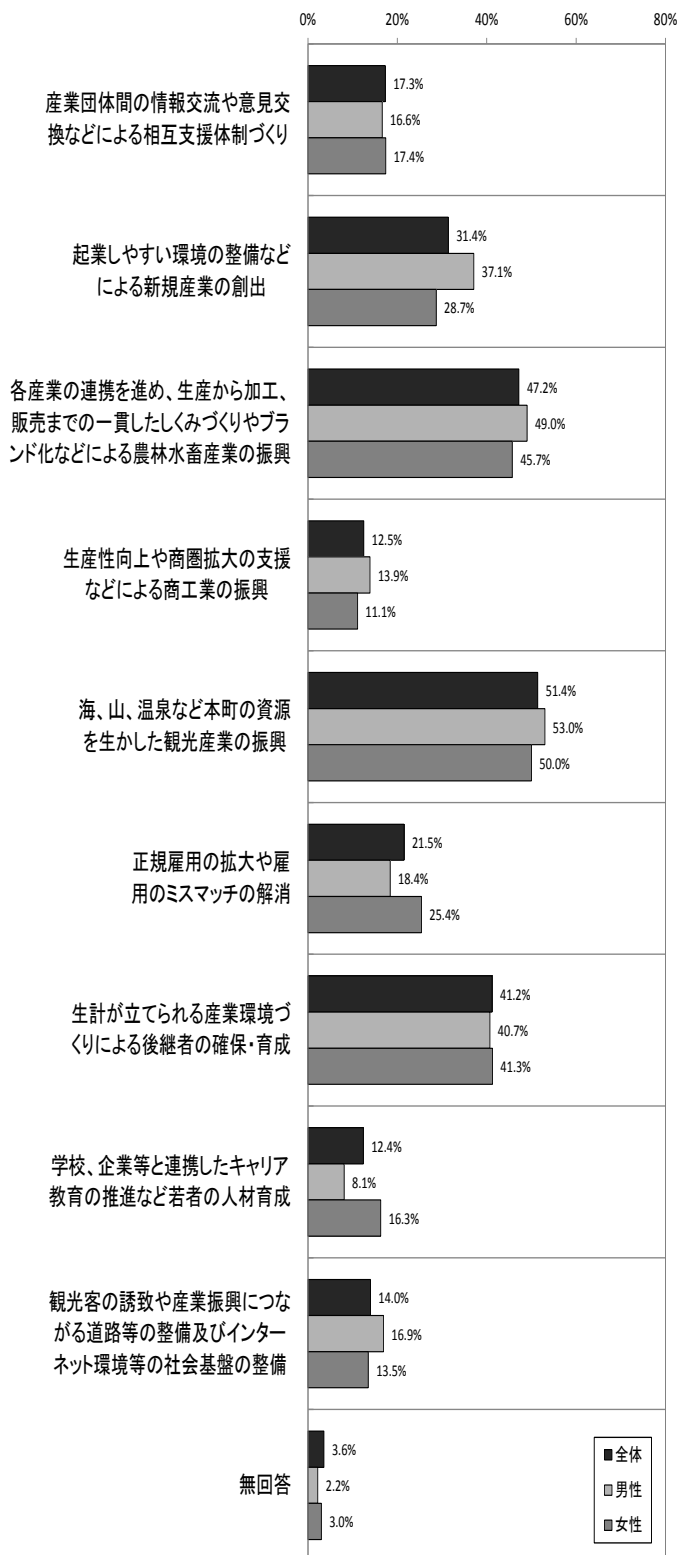
「新規産業の創出」は、〔女性〕より〔男性〕の方の比率が高い。

【年齢別にみた特徴】

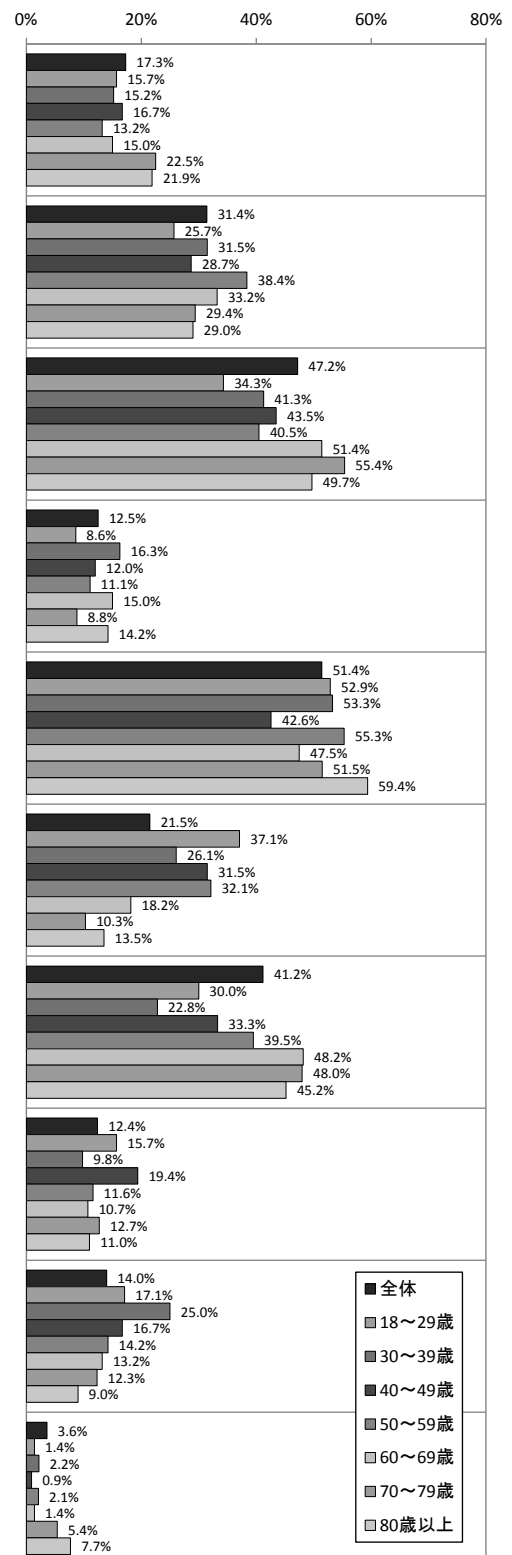
「農林水畜産業の振興」と「後継者の確保・育成」は、年齢階層が高くなるほど比率が高まる傾向がある。

調査数	1,132	100.0%
産業団体間の情報交流や意見交換などによる相互支援体制づくり	196	17.3%
起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出	355	31.4%
各産業の連携を進め、生産から加工、販売までの一貫したCKみづくりやブランド化などによる農林水畜産業の振興	534	47.2%
生産性向上や商圏拡大の支援などによる商工業の振興	142	12.5%
海、山、温泉など本町の資源を生かした観光産業の振興	582	51.4%
正規雇用の拡大や雇用のミスマッチの解消	243	21.5%
生計が立てられる産業環境づくりによる後継者の確保・育成	466	41.2%
学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成	140	12.4%
観光客の誘致や産業振興につながる道路等の整備及びインターネット環境等の社会基盤の整備	158	14.0%
無回答	41	3.6%

【男女別】



【年齢別】



具体的な提案

●相互支援体制づくり

- ・観光業者を含めた地産地消の徹底

●新規産業の創出

- ・起業するための支援基金や補助金などの確保
- ・インターネットを利用した会社での雇用
- ・ドラマ、映画の撮影ポイントの提供（インターネットでの売り込み等）
- ・温水プール施設、マラソンコース、体育館等、年中使用可能な施設及び公的な宿泊施設の充実により、全国スポーツ国体の合宿所、練習所、保養所としての事業創設
- ・新温泉町で収益の高い産業の上位3位までを絞りこみ、重点的にその産業の振興（人、金、物）

●農林水畜産業の振興

- ・旧温泉町は水がきれいであり、水を元として生産できる商品、農作物(米・酒・豆腐・ワサビ・魚など)を各地区が主に試行する
- ・但馬牛の海外への販路を伸ばす
- ・水産業の養殖によるブランドづくり、放置農地の再利用による農業の安定化
- ・ハウス栽培等を1つのビジネスにしていく取り組み
- ・温泉を生かした魚の養殖及び野菜の生産
- ・食品加工（ハマダイコン、サツマイモ等）
- ・農林水産省の6次産業化の具体化
- ・町営農園の設置

●商工業の振興

- ・大胆な誘致施策（地代、税金、助成金等）と営業（宣伝等）
- ・税の優遇措置等による企業誘致
- ・工業団地の整備

●観光産業の振興

- ・耕作放棄地や空き家を利用した体験型観光の実施、ライダーハウス等の簡易宿泊所等の整備
- ・新温泉町に来れば幸せで健康になる！というような海産物（畜産）の食事提供や温泉を利用したツアーを企画する
- ・総合レジャー施設の整備（海の見える温泉施設、釣り堀等）

●雇用

- ・雇用条件を高卒以上に絞らない
- ・身内採用等、内々で決めない

●若者の人材育成

- ・若者に仲間づくり、町の産業のアルバイト、美しい自然の中での思い出づくり等を経験させる
- ・集落営農組織を育成し、広域の支援雇用の創出

●社会基盤の整備

- ・インフラの整備
- ・列車の本数の増便

●その他

- ・メディアを活用したアピールの強化
- ・新温泉町という町名を活かし、ネットで「温泉」のキーワードで必ず上位に入るようにする。さらに、スポットを増やし、景観、イベント、ブランド化、海外からの交通手段を整備する。若い世代をターゲットにしアスレチックや自然環境での遊び、キャンプ、その他を温泉と連動させる
- ・空き家、休耕田の町外者への貸与等による田舎暮らしの推進
- ・空き家（駅前通りから旭町三角までの町内）をリフォーム活用し、この通りのシャッターに絵を書き、人を集める賑わい通りにする

問4 町外からの新しい人の流れ（U I Jターンなど）をつくるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。（○は3つまで）

【全体】

比率の高いものから順に「情報発信や受け入れ体制等の環境づくり」が 58.7%、「正規雇用の拡大や雇用機会の創出」が 52.4%、「Uターンを目指す取り組み」が 32.8%となっており、受け入れ体制の取り組みとして、雇用の確保も重視されているといえる。

【男女別にみた特徴】

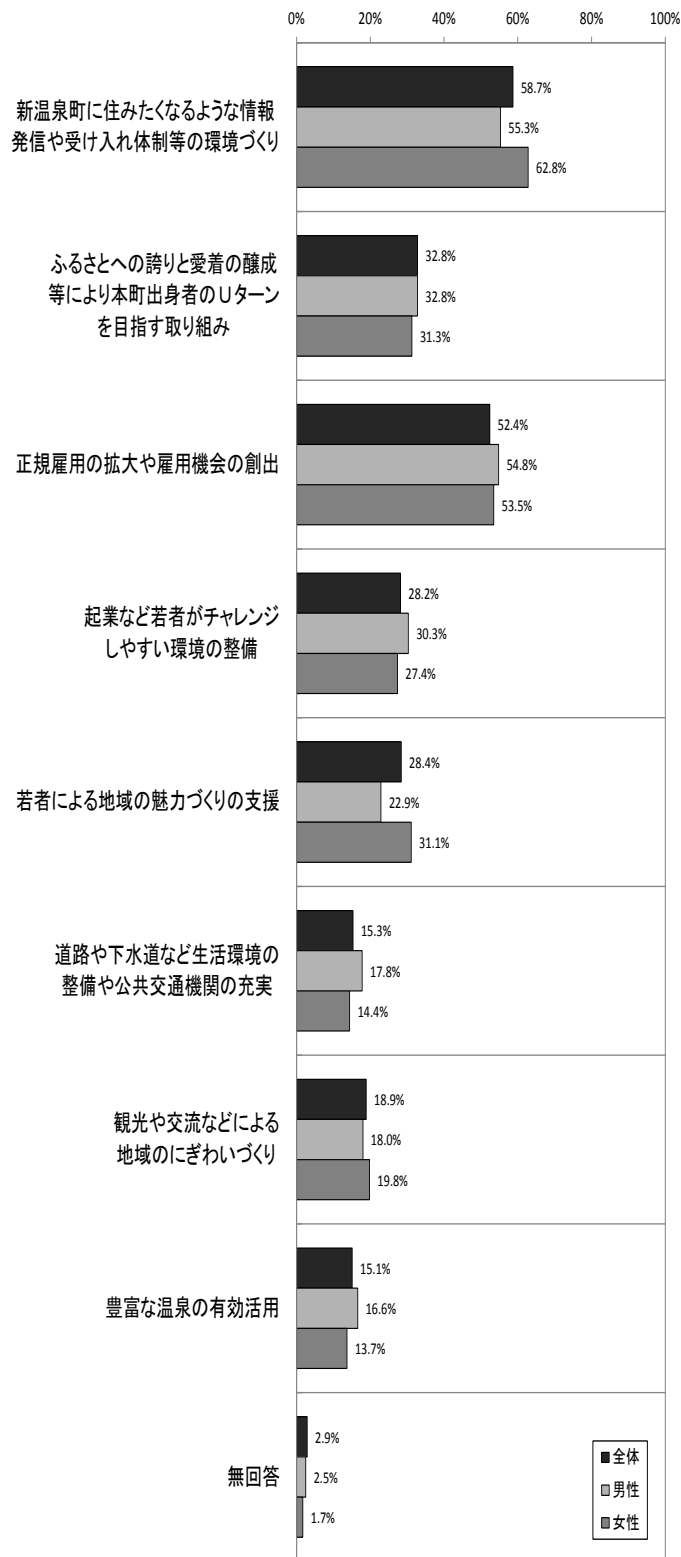
「情報発信や受け入れ体制等の環境づくり」は、〔男性〕より〔女性〕の方の比率が高い。

【年齢別にみた特徴】

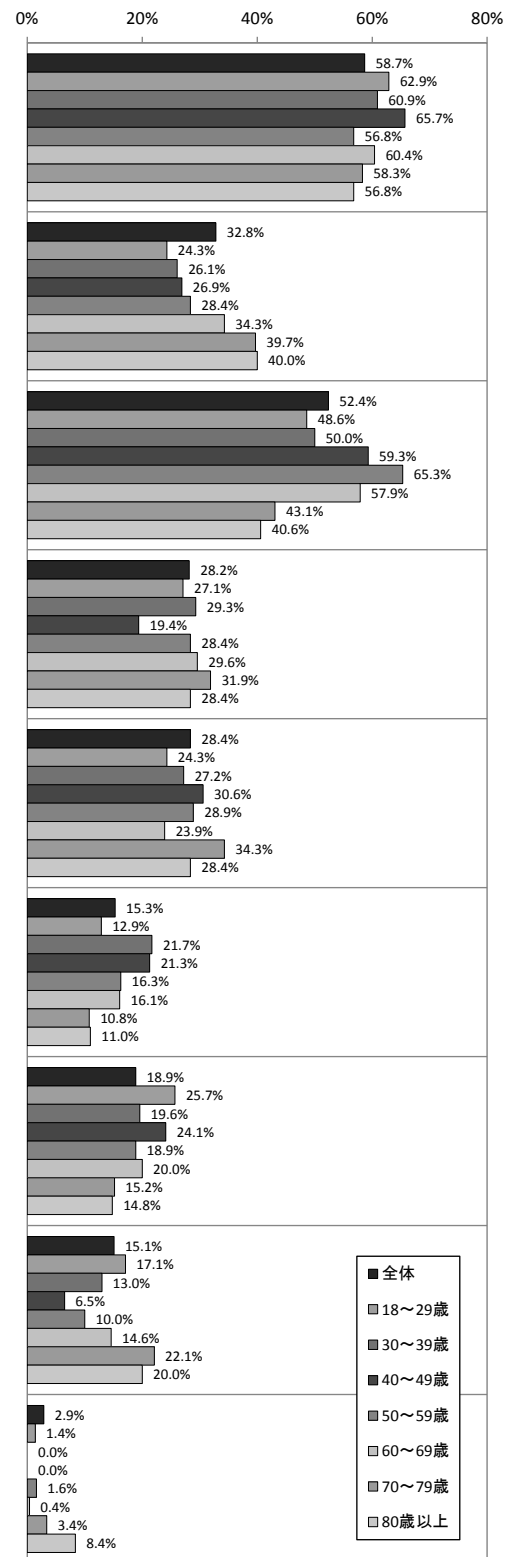
「正規雇用の拡大や雇用機会の創出」は〔50 歳代〕の比率が最も高い。

調査数	1,132	100.0%
新温泉町に住みたくなるような情報発信や受け入れ体制等の環境づくり	665	58.7%
ふるさとへの誇りと愛着の醸成等により本町出身者のUターンを目指す取り組み	371	32.8%
正規雇用の拡大や雇用機会の創出	593	52.4%
起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備	319	28.2%
若者による地域の魅力づくりの支援	322	28.4%
道路や下水道など生活環境の整備や公共交通機関の充実	173	15.3%
観光や交流などによる地域のにぎわいづくり	214	18.9%
豊富な温泉の有効活用	171	15.1%
無回答	33	2.9%

【男女別】



【年齢別】



具体的な提案

●情報発信や受け入れ体制等の環境づくり

- ・海（ジオパーク観察拠点の充実、カヌー教室など）、山（ヤマメ、鮎料理、川旅館）、温泉（公共性のある温泉資源の活用）、ミネラルウォーター工場（霧滝）、環境教育（ホテル）を資源とし、イベント等の具体的な情報を町ホームページの充実により対応
- ・住居や働き先の斡旋は、具体的・積極的な広報が必要で、物件紹介、雇用先の取り次ぎ、パンフレット、インターネット（賃貸料の支援期間、斡旋窓口開設）があげられる
- ・町職員が自信を持って出張等で行く先々で町をPRする
- ・都会へのPR、アンテナショップの充実
- ・移住者のコミュニティづくりなどのフォローが大切
- ・新生児が産まれたら、月3万円のおむつ代を提供（補助）するような制度づくり

●Uターンを目指す取り組み

- ・Uターンした者に対し支援金を支給する
- ・若い人がUターンした時の相談窓口づくり
- ・若者の仲間づくり、町の産業のアルバイト、美しい自然の中での思い出づくり等を経験させる
- ・新温泉町の自然（海、山、温泉）、人、村の写真をホームページで紹介

●正規雇用の拡大や雇用機会の創出

- ・介護施設の増設による雇用の拡大
- ・雇用の創出（企業誘致）と、移住者や若年層等への各種税制の優遇等
- ・正規雇用の提供
- ・浜坂道路の早期完成により工業団地を整備し、雇用創出ができる企業を誘致（税制面優遇等）
- ・無公害企業の誘致

●若者がチャレンジしやすい環境の整備

- ・小学校卒業までの医療費無料、学費無料等の若者中心のまちづくり

●若者による地域の魅力づくりの支援

- ・若い人が何を求めているのかを具体的に知る
- ・中高生が町内の良いアクティビティに参加しやすくする

●生活環境の整備や公共交通機関の充実

- ・山陰線・城崎～鳥取間の整備、長距離列車の運行
- ・9号線～豊岡～浜坂～鳥取の道路整備

- ・道路網整備による工場誘致
- 観光や交流などによる地域のにぎわいづくり
 - ・店舗を密集させたモール施設づくり
 - ・観光客の増加（障害のある方が安心して来町できる施設、支援、待遇の充実）に特化
 - ・牛肉、海産物、温泉の連携を強化した観光戦略。温泉や畜産動物の糞尿なども利用し、町全体で自然エネルギーによる発電に取り組む
 - ・資料館的な魅力ある観光施設による観光客の集客、宿泊の確保
 - ・旅館、民宿、または交流施設の整備等により、他の地域と若者、高齢者との交流
- 温泉の有効活用
 - ・ゆで卵（温泉卵）や野菜（たけのこなど）をはじめ、他の食品も湯がいたりできるようにする
 - ・温泉を利用したドーム型植物園の整備
 - ・温泉利用の温度差発電の推進
 - ・整備中の高速道路のＩＣやＳＡでは温泉を導入する。スキー場の近くでは家族でも楽しめる規模の大きい温泉が良い
- その他
 - ・牛舎の整備や但馬牛の飼育による町外者の受入れ
 - ・アミューズメント施設の増加
 - ・チャレンジ精神を刺激するテーマを設け人材を募集する（具体的なテーマ、十分な報酬）
 - ・ラジオ難聴地域の解消
 - ・ＣＡＳ冷凍施設を作り、冷凍魚、牛の冷凍ブランド化商品で雇用を増やす
 - ・環境の良い老人ホーム（温泉付）、他府県からも来てもらえるような充実した老人ホーム（医師駐在付）の整備
 - ・廃校等を利用し、町外者用の高級老人ホームを経営する
 - ・空き家バンクなどにより、リタイヤ世代の移住を進める
 - ・将来、増加が予想される空き家と耕作放棄地をセットで希望者に提供する。ターゲットは都会の定年退職者とする
 - ・中学校下の元大学誘致候補地を大企業の誘致先として活用
 - ・地熱利用で発電し、各戸へ配布
 - ・道には「～通り」という名前を付け、楽しく分かりやすくする。アーティストを呼んで作品を残すなど、町を統一感のある美的空間にする

問5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

比率の高いものから順に「出会いの場や機会の創出・充実」が45.8%、「経済的安定」が42.0%、「相談体制や保健・医療体制の整備」が34.7%となっている。

【男女別にみた特徴】

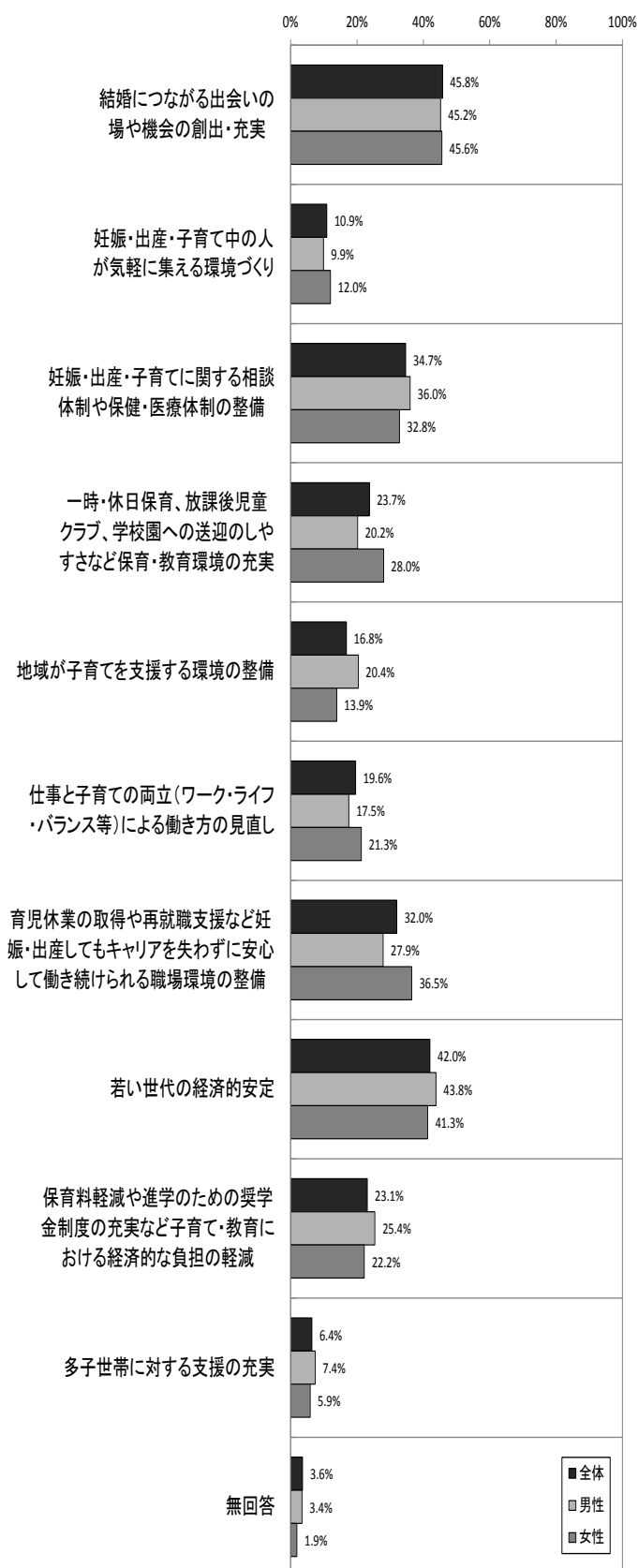
「安心して働き続けられる職場環境の整備」は、〔男性〕より〔女性〕の方の比率が高い。〔女性〕の働く環境づくりが重視されている。

【年齢別にみた特徴】

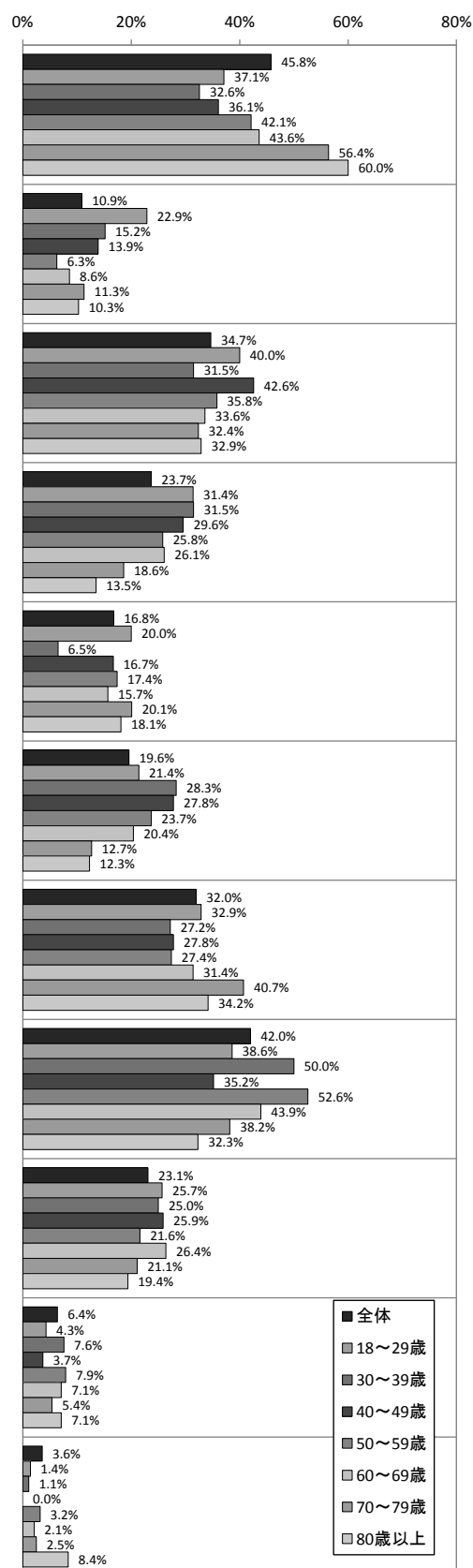
「出会いの場や機会の創出・充実」は年齢階層が高くなるほど比率が高まる傾向がある。

調査数	1,132	100.0%
結婚につながる出会いの場や機会の創出・充実	518	45.8%
妊娠・出産・子育て中の人々が気軽に集える環境づくり	123	10.9%
妊娠・出産・子育てに関する相談体制や保健・医療体制の整備	393	34.7%
一時・休日保育、放課後児童クラブ、学校園への送迎のしやすさなど保育・教育環境の充実	268	23.7%
地域が子育てを支援する環境の整備	190	16.8%
仕事と子育ての両立(ワーク・ライフ・バランス等)による働き方の見直し	222	19.6%
育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産してもキャリアを失わずに安心して働き続けられる職場環境の整備	362	32.0%
若い世代の経済的安定	475	42.0%
保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実など子育て・教育における経済的な負担の軽減	261	23.1%
多子世帯に対する支援の充実	73	6.4%
無回答	41	3.6%

【男女別】



【年齢別】



具体的な提案

- 出会いの場や機会の創出・充実
 - ・ テレビのお見合い番組に応募する
 - ・ おせっかいなおばさんにより情報を広げる
 - ・ 結婚の世話をする機関をつくる
 - ・ 出会いのきっかけをつくるプロジェクト集団づくり
- 人が気軽に集える環境づくり
 - ・ ベビーカーに乗せて行ける範囲（公民館等）に地域の方も集まって、多世代交流などをする
- 相談体制や保健・医療体制の整備
 - ・ 医療や公園の充実
 - ・ 産婦人科、小児科が必要
 - ・ 妊娠、出産に関する助産、医療機関の充実
- 保育・教育環境の充実
 - ・ 女性が働きやすい保育時間の確保
 - ・ 空き家などを使って、希望者全員が保育所入園できるようにする
 - ・ 病児保育が必要である。赤ちゃんの健診時に、支援センターでの体験、子育てコミュニティへの参加を保健師がお母さんに促すようにする
 - ・ 両親の就業状態により保育施設に入れない待機児童を無くす
 - ・ 保育施設を増やせば雇用も増え、町外からの入園も可能にすれば町の収入も増える
 - ・ 北小、温小以外の児童クラブの設置
 - ・ 未満児の子どもも保育園に入れるようにする
- 地域が子育てを支援する環境の整備
 - ・ 若い人への地域の用事の軽減
- 仕事と子育ての両立による働き方の見直し
 - ・ 子育て中は自分の仕事が出来やすいライフワークをつくる
 - ・ 働きながら育てるのではなく、しっかりと仕事を辞めて子育てに取り組める仕組みづくりが重要
- 経済的安定
 - ・ 小学校入学までの経済的支援の金額を、広報やインターネット等により町としてアピールする

●経済的な負担の軽減

- ・ 65～75 歳ぐらいの健康高齢者（女）による育児の補助が必要
- ・ 育児に対する町独自の支援制度、相談制度づくり
- ・ 中学生のバス・ J R の無料化。こども園への全員入園。保育料の無料化。浜坂高校生への授業料の補助
- ・ おむつ等の割引などの経済的支援

●多子世帯に対する支援の充実

- ・ 結婚・出産する人の母数は限られているので、一組が 2 人、3 人目を産める仕組みづくり

●その他

- ・ 独身者本人およびその親に対する教育をする機会の創出
- ・ 町内で就職、雇用するのではなく、働く場所は鳥取、住むのは新温泉町と、割り切った施策が必要。子育て環境には子どもの学校を考える必要があり、鳥取、豊岡へ自由に進学、通学できるようにする

問6 人口が減少しても安心して暮らすためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。

(○は3つまで)

【全体】

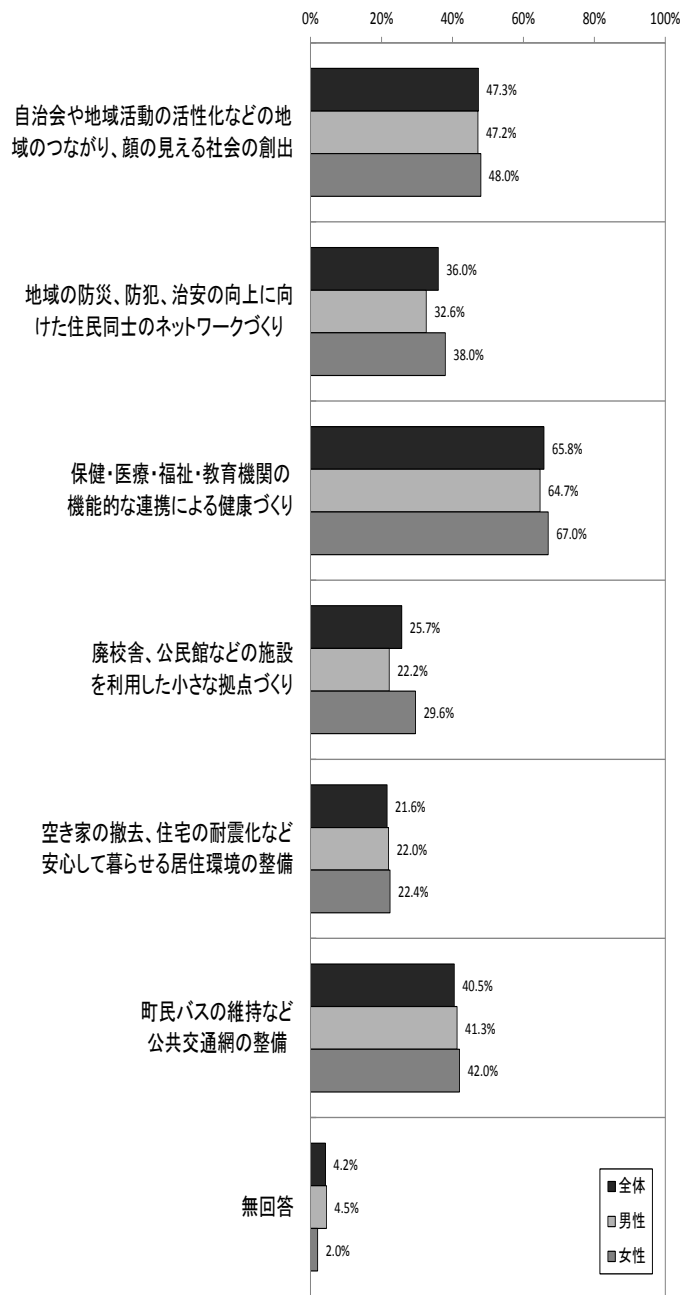
比率の高いものから順に「各機関の機能的な連携による健康づくり」が65.8%、「地域のつながり、顔の見える社会の創出」が47.3%、「公共交通網の整備」が40.5%となっている。健康、人のつながり、移動手段の確保が重視されている。

【年齢別にみた特徴】

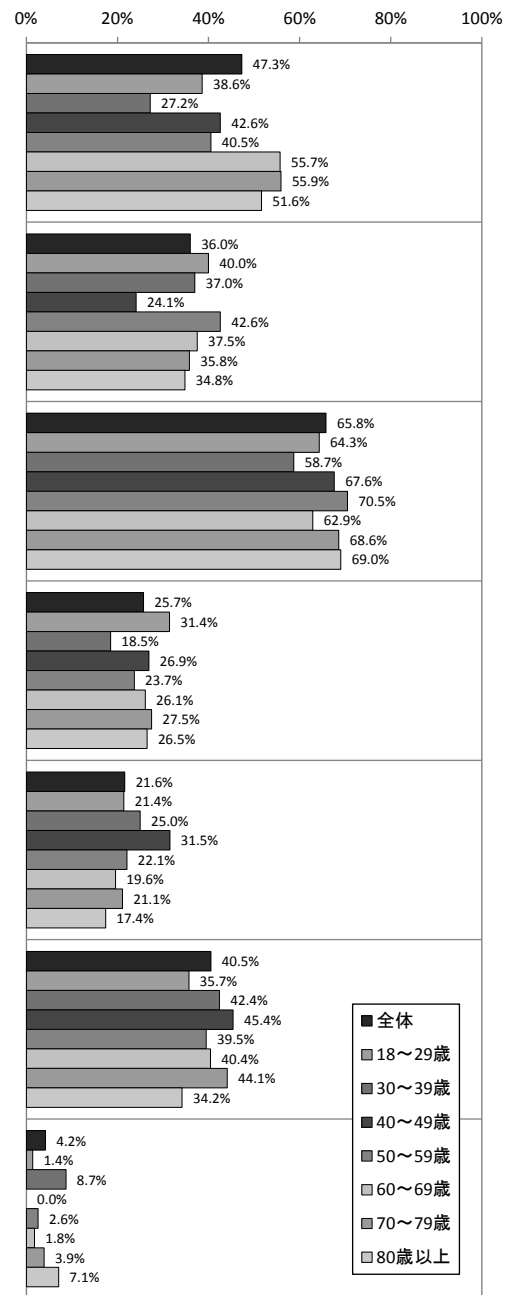
「住民同士のネットワークづくり」は〔40歳代〕の比率が最も低い。

調査数	1,132	100
自治会や地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出	536	47.3%
地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり	407	36.0%
保健・医療・福祉・教育機関の機能的な連携による健康づくり	745	65.8%
廃校舎、公民館などの施設を利用した小さな拠点づくり	291	25.7%
空き家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備	244	21.6%
町民バスの維持など公共交通網の整備	458	40.5%
無回答	47	4.2%

【男女別】



【年齢別】



具体的な提案

- 地域のつながり、顔の見える社会の創出
 - ・各集落で集まる機会づくり
 - ・人口減少に合うよう、古くからの地域組織を抜本的に改める。町内会組織の再編成
 - ・自治区にも協力を得ながら町内の見守りを早急に立ち上げる
 - ・地区、学校区、町内会等のイベント創設、近所同士のコミュニケーションの機会づくり
 - ・防災に関して、区ごとで分担し安否確認のための一人暮らし世帯への声かけの実施
 - ・隣人、隣町、隣県とのつながり、ネットワークづくり
- 住民同士のネットワークづくり
 - ・町中で話し合えるところをつくる
- 各機関の機能的な連携による健康づくり
 - ・医療は一次救急とターミナル医療に徹し、鳥取とより連携を深める
 - ・浜坂病院を充実し、利用しやすくする
- 施設を利用した小さな拠点づくり
 - ・廃校舎に多様な業種の店づくり
- 安心して暮らせる居住環境の整備
 - ・買物、通院の足の確保。買い物は必ずしも店に出向かなくても入手できるシステムの構築（シルバー人材センターの活用等）
- 公共交通網の整備
 - ・国道 178 号を利用した鳥取への通院バスの運行
 - ・町内バスを小型化、本数の増加、ＪＲとの連携強化
 - ・バスの本数の増便
 - ・町民バスを 100 円に（町内）
 - ・町民タクシーの利用増加を進める
 - ・老人の町内無料バス化
- その他
 - ・現在、高齢者のみの世帯を対象としているサービスの対象を 65 歳以上のいる世帯全てに拡大する
 - ・車を持たない高齢者のため、食料品店などの地区内確保と店の支援
 - ・公共交通の料金一律化、スーパーへの停車。ＦＡＸするか町内会で発注すれば物品がまとめて配達されるシステムづくり

- ・ 様々な地域活動グループに対する支援の充実
- ・ 老人の子育てや教育への参加
- ・ 老人世帯の見守りをどうするかを地域やケースに応じて組み立てる

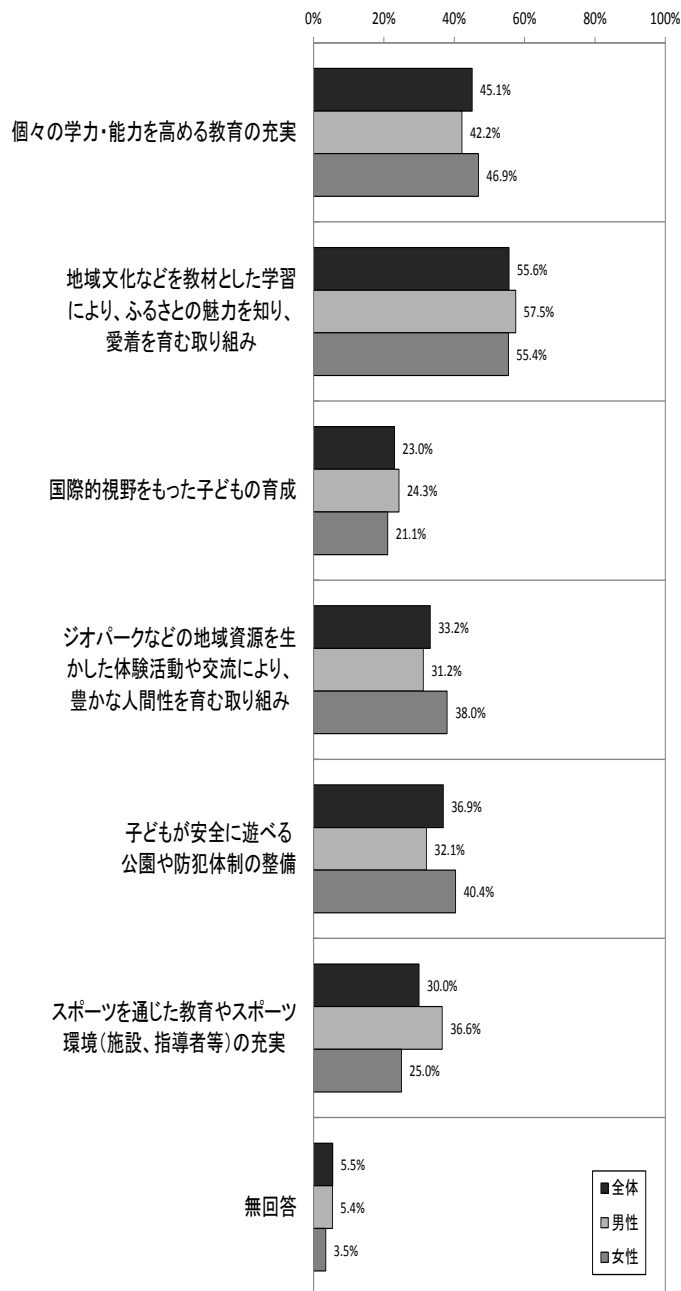
問7 子どもの教育環境の充実とふるさと意識を醸成するためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

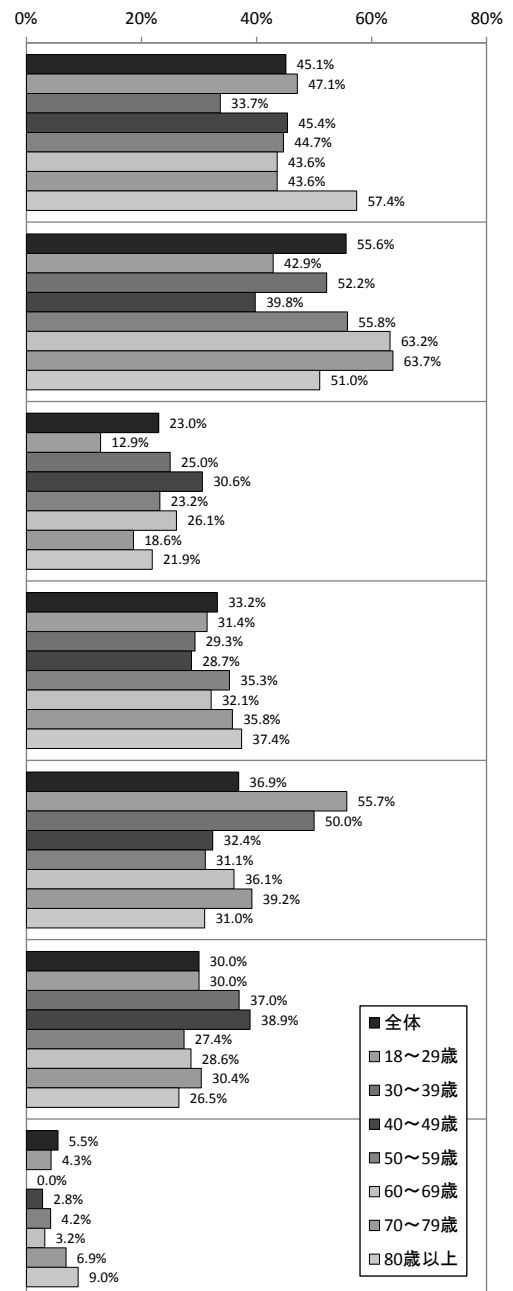
比率の高いものから順に「ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取り組み」が55.6%、「個々の学力・能力を高める教育の充実」が45.1%、「公園や防犯体制の整備」が36.9%となっている。
ふるさと教育、教育環境の充実、安全な遊びの場が重視されている。

調査数	1,132	100
個々の学力・能力を高める教育の充実	510	45.1%
地域文化などを教材とした学習により、ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取り組み	629	55.6%
国際的視野をもった子どもの育成	260	23.0%
ジオパークなどの地域資源を生かした体験活動等交流により、豊かな人間性を育む取り組み	376	33.2%
子どもが安全に遊べる公園や防犯体制の整備	418	36.9%
スポーツを通じた教育やスポーツ環境(施設、指導者等)の充実	340	30.0%
無回答	62	5.5%

【男女別】



【年齢別】



具体的な提案

- 個々の学力・能力を高める教育の充実
 - ・学校教育と家庭教育の充実を図るため、学校参観の実施回数の増加
 - ・自然の中で能力を高める教育方法の採用
 - ・講演会などで知り得た情報を発信できる場や指導者の充実
 - ・子どもが直接体験し、発見し、深めていけるような機会とそのために必要な施設と人材の充実
 - ・子どもが楽しめる遊びやイベントを充実させた思い出づくり
 - ・若い親世代への常識の教育が必要
 - ・住んでいる地域（〇〇地区、〇〇隣保の小単位）に子どもたちが誇れること、大切にしないといけないことを（親）家庭・学校・地域が一つだけ一貫して伝える
 - ・小学校を4校から1校に統合し小学生に活力を与える
 - ・個々のやりたい事を見つけさせ、学事が楽しいと思える教育の推進
 - ・他市町から生徒が来るような特色を持った教育環境づくり
 - ・地元中学生の町外流出を止めるため、浜坂高校の学力向上
 - ・兵庫県立大学大学院の活用
 - ・補習授業を受ける事ができる環境の充実
 - ・歴史をもっと勉強させる
- ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取り組み
 - ・自分のふるさとに自信をもつ
 - ・新温泉町の歴史、有名な文化人等の紹介
 - ・地元の人が、地元のことを理解し、良さを感じる
 - ・地元の魅力を認識するカリキュラムづくり
 - ・町で生まれ、町で成長してこそふるさと意識は生まれる
- 国際的視野をもった子どもの育成
 - ・教育面の英語は外国人との会話を優先する
 - ・幼児頃からの英語会話の機会を充実し、書けなくても話せる英語の指導が必要
- 豊かな人間性を育む取り組み
 - ・もっと教師が親身になる

●公園や防犯体制の整備

- ・球技がのびのびできる公園の整備
- ・空き地等を町が保有し、遊具が充実した公園整備による地域で遊べる場所づくり
- ・空き地を利用し、ブランコと滑り台の設置された公園づくり
- ・大きな公園・遊具の整備、スポーツ、学習の習い事に対する補助
- ・危険動物や不審人物の情報をメールや放送で知らせる

●スポーツを通じた教育やスポーツ環境の充実

- ・地域で活躍出来るスポーツ施設やチームづくり
- ・野球、サッカー、どちらにも使用できるスポーツ広場づくり

●その他

- ・赤ちゃんとお母さん達、小学校5・6年生、中学生のふれあいの場づくり
- ・町内での労働、就職を条件にした学費の援助
- ・東京オリンピックへ向けてグローバルな時代へ対応できるように育成する
- ・道徳教育の充実
- ・平均化に固守すると能ある子どもは鳥取に出るため、能力ある子どもを伸ばす教育が必要
- ・地域を教材にした学習機会の増加

問8 高齢者が安心していきいきと暮らすためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。

(○は3つまで)

【全体】

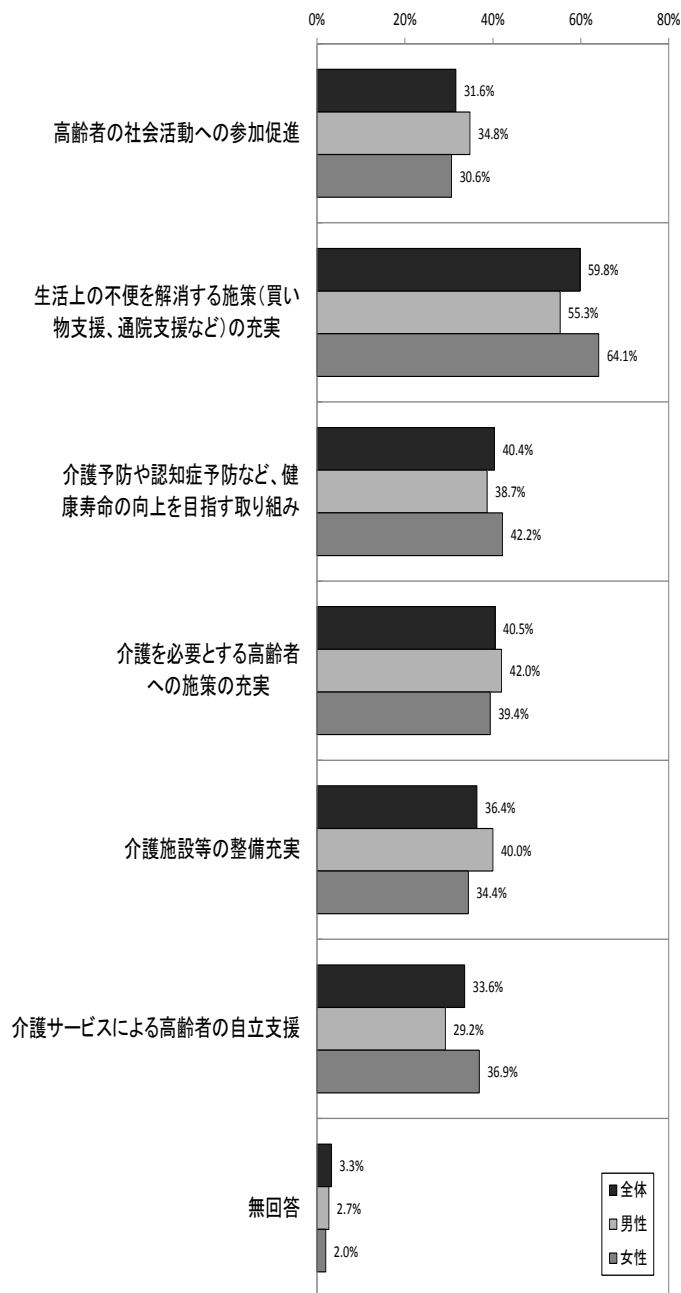
比率の高いものから順に「生活上の不便を解消する施策の充実」が 59.8%、「介護を必要とする高齢者への施策の充実」が 40.5%、「健康寿命の向上を目指す取り組み」が 40.4%となっている。買い物、通院等の日常生活での不便の解消、介護の充実、健康長寿が重視されている。

【男女別にみた特徴】

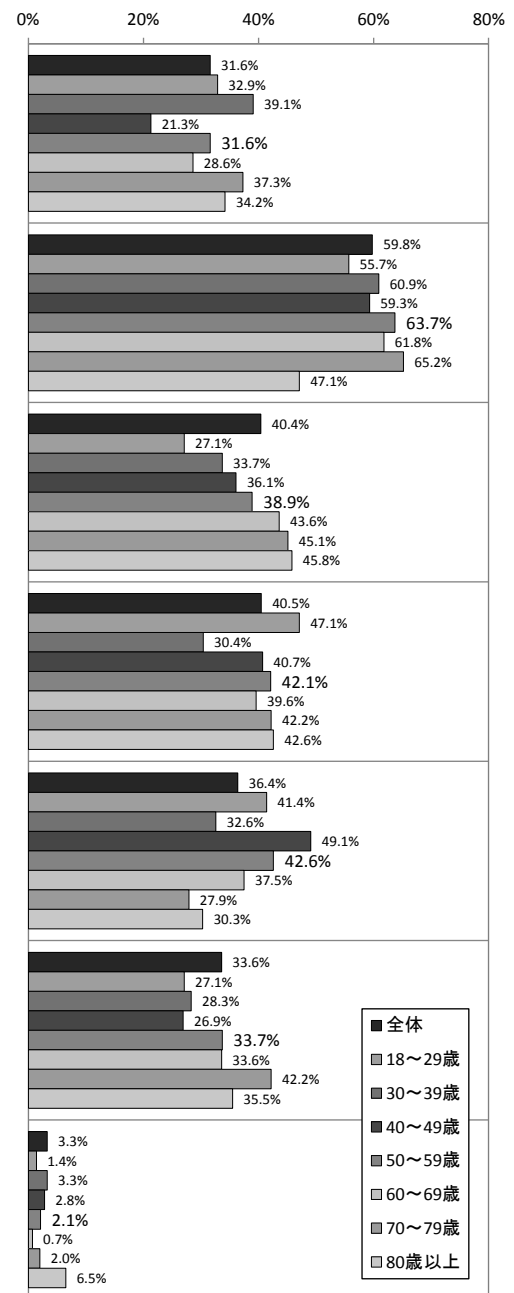
「生活上の不便を解消する施策の充実」は、〔男性〕より〔女性〕の方の比率が高い。〔女性〕は買い物支援を重視していると考えられる。

調査数	1,132	100.0%
高齢者の社会活動への参加促進	358	31.6%
生活上の不便を解消する施策(買い物支援、通院支援など)の充実	677	59.8%
介護予防や認知症予防など、健康寿命の向上を目指す取り組み	457	40.4%
介護を必要とする高齢者への施策の充実	458	40.5%
介護施設等の整備充実	412	36.4%
介護サービスによる高齢者の自立支援	380	33.6%
無回答	37	3.3%

【男女別】



【年齢別】



具体的な提案

●社会活動への参加促進

- ・高齢者が先生となり、子ども達との交流の推進
- ・高齢者が集い触れ合う場の設定
- ・その人、その人に合った得意な事ができる環境づくり
- ・すこやかクラブの充実
- ・高齢者が参加しやすい活動サークルを増やす
- ・50歳～60歳代の人を社会に参加させる施策が必要
- ・子どもに文化や伝統を教える、観光案内などに参加する等、高齢者が積極的に活動し、高齢者にも支えてもらえる仕組みづくり
- ・掃除、あて名書き、ものづくりなどボランティアも含め高齢者に合った仕事の紹介
- ・退職者の力を借りて、塾などで指導できる高齢者を支援し、次世代へ残せるものを探る

●生活上の不便を解消する施策の充実

- ・地域住民が見守る体制づくり
- ・祖父・祖母同居の奨励
- ・車などでの巡回サービスと宅配サービスづくり
- ・楽しめる場所や集まれる環境づくり
- ・鳥取へ通院している高齢者が多いため、直行バスが必要

●健康寿命の向上を目指す取り組み

- ・浜坂病院の定着医として整形外科、外科医、小児科医の確保
- ・住民が気軽に参加できる様々な運動（体を動かす）の種目を設定し、活動場所、指導者の充実

●介護を必要とする高齢者への施策の充実

- ・老人ホーム内に保育園の併設
- ・年金生活独居老人の定期医療検診と認知も含めた日常生活支援及び緊急時、連絡機器の配布（ボタン式携帯電話のようなもの）

●介護施設等の整備充実

- ・待機者が多く入所不可であるため介護施設の充実

●介護サービスによる高齢者の自立支援

- ・老人ホームを充実することにより、一人暮らしの高齢者が介護サービス社会活動の参画等を行う

●その他

- ・ 幼稚園、保育園と連携して、高齢者とのふれあいの時間を増やす
- ・ 一人暮らしの人に、電話をかけて話を聞いてあげる
- ・ 介護施設で働く人の確保、給与・福利厚生面での充実
- ・ 各公民館で町の福祉士の人たちによる介護活動を積極的に行う
- ・ 民生委員だけでは限りがあるため、地域の中での近隣同志の見守りなどの促進

問9 まちのにぎわいをつくるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

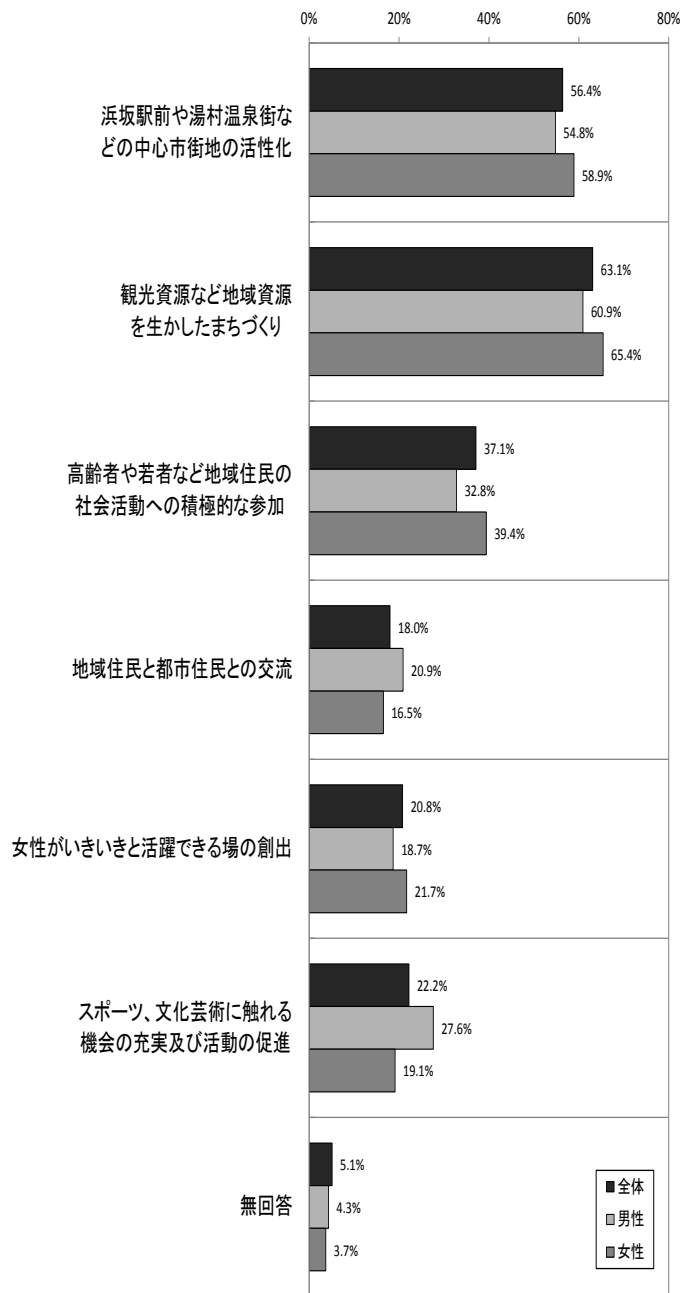
比率の高いものから順に「地域資源を生かしたまちづくり」が63.1%、「中心市街地の活性化」が56.4%、「地域住民の社会活動への積極的な参加」が37.1%となっている。観光や第1次産業、商業の振興とともに地域活動が重視されている。

【年齢別にみた特徴】

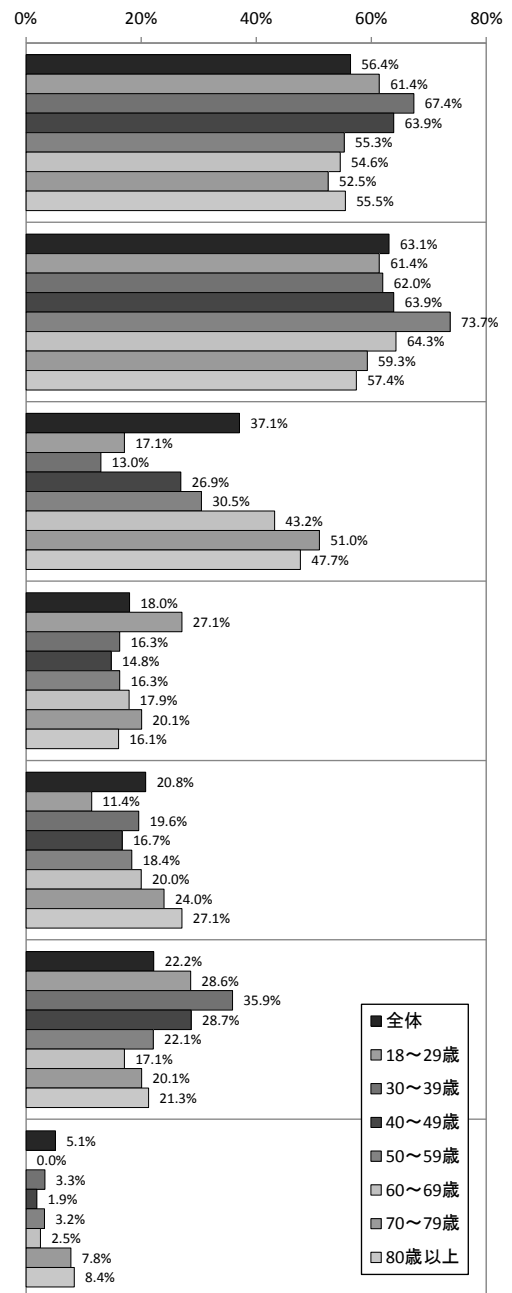
「地域住民の社会活動への積極的な参加」は年齢階層が高くなるほど比率が高まる傾向がある。高齢者は、にぎわいづくりとして地域の活動を重視している。

調査数	1,132	100.0%
浜坂駅前や湯村温泉街などの中心市街地の活性化	639	56.4%
観光資源など地域資源を生かしたまちづくり	714	63.1%
高齢者や若者など地域住民の社会活動への積極的な参加	420	37.1%
地域住民と都市住民との交流	204	18.0%
女性がいいきと活躍できる場の創出	236	20.8%
スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進	251	22.2%
無回答	58	5.1%

【男女別】



【年齢別】



具体的な提案

● 中心市街地の活性化

- ・ 浜坂駅から湯村温泉へのアクセス本数の増加
- ・ イベントを湯村とともに駅前でも行う
- ・ お客さんが体験できるコーナー、店などの温泉街への設置
- ・ 駅前・温泉街の駐車場の確保
- ・ 車社会であり駅前の活性化は望めないため、温泉街の活性化の推進
- ・ 荒湯の浜坂版として、食事・お土産・観光を一カ所に集中化
- ・ 湯中心街に道の駅を作り、農産物、水産物を豊富に置く
- ・ 年 1 度歩行者天国のイベントの増加
- ・ 浜坂駅前の空き家を 1 つでもうめる
- ・ タンスに眠っている着物を手仕事で形を変えて製品にし、販売する
- ・ 浜坂駅前等の中心街で頑張っている個店（企業）へ、資金面を含めた充実した行政支援

● 地域資源を生かしたまちづくり

- ・ あれている山を活用し、整備する交流会の開催
- ・ 海、ビーチを利用したイベント（トライアスロン、ウォークラリー、キャンプ体験）、映画、ドラマ等の誘致
- ・ 居組漁港をヨットクルーザーの港化
- ・ 今までのように駅前や温泉街を盛り上げるだけでなく、町内の知られていない地域の魅力を伝える
- ・ 日和山から川部の浜の散策道を整備し、水仙を植えて、高台で避難場所にもする
- ・ 全戸で新温泉町ブランドをイメージした表札を飾る

● 地域住民の社会活動への積極的な参加

- ・ 気軽にボランティア参加できるまちづくり

● 地域住民と都市住民との交流

- ・ スポーツの試合会場、合宿場所の提供
- ・ スポーツ公園、施設の整備
- ・ 休耕田を利用した花づくり
- ・ 新温泉町での暮らしの良さを体感できるツアー、ちくわづくりなど地域体験できる場所づくり
- ・ 地域の資源を活用した体験型の交流の推進

- ・ 地元の良さは地元の人には分かりにくい。町外の人意見をあらゆる分野について聞く
- ・ 都市との交換留学制度
- スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進
- ・ 宿泊スポーツ施設を充実し、広報と営業の強化
- その他
- ・ まずは向こう 3 軒両隣の付き合いから
- ・ 行き場所づくりから進めてほしい（困りごと相談所、誰でも活用できるウォーキングコース、トイレ、休憩所等）
- ・ 食堂を集約化、スイーツの店舗等づくり
- ・ 盆おどり、町のみこしの復活等、各集落の文化活動をもり立てる
- ・ 町内産物を生かしたイベントの開催
- ・ 山、高原などに安価なキャンプ場の整備
- ・ 人が能力を出せる、出している人のための“ホール”の整備
- ・ 最新医療が受けられる大型の病院の誘致
- ・ 地産地消事業の推進
- ・ オシャレなカフェのようなのんびりくつろげる場所づくり
- ・ 様々な企画に若い人のセンス・意見を反映させる

問10 他の地域との交流や連携を進める際に、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

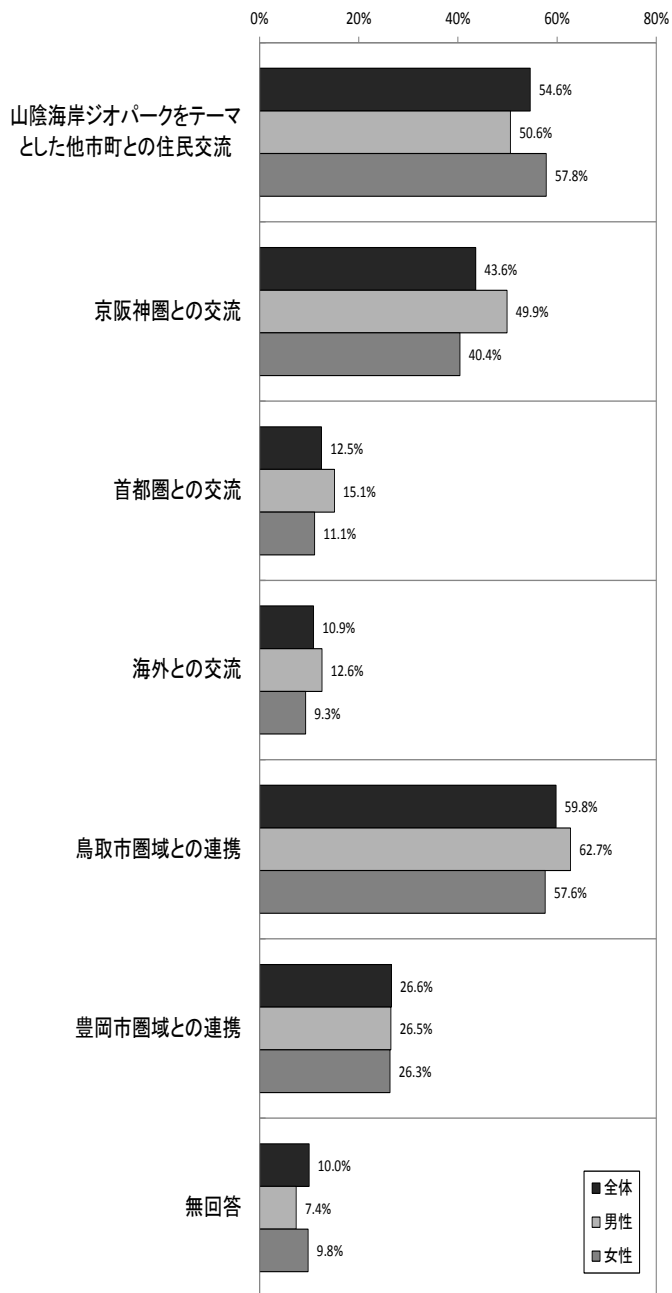
比率の高いものから順に「鳥取市圏域との連携」が59.8%、「山陰海岸ジオパークをテーマとした他市町との住民交流」が54.6%、「京阪神圏との交流」が43.6%となっている。日常生活圏内の連携やテーマ型の情報発信としての交流が重視されている。

【年齢別にみた特徴】

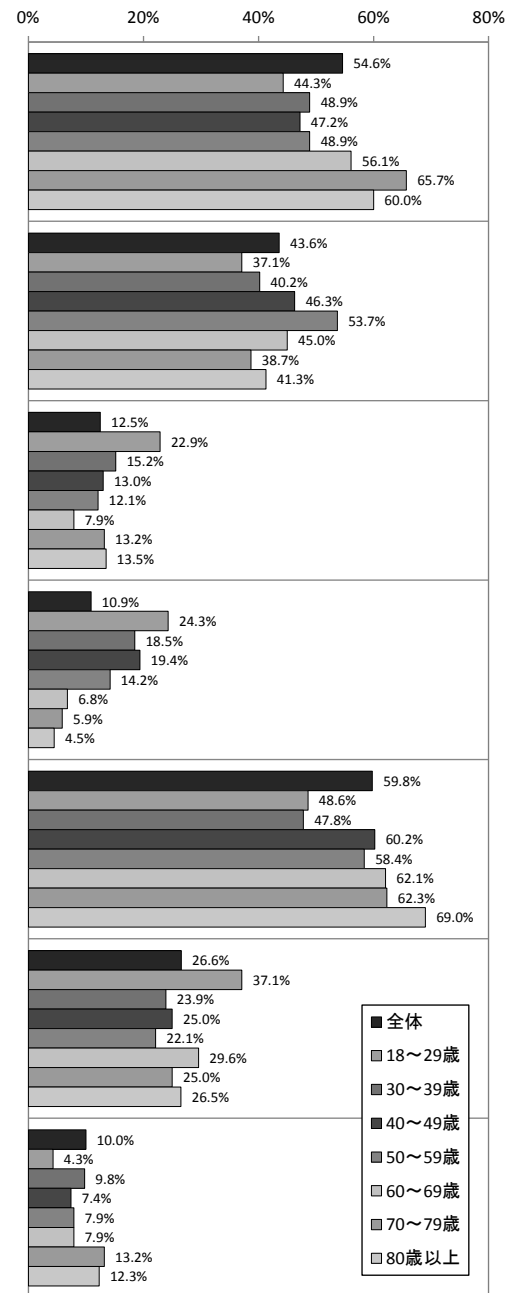
「鳥取市圏域との連携」は年齢階層が高くなるほど比率が高まる傾向がある。通院の関係が重視されていると考えられる。

調査数	1,132	100.0%
山陰海岸ジオパークをテーマとした他市町との住民交流	618	54.6%
京阪神圏との交流	494	43.6%
首都圏との交流	142	12.5%
海外との交流	123	10.9%
鳥取市圏域との連携	677	59.8%
豊岡市圏域との連携	301	26.6%
無回答	113	10.0%

【男女別】



【年齢別】



具体的な提案

- 山陰海岸ジオパークをテーマとした他市町との住民交流
 - ・ジオパーク関連の市町村のつながりから、他県との交流を広げる
 - ・岩美町と香美町との連携
- 海外との交流
 - ・インターネットで海外の旅行者を呼びこむ
 - ・英語、中国語、韓国語等による育成をする
- 鳥取市圏域との連携
 - ・鳥取方面の方が実生活と密着しているため、県や地域で区切らず、生活圏内の交流の推進
- その他
 - ・隣町、県、地域との連携から始める
 - ・広く情報発信する。連携は近隣の豊岡、鳥取と進める
 - ・地方移住の機運が高まっているなか、首都圏や京阪神への積極的なアピールと移住者への優遇策の整備
 - ・バスツアーの中に遊覧船観光、海水浴、温泉への入浴など、個人で車を運転しなくても楽しめるツアーや祭り花火ツアーを組む
 - ・ウォーキングイベントだけでなく、お祭のような事や花火大会の企画開催
 - ・スポーツ等での交流
 - ・近隣、首都圏等のイベントに地場産商品の出店及び観光をアピールする。鮮魚店もあるが、もっと魚貝類の店を駅前に誘致する
 - ・山村留学の推進
 - ・食をメインとした交流
 - ・川下祭の花火大会のPR
 - ・JR大阪－浜坂－鳥取間の直通化
 - ・大学生のアイデアの入手
 - ・北陸の大手企業が安い土地を求めており、近い将来、鳥取は大手企業が多くなり活性化が見込めるため、観光をブランドとして取り組む

4 新温泉町のまちづくりについて

問 1 1 新温泉町は住みやすいまちですか。(○は 1 つ)

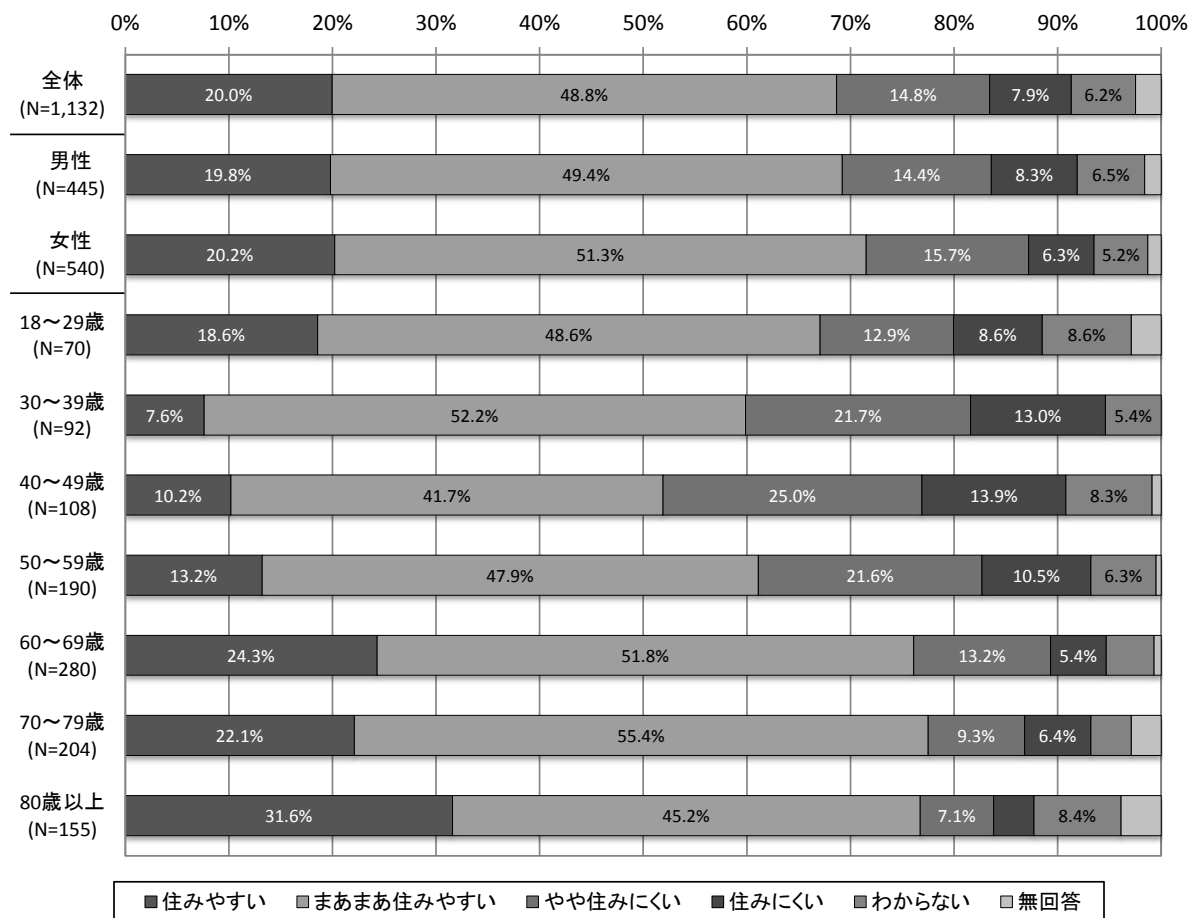
【全体】

「住みやすい」が 20.0%、「まあまあ住みやすい」が 48.8%となっており、合わせると 68.8%が住みやすいと感じている。

【年齢別にみた特徴】

〔29 歳まで〕を除き、「住みやすい」は年齢階層が高くなるほど比率が高まる傾向がある。〔30 歳代〕は最も低く 7.6%である。「住みにくい」は〔40 歳代〕で最も高い。

	調査数	住みやすい	まあまあ住みやすい	やや住みにくい	住みにくい	わからない	無回答
全体	1132	226	552	167	89	70	28
	100.0%	20.0%	48.8%	14.8%	7.9%	6.2%	2.5%
男性	445	88	220	64	37	29	7
	100.0%	19.8%	49.4%	14.4%	8.3%	6.5%	1.6%
女性	540	109	277	85	34	28	7
	100.0%	20.2%	51.3%	15.7%	6.3%	5.2%	1.3%
無回答	147	29	55	18	18	13	14
	100.0%	19.7%	37.4%	12.2%	12.2%	8.8%	9.5%
18～29歳	70	13	34	9	6	6	2
	100.0%	18.6%	48.6%	12.9%	8.6%	8.6%	2.9%
30～39歳	92	7	48	20	12	5	—
	100.0%	7.6%	52.2%	21.7%	13.0%	5.4%	—
40～49歳	108	11	45	27	15	9	1
	100.0%	10.2%	41.7%	25.0%	13.9%	8.3%	0.9%
50～59歳	190	25	91	41	20	12	1
	100.0%	13.2%	47.9%	21.6%	10.5%	6.3%	0.5%
60～69歳	280	68	145	37	15	13	2
	100.0%	24.3%	51.8%	13.2%	5.4%	4.6%	0.7%
70～79歳	204	45	113	19	13	8	6
	100.0%	22.1%	55.4%	9.3%	6.4%	3.9%	2.9%
80歳以上	155	49	70	11	6	13	6
	100.0%	31.6%	45.2%	7.1%	3.9%	8.4%	3.9%
無回答	33	8	6	3	2	4	10
	100.0%	24.2%	18.2%	9.1%	6.1%	12.1%	30.3%



問 1 1 - 1 前問で「5 わからない」以外を答えた方にお聞きします。なぜ、そのように感じるのですか。

【住みやすい理由】

- ・ 自然が多い
 - ・ 海・山・温泉・食が豊か
 - ・ 災害が少ない
 - ・ 人が親切
 - ・ 安全・安心
- などが多い。

【住みにくい理由】

- ・ 交通や買い物等の利便性
 - ・ 医療機関の不安
 - ・ 雪が多い
 - ・ 働く場所が少ない
 - ・ 町での暮らしの選択肢が少ない
 - ・ 人付き合いがわずらわしい
- などが多い。

問 1 2 現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。(○は 1 つ)

【全体】

「住み続けたい」が 67.7%、「町外へ移りたい」(鳥取県、鳥取市、豊岡市、神戸市、岩美町等が具体的に記載)は 1 割以下である。

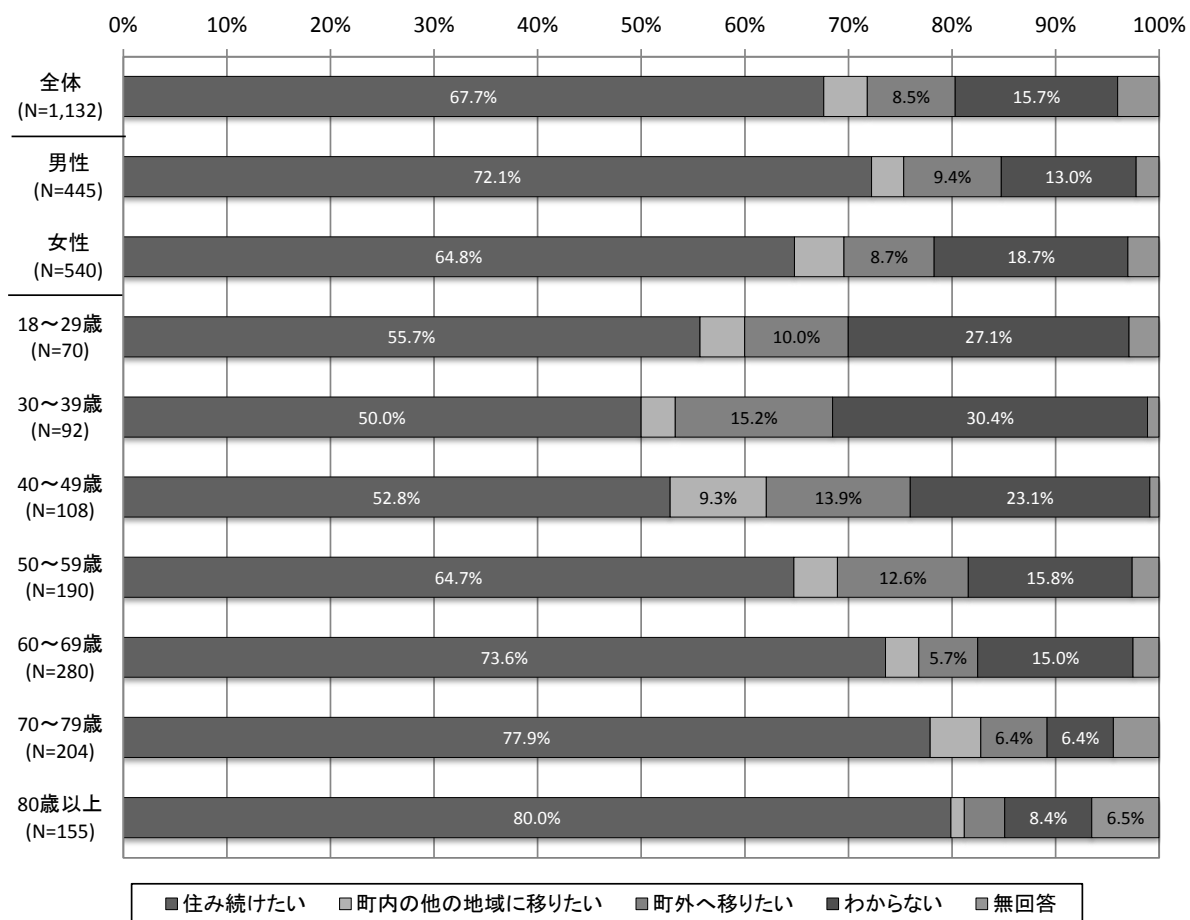
【男女別にみた特徴】

「住み続けたい」は、「女性」より「男性」の方の比率が高い。

【年齢別にみた特徴】

〔29 歳まで〕を除き、「住み続けたい」は年齢階層が高くなるほど比率が高まる傾向がある。

	調査数	住み続けたい	町内の他の地域に移り	町外へ移りたい	わからない	無回答
全体	1132	766	47	96	178	45
	100.0%	67.7%	4.2%	8.5%	15.7%	4.0%
男性	445	321	14	42	58	10
	100.0%	72.1%	3.1%	9.4%	13.0%	2.2%
女性	540	350	26	47	101	16
	100.0%	64.8%	4.8%	8.7%	18.7%	3.0%
無回答	147	95	7	7	19	19
	100.0%	64.6%	4.8%	4.8%	12.9%	12.9%
18～29歳	70	39	3	7	19	2
	100.0%	55.7%	4.3%	10.0%	27.1%	2.9%
30～39歳	92	46	3	14	28	1
	100.0%	50.0%	3.3%	15.2%	30.4%	1.1%
40～49歳	108	57	10	15	25	1
	100.0%	52.8%	9.3%	13.9%	23.1%	0.9%
50～59歳	190	123	8	24	30	5
	100.0%	64.7%	4.2%	12.6%	15.8%	2.6%
60～69歳	280	206	9	16	42	7
	100.0%	73.6%	3.2%	5.7%	15.0%	2.5%
70～79歳	204	159	10	13	13	9
	100.0%	77.9%	4.9%	6.4%	6.4%	4.4%
80歳以上	155	124	2	6	13	10
	100.0%	80.0%	1.3%	3.9%	8.4%	6.5%
無回答	33	12	2	1	8	10
	100.0%	36.4%	6.1%	3.0%	24.2%	30.3%



問 1 2 - 1 前問で「4 わからない」以外を答えた方にお聞きします。なぜ、そのように思うのですか。

【住み続けたい理由】

- ・ 住み慣れている、気楽
 - ・ 家、土地等がある、家族がいる
 - ・ ふるさと、愛着
 - ・ 自然が多い
 - ・ 海・山・温泉・食が豊か
 - ・ 災害が少ない
 - ・ 人が親切
 - ・ 安全・安心
- などが多い。

【移りたい理由】

- ・ 交通や買い物等の利便性
 - ・ 医療機関の不安
 - ・ 余暇の場がない
 - ・ 雪が多い
 - ・ 働く場所が少ない
 - ・ 町での暮らしの選択肢が少ない
 - ・ 人付き合いがわずらわしい
 - ・ 高齢者の不安
- などが多い。

問13 新温泉町をイメージする時、どのようなことが思い浮かびますか？

(例：海・山・温泉・文化・ジオパーク・海産物・牛肉など)

多い順に整理すると次のとおりとなる。

1. 温泉
2. 海
3. 山
4. 但馬牛（牛肉）
5. 海産物
6. カニ
7. ジオパーク
8. 自然・緑
9. 魚
10. 川、ホタルイカ

問14 新温泉町の好きなところ・誇れるところは何ですか。(○は3つまで)

【全体】

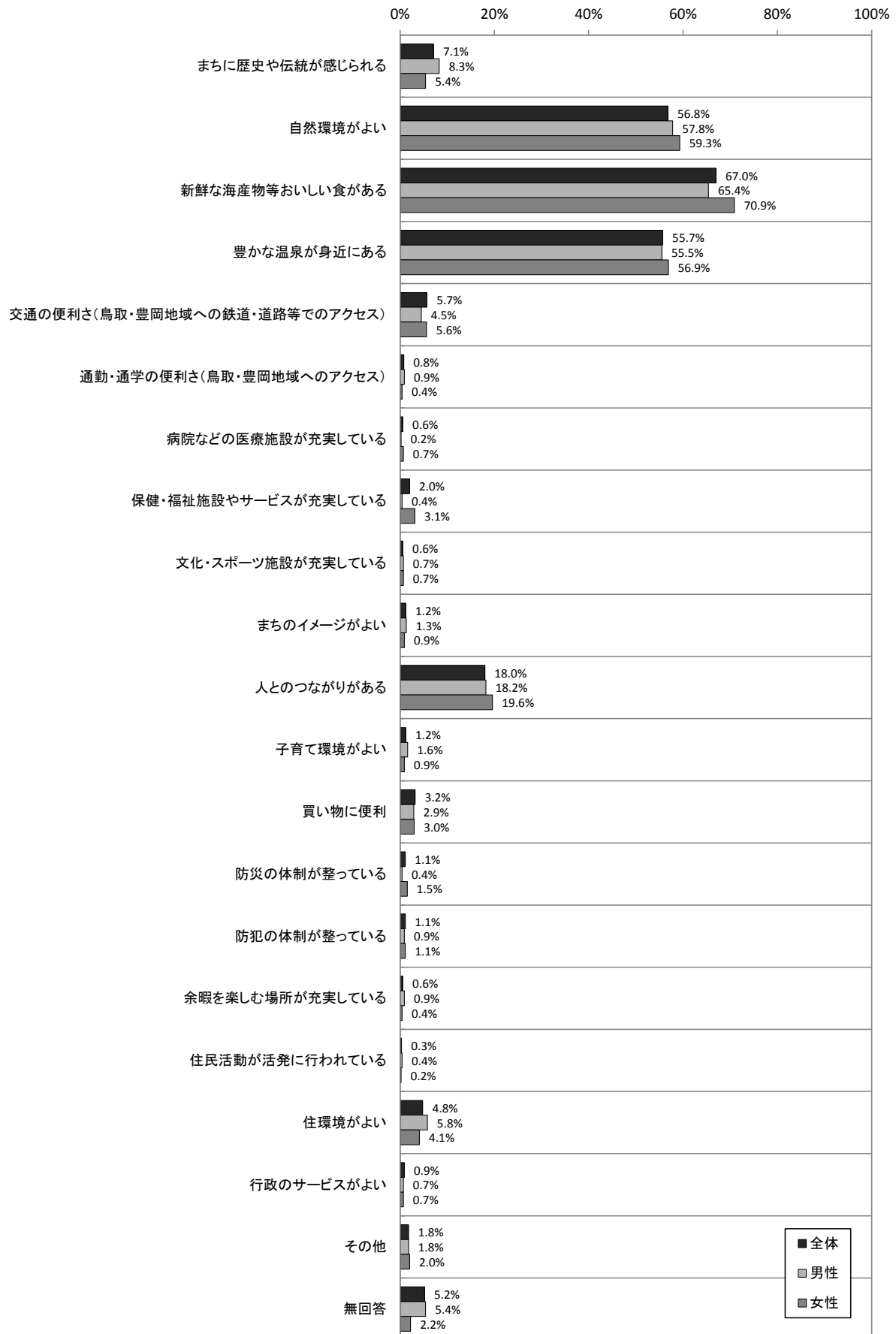
比率の高いものから順に「おいしい食がある」が67.0%、「自然環境がよい」が56.8%、「豊かな温泉が身近にある」が55.7%となっている。豊かな海、山、温泉の存在が大きいといえる。

【年齢別にみた特徴】

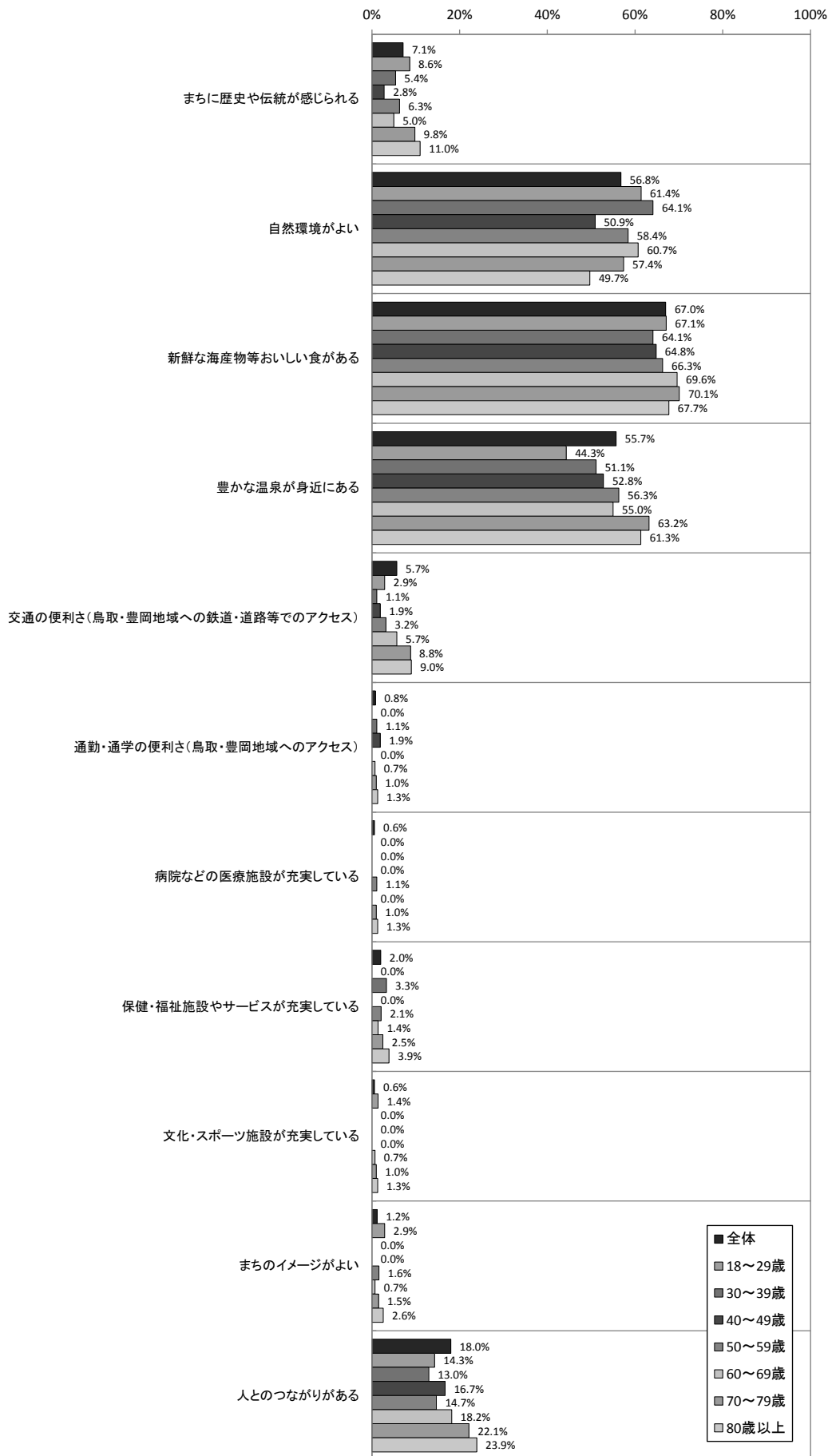
「豊かな温泉が身近にある」は年齢階層が高くなるほど比率が高まる傾向がある。

調査数	1,132	100.0%
まちに歴史や伝統が感じられる	80	7.1%
自然環境がよい	643	56.8%
新鮮な海産物等おいしい食がある	759	67.0%
豊かな温泉が身近にある	631	55.7%
交通の便利さ(鳥取・豊岡地域への鉄道・道路等でのアクセス)	64	5.7%
通勤・通学の便利さ(鳥取・豊岡地域へのアクセス)	9	0.8%
病院などの医療施設が充実している	7	0.6%
保健・福祉施設やサービスが充実している	23	2.0%
文化・スポーツ施設が充実している	7	0.6%
まちのイメージがよい	14	1.2%
人とのつながりがある	204	18.0%
子育て環境がよい	14	1.2%
買い物に便利	36	3.2%
防災の体制が整っている	12	1.1%
防犯の体制が整っている	12	1.1%
余暇を楽しむ場所が充実している	7	0.6%
住民活動が活発に行われている	3	0.3%
住環境がよい	54	4.8%
行政のサービスがよい	10	0.9%
その他	20	1.8%
無回答	59	5.2%

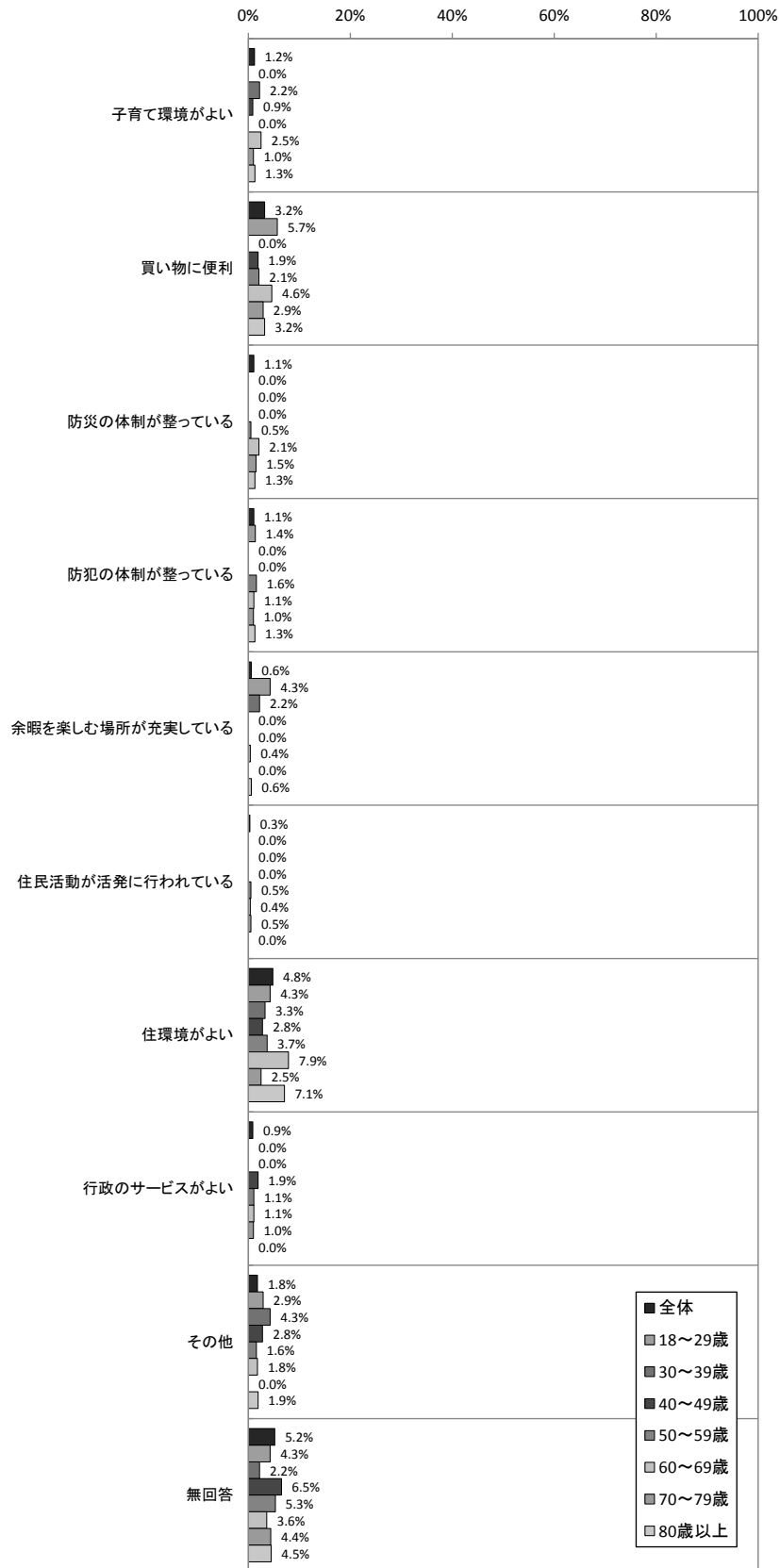
【男女別】



【年齢別】



【年齢別】



問15 新温泉町のよくないところ・改善すべきところは何ですか。(○は3つまで)

【全体】

比率の高いものから順に「医療施設が不足している」が 62.1%、「交通の不便さ」が 43.6%、「余暇(よか)を楽しむ場所が少ない」が 26.6%となっている。健康、移動手段への不安があるといえる。

【男女別にみた特徴】

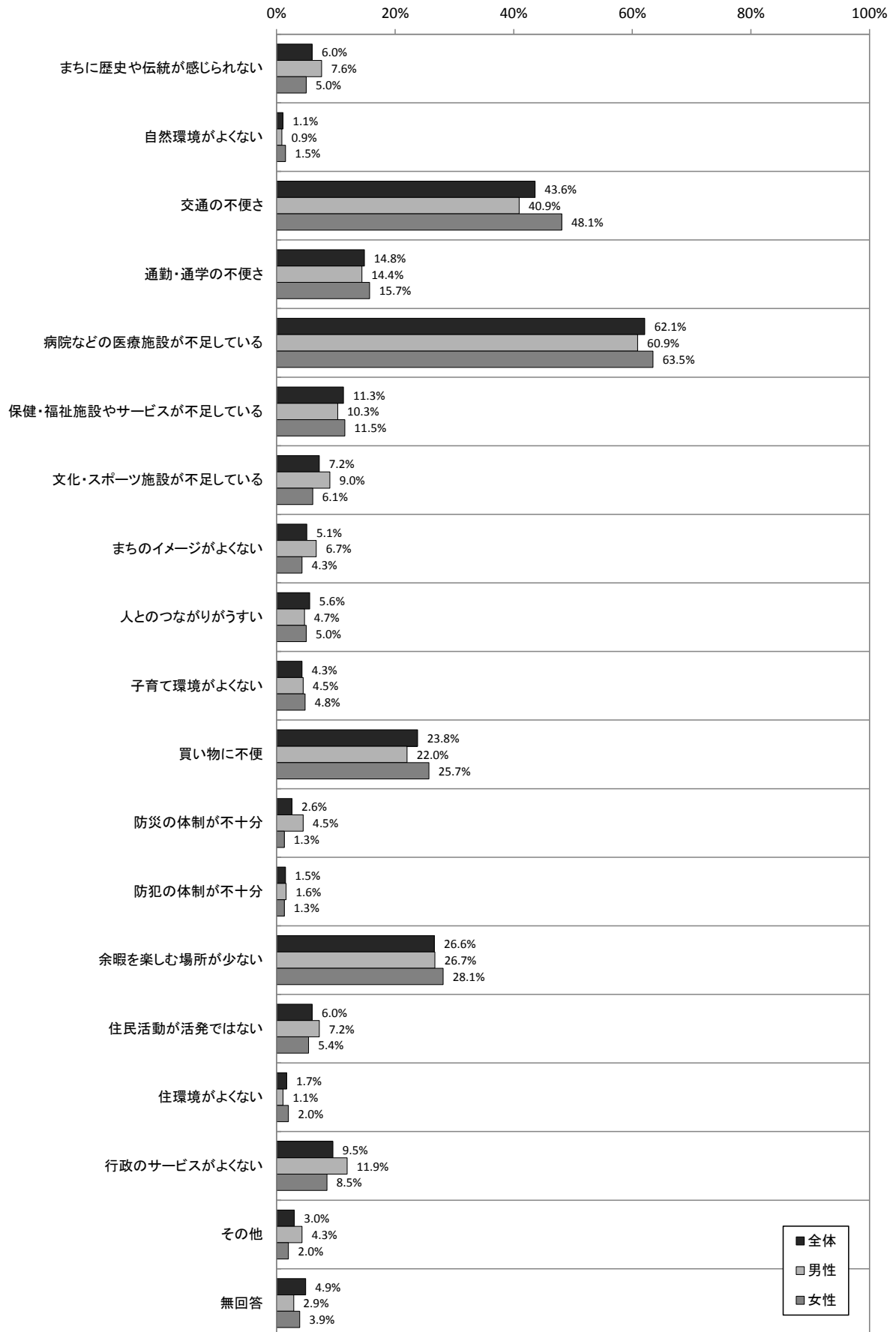
「交通の不便さ」は、〔男性〕より〔女性〕の方の比率が高い。

【年齢別にみた特徴】

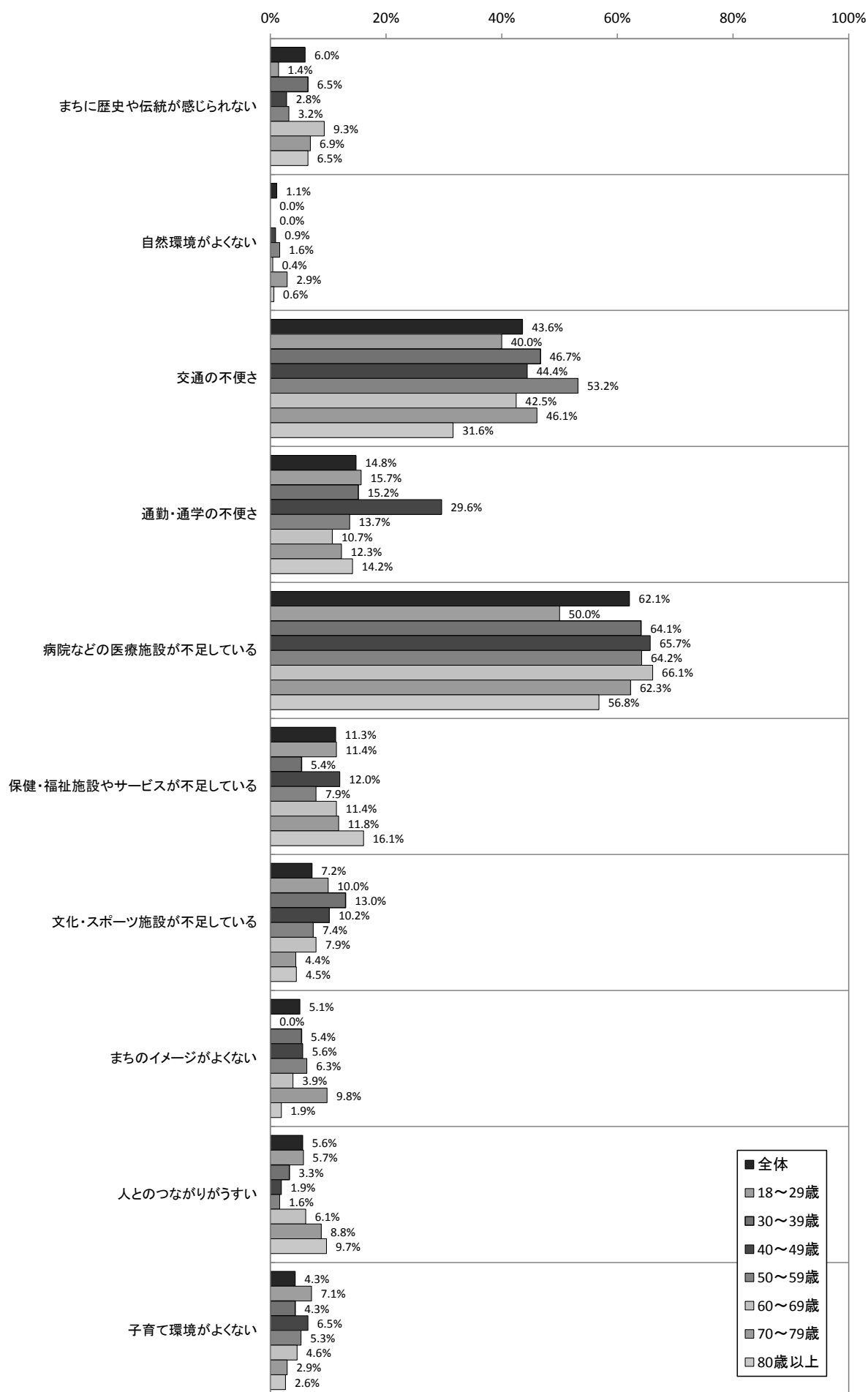
「余暇(よか)を楽しむ場所が少ない」は年齢階層が低くなるほど比率が高まる傾向がある。若者の定住のためには余暇を楽しむ場所づくりが求められる。

調査数	1,132	100.0%
まちに歴史や伝統が感じられない	68	6.0%
自然環境がよくない	13	1.1%
交通の不便さ	493	43.6%
通勤・通学の不便さ	167	14.8%
病院などの医療施設が不足している	703	62.1%
保健・福祉施設やサービスが不足している	128	11.3%
文化・スポーツ施設が不足している	82	7.2%
まちのイメージがよくない	58	5.1%
人とのつながりがうすい	63	5.6%
子育て環境がよくない	49	4.3%
買い物に不便	269	23.8%
防災の体制が不十分	29	2.6%
防犯の体制が不十分	17	1.5%
余暇を楽しむ場所が少ない	301	26.6%
住民活動が活発ではない	68	6.0%
住環境がよくない	19	1.7%
行政のサービスがよくない	108	9.5%
その他	34	3.0%
無回答	55	4.9%

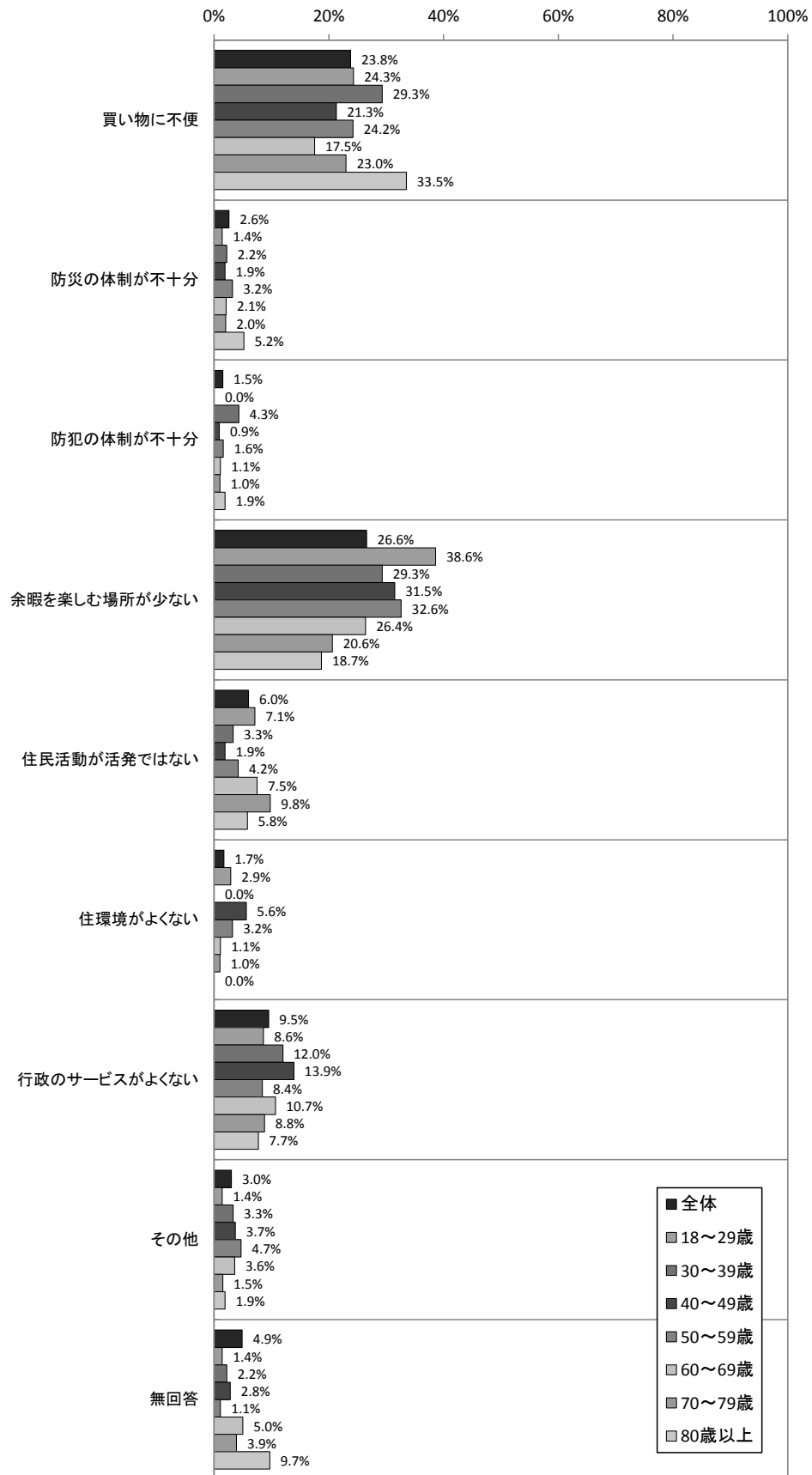
【男女別】



【年齢別】



【年齢別】



問 1 6 新温泉町が将来どのような特色をもったまちになることを期待しますか。(○は 3 つまで)

【全体】

比率の高いものから順に「福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち」が 57.2%、「自然環境に恵まれた住み心地のよいまち」が 32.4%、「観光・交流が盛んな活力あるまち」が 31.7%、「子育てがしやすいまち」が 28.6%となっている。将来のまちの特色としては、安心、心地よさ、活力、子育てがキーワードとなる。

【男女別にみた特徴】

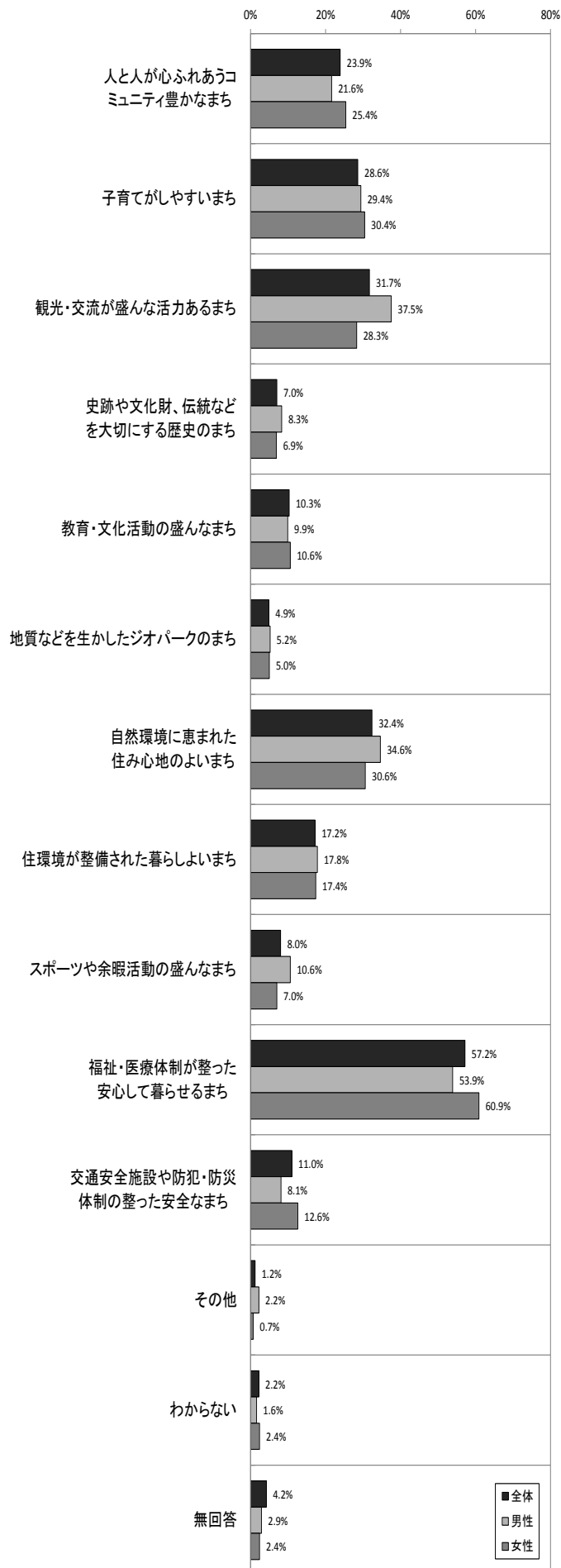
「観光・交流が盛んな活力あるまち」は、〔女性〕より〔男性〕の方の比率が高い。

【年齢別にみた特徴】

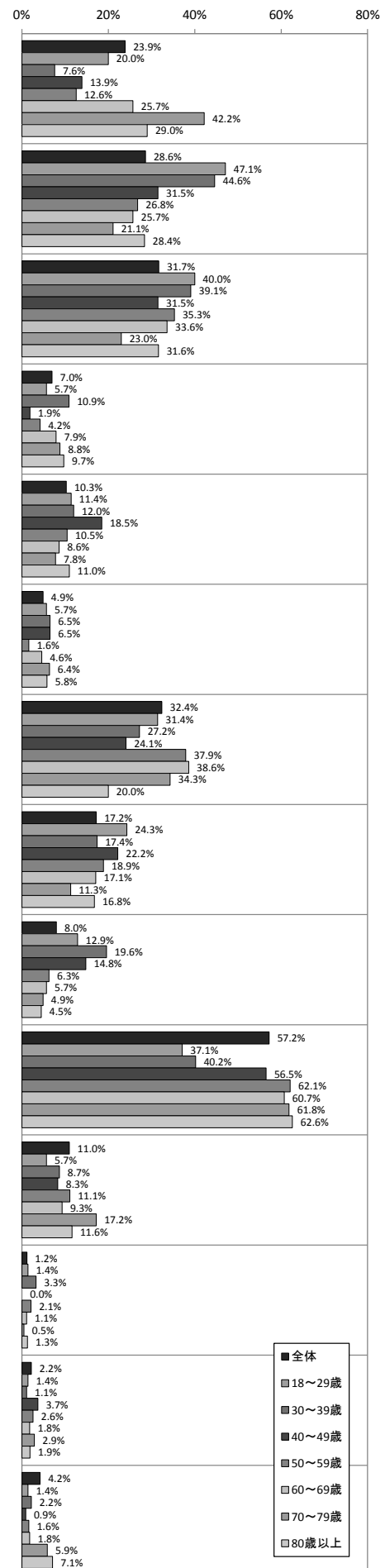
「子育てがしやすいまち」は〔29 歳まで〕の比率が最も高い。

調査数	1,132	100.0%
人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち	271	23.9%
子育てがしやすいまち	324	28.6%
観光・交流が盛んな活力あるまち	359	31.7%
史跡や文化財、伝統などを大切にする歴史のまち	79	7.0%
教育・文化活動の盛んなまち	117	10.3%
地質などを生かしたジオパークのまち	55	4.9%
自然環境に恵まれた住み心地のよいまち	367	32.4%
住環境が整備された暮らしよいまち	195	17.2%
スポーツや余暇活動の盛んなまち	90	8.0%
福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち	648	57.2%
交通安全施設や防犯・防災体制の整った安全なまち	125	11.0%
その他	14	1.2%
わからない	25	2.2%
無回答	48	4.2%

【男女別】



【年齢別】



問17 新温泉町を活性化するためには、どのような地域資源を活かせばよいと思いますか。

(○は1つ)

【全体】

比率の高いものから順に「地域の特産品」が40.7%、「海、山、温泉などの自然資源」が37.5%、となっている。農産物や但馬牛、海産物等の特産品と、ジオパーク等の自然資源がキーワードとなる。

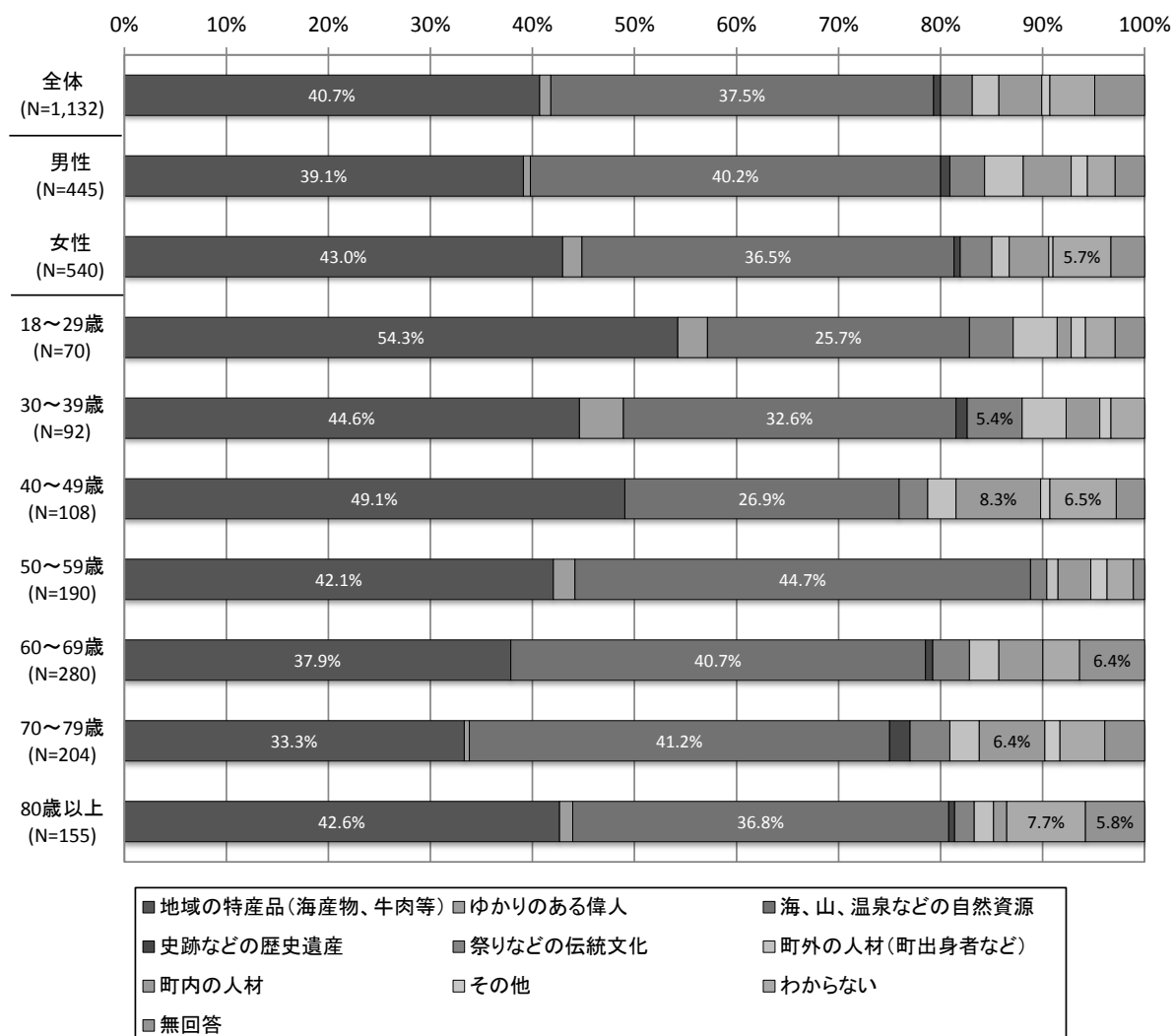
【男女別にみた特徴】

〔男性〕〔女性〕ともに、「地域の特産品」と「海、山、温泉などの自然資源」の比率が高い。

【年齢別にみた特徴】

「地域の特産品」は〔40歳代〕まで、「海、山、温泉などの自然資源」は〔50歳代〕以上の比率が高い。年齢階層によって、活かせばよいと思う地域資源が異なっている。

	調査数	地域の特産品 (海産物、牛肉等)	ゆかりのある偉人	海、山、温泉などの自然資源	史跡などの歴史遺産	祭りなどの伝統文化	町外の人材(町出身者など)	町内の人材	その他	わからない	無回答
全体	1132	461	13	424	8	35	29	47	9	50	56
	100.0%	40.7%	1.1%	37.5%	0.7%	3.1%	2.6%	4.2%	0.8%	4.4%	4.9%
男性	445	174	3	179	4	15	17	21	7	12	13
	100.0%	39.1%	0.7%	40.2%	0.9%	3.4%	3.8%	4.7%	1.6%	2.7%	2.9%
女性	540	232	10	197	3	17	9	21	2	31	18
	100.0%	43.0%	1.9%	36.5%	0.6%	3.1%	1.7%	3.9%	0.4%	5.7%	3.3%
無回答	147	55	—	48	1	3	3	5	—	7	25
	100.0%	37.4%	—	32.7%	0.7%	2.0%	2.0%	3.4%	—	4.8%	17.0%
18～29歳	70	38	2	18	—	3	3	1	1	2	2
	100.0%	54.3%	2.9%	25.7%	—	4.3%	4.3%	1.4%	1.4%	2.9%	2.9%
30～39歳	92	41	4	30	1	5	4	3	1	3	—
	100.0%	44.6%	4.3%	32.6%	1.1%	5.4%	4.3%	3.3%	1.1%	3.3%	—
40～49歳	108	53	—	29	—	3	3	9	1	7	3
	100.0%	49.1%	—	26.9%	—	2.8%	2.8%	8.3%	0.9%	6.5%	2.8%
50～59歳	190	80	4	85	—	3	2	6	3	5	2
	100.0%	42.1%	2.1%	44.7%	—	1.6%	1.1%	3.2%	1.6%	2.6%	1.1%
60～69歳	280	106	—	114	2	10	8	12	—	10	18
	100.0%	37.9%	—	40.7%	0.7%	3.6%	2.9%	4.3%	—	3.6%	6.4%
70～79歳	204	68	1	84	4	8	6	13	3	9	8
	100.0%	33.3%	0.5%	41.2%	2.0%	3.9%	2.9%	6.4%	1.5%	4.4%	3.9%
80歳以上	155	66	2	57	1	3	3	2	—	12	9
	100.0%	42.6%	1.3%	36.8%	0.6%	1.9%	1.9%	1.3%	—	7.7%	5.8%
無回答	33	9	—	7	—	—	—	1	—	2	14
	100.0%	27.3%	—	21.2%	—	—	—	3.0%	—	6.1%	42.4%



問 1 8 時代の流れへの対応は重要な課題であると考えていますが、人口減少以外に特に重要かつ優先的に対応すべきと考えるものは何ですか。（○は 3 つまで）

【全体】

比率の高いものから順に「少子高齢化」が 56.6%、「地域経済の活性化」が 49.3%、「地域福祉の充実」が 37.0%となっている。

【男女別にみた特徴】

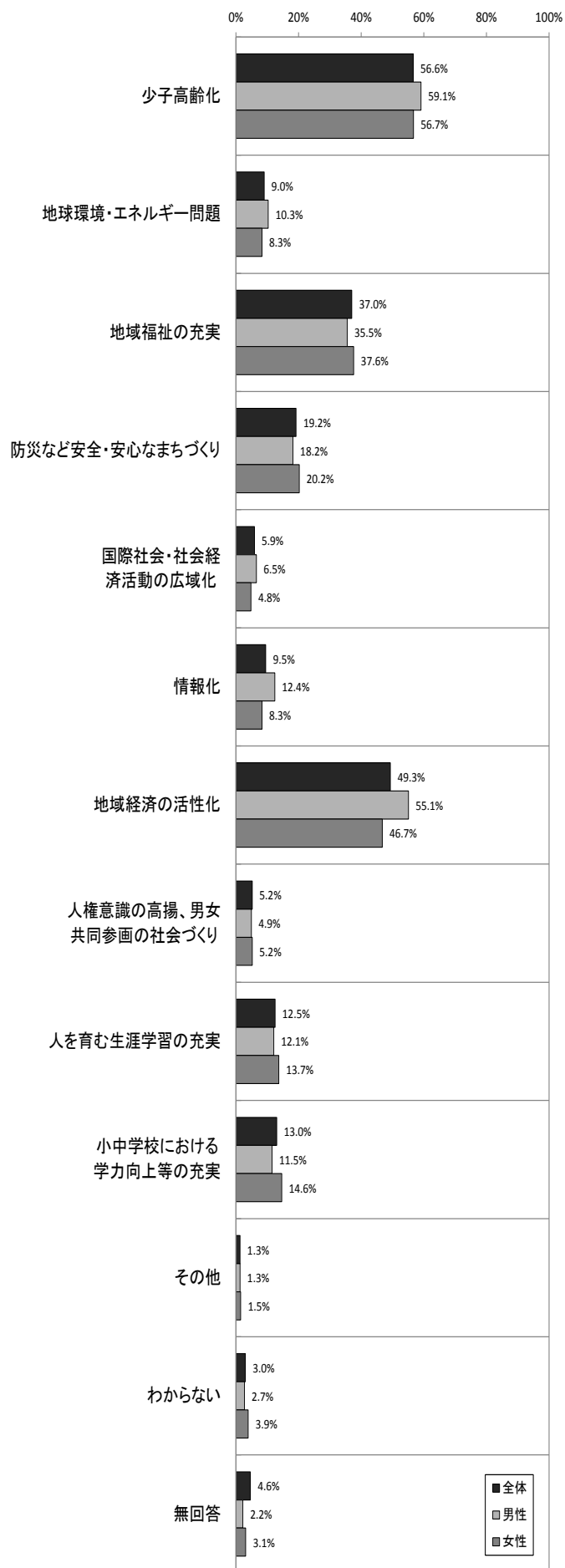
「地域経済の活性化」は、〔女性〕より〔男性〕の方の比率が高い。

【年齢別にみた特徴】

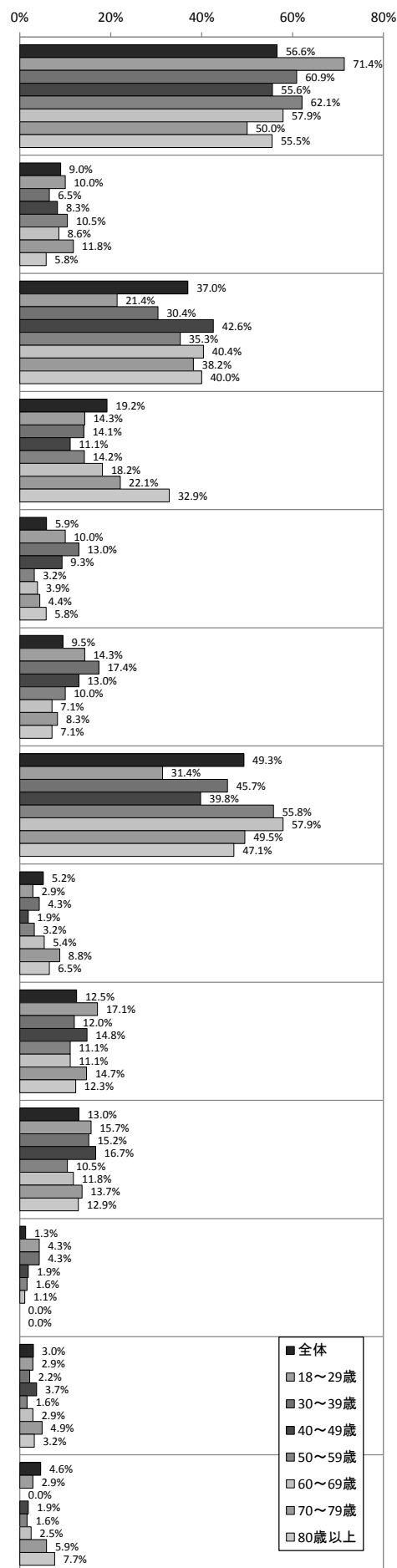
「少子高齢化」は〔29 歳まで〕の比率が最も高い。自分自身の将来のことを考え、関心が高いといえる。

調査数	1,132	100.0%
少子高齢化	641	56.6%
地球環境・エネルギー問題	102	9.0%
地域福祉の充実	419	37.0%
防災など安全・安心なまちづくり	217	19.2%
国際社会・社会経済活動の広域化	67	5.9%
情報化	108	9.5%
地域経済の活性化	558	49.3%
人権意識の高揚、男女共同参画の社会づくり	59	5.2%
人を育む生涯学習の充実	142	12.5%
小中学校における学力向上等の充実	147	13.0%
その他	15	1.3%
わからない	34	3.0%
無回答	52	4.6%

【男女別】



【年齢別】



このページからの設問は、49 歳までの男女の方のみを調査対象としています。

5 結婚・出産・子育てに関する意識や希望について

問 19 あなたは現在結婚（事実婚含む）をしていますか。（○は 1 つ）

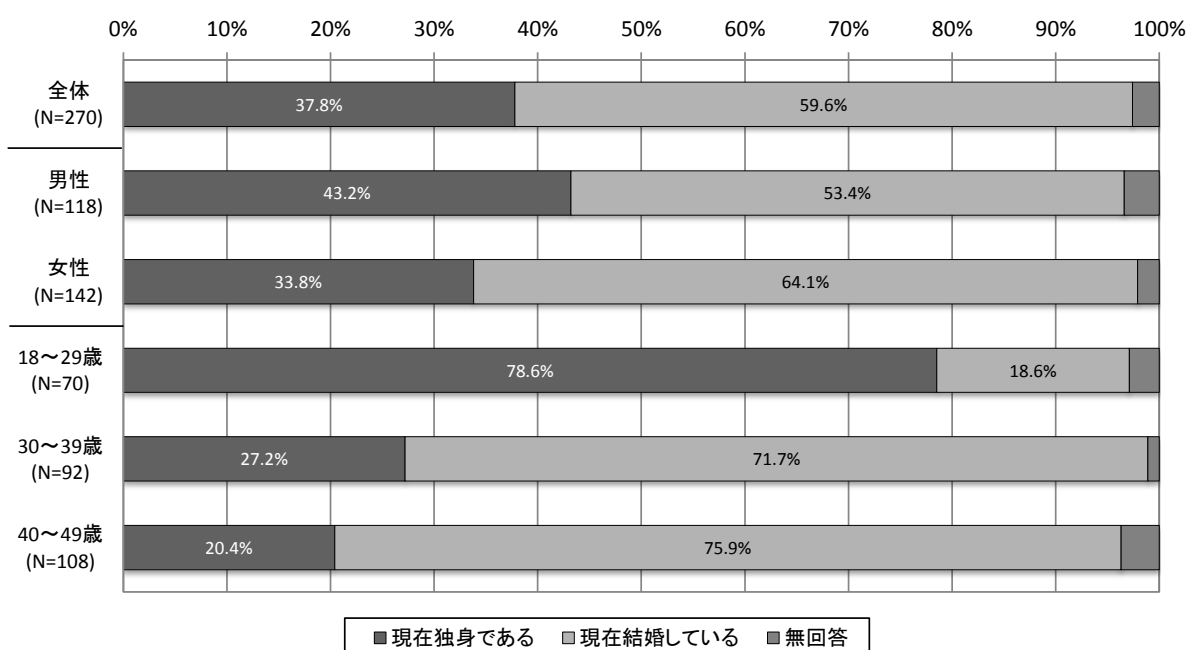
【全体】

「結婚している」が 59.6%、「独身である」が 37.8%で、「結婚している」の方の比率が 21.8 ポイント高い。

【年齢別にみた特徴】

〔40 歳代〕の「独身である」が 20.4%である。

	調査数	現在独身である	現在結婚している	無回答
全体	270	102	161	7
	100.0%	37.8%	59.6%	2.6%
男性	118	51	63	4
	100.0%	43.2%	53.4%	3.4%
女性	142	48	91	3
	100.0%	33.8%	64.1%	2.1%
無回答	10	3	7	—
	100.0%	30.0%	70.0%	—
18～29歳	70	55	13	2
	100.0%	78.6%	18.6%	2.9%
30～39歳	92	25	66	1
	100.0%	27.2%	71.7%	1.1%
40～49歳	108	22	82	4
	100.0%	20.4%	75.9%	3.7%

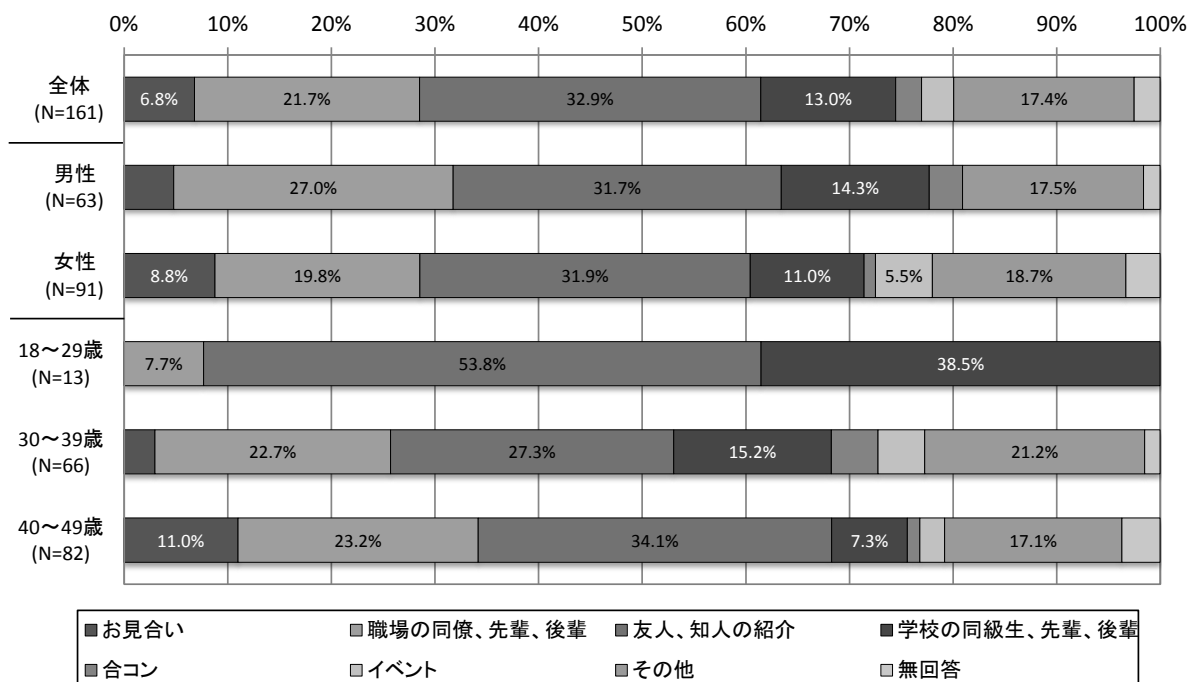


問20 現在結婚している方にお伺いします。知り合ったきっかけは何ですか。(○は1つ)

【全体】

比率の高いものから順に「友人、知人の紹介」が32.9%、「職場の同僚、先輩、後輩」が21.7%、「学校の同級生、先輩、後輩」が13.0%となっている。「お見合い」「合コン」「イベント」は1割以下であり、今後出会いの機会を高める手法としての可能性がうかがえる。

	調査数	お見合い	職場の同僚、先輩、後輩	友人、知人の紹介	学校の同級生、先輩、後輩	合コン	イベント	その他	無回答
全体	161	11	35	53	21	4	5	28	4
	100.0%	6.8%	21.7%	32.9%	13.0%	2.5%	3.1%	17.4%	2.5%
男性	63	3	17	20	9	2	—	11	1
	100.0%	4.8%	27.0%	31.7%	14.3%	3.2%	—	17.5%	1.6%
女性	91	8	18	29	10	1	5	17	3
	100.0%	8.8%	19.8%	31.9%	11.0%	1.1%	5.5%	18.7%	3.3%
無回答	7	—	—	4	2	1	—	—	—
	100.0%	—	—	57.1%	28.6%	14.3%	—	—	—
18～29歳	13	—	1	7	5	—	—	—	—
	100.0%	—	7.7%	53.8%	38.5%	—	—	—	—
30～39歳	66	2	15	18	10	3	3	14	1
	100.0%	3.0%	22.7%	27.3%	15.2%	4.5%	4.5%	21.2%	1.5%
40～49歳	82	9	19	28	6	1	2	14	3
	100.0%	11.0%	23.2%	34.1%	7.3%	1.2%	2.4%	17.1%	3.7%



問 2 1 現在独身の方に、あなたの結婚観についてお伺いします。(○は 1 つ)

【全体】

「いずれは結婚したい」が 36.3%、「近い将来には結婚したい」が 24.5%、「結婚はするべきだと思っている」が 10.8%で、合わせると約 7 割の方に結婚の意思がある。

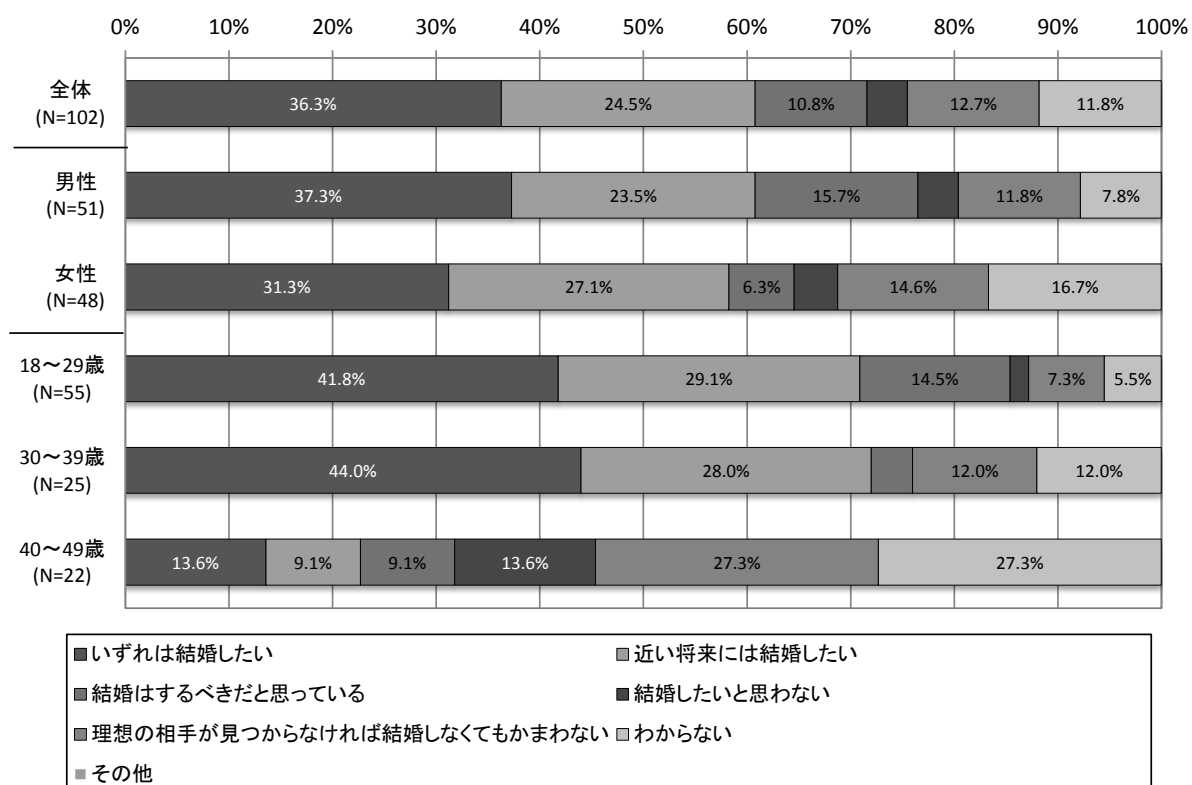
【男女別にみた特徴】

同様に 3 つの選択肢を合わせると、〔男性〕は 76.5%〔女性〕は 64.7%で、〔男性〕の方が 11.8 ポイント高い。

【年齢別にみた特徴】

同様に 3 つの選択肢を合わせると、〔40 歳代〕では 3 割である。

	調査数	いずれは結婚したい	近い将来には結婚したい	結婚はするべきだと思っ	結婚したいと思わない	理想の相手が見つからな	わからない	その他
全体	102	37	25	11	4	13	12	-
	100.0%	36.3%	24.5%	10.8%	3.9%	12.7%	11.8%	-
男性	51	19	12	8	2	6	4	-
	100.0%	37.3%	23.5%	15.7%	3.9%	11.8%	7.8%	-
女性	48	15	13	3	2	7	8	-
	100.0%	31.3%	27.1%	6.3%	4.2%	14.6%	16.7%	-
無回答	3	3	-	-	-	-	-	-
	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-
18～29歳	55	23	16	8	1	4	3	-
	100.0%	41.8%	29.1%	14.5%	1.8%	7.3%	5.5%	-
30～39歳	25	11	7	1	-	3	3	-
	100.0%	44.0%	28.0%	4.0%	-	12.0%	12.0%	-
40～49歳	22	3	2	2	3	6	6	-
	100.0%	13.6%	9.1%	9.1%	13.6%	27.3%	27.3%	-



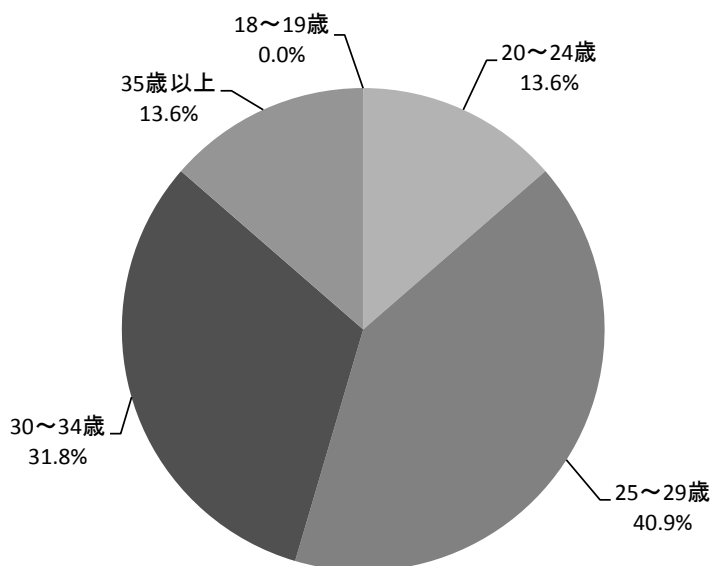
問 2 2 前問で「1 いずれは結婚したい」、「2 近い将来には結婚したい」、「3 結婚はするべきだと思っている」を答えられた方にお伺いします。結婚したい年齢は何歳ぐらいですか。

【全体】

比率の高いものから順に〔25～29 歳〕が 40.9%、〔30～34 歳〕が 31.8%で、合わせると7割となっている。

調査数	73	100.0%
具体的な年齢記載有り	44	60.3%
わからない	26	35.6%
無回答	3	4.1%

調査数	44	100.0%
18～19歳	—	—
20～24歳	6	13.6%
25～29歳	18	40.9%
30～34歳	14	31.8%
35歳以上	6	13.6%
無回答	—	—



問 2 3 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。（○は3つまで）

【全体】

比率の高いものから順に「出会いの機会がない」が 30.4%、「相手にめぐり会わない」が 29.4% となっている。

【男女別にみた特徴】

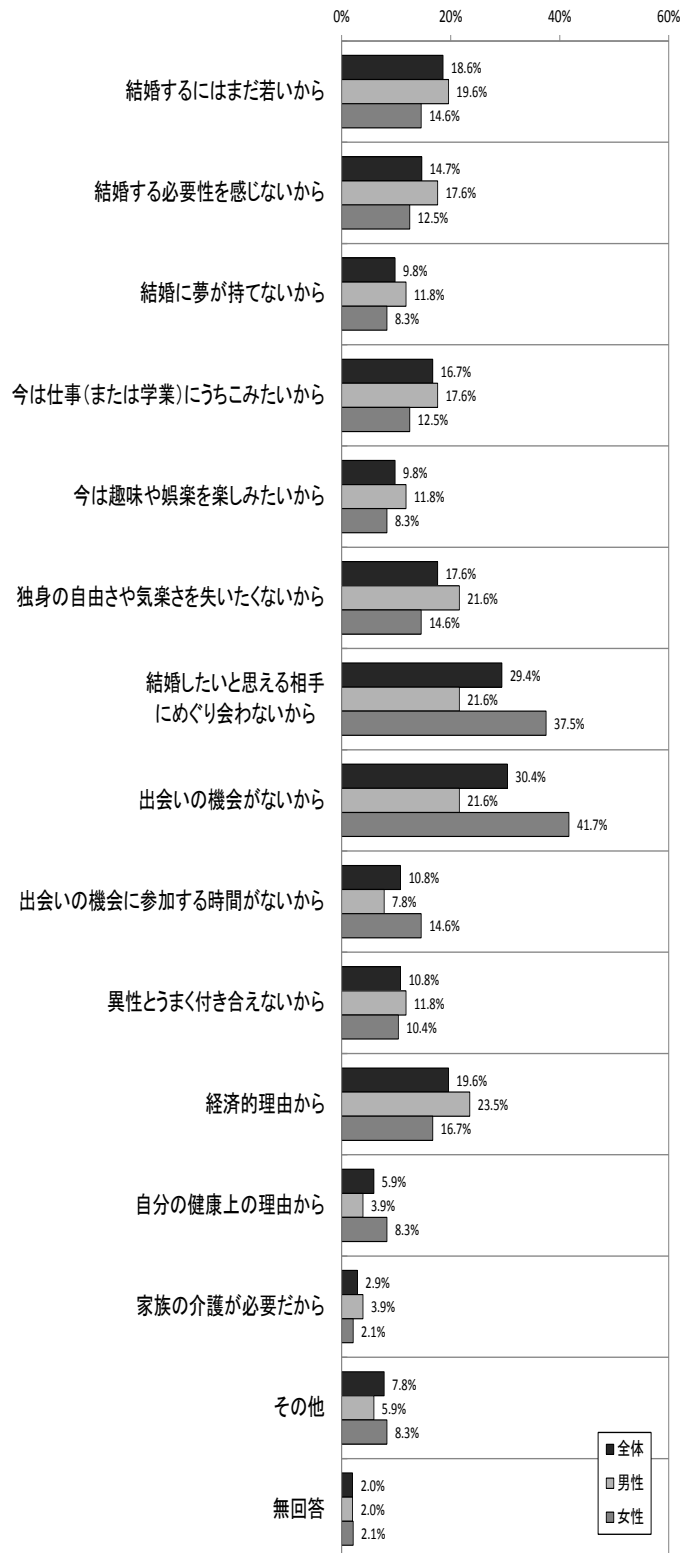
「出会いの機会がない」、「相手にめぐり会わない」ともに、〔男性〕より〔女性〕の方の比率が高い。

【年齢別にみた特徴】

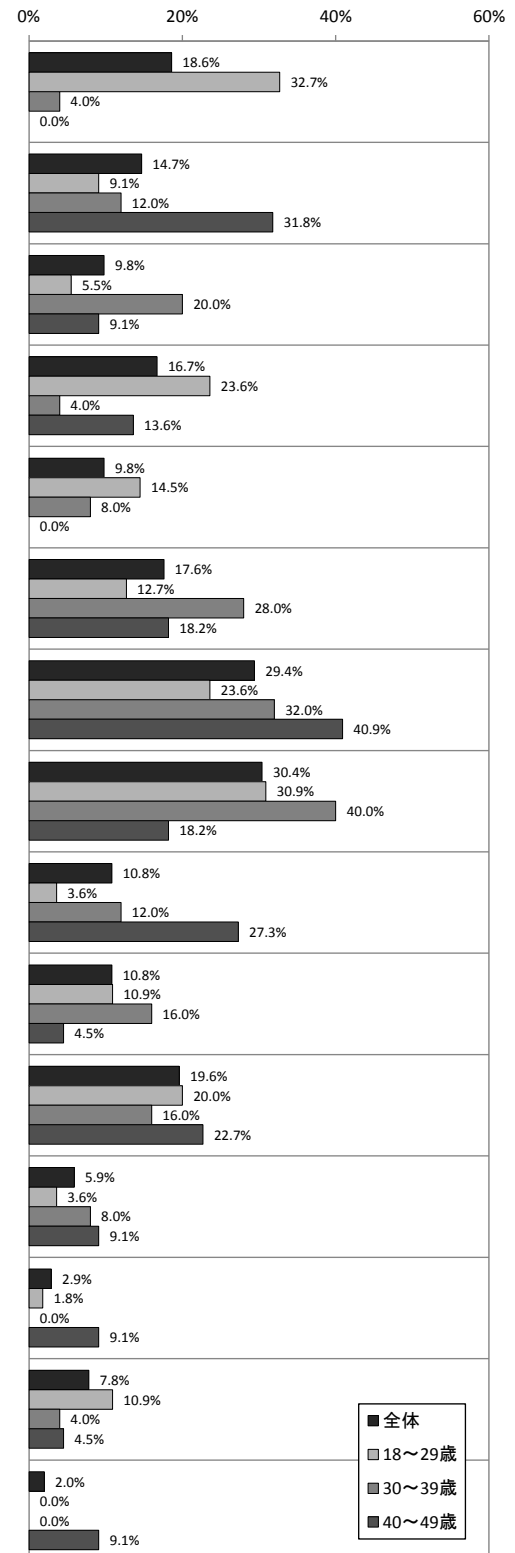
「出会いの機会がない」は〔30 歳代〕で最も高い。〔30 歳代〕を対象とした出会いの機会づくりが必要といえる。

調査数	102	100.0%
結婚するにはまだ若いから	19	18.6%
結婚する必要性を感じないから	15	14.7%
結婚に夢が持てないから	10	9.8%
今は仕事(または学業)にうちこみたいから	17	16.7%
今は趣味や娯楽を楽しみたいから	10	9.8%
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	18	17.6%
結婚したいと思える相手にめぐり会わないから	30	29.4%
出会いの機会がないから	31	30.4%
出会いの機会に参加する時間がないから	11	10.8%
異性とうまく付き合えないから	11	10.8%
経済的理由から	20	19.6%
自分の健康上の理由から	6	5.9%
家族の介護が必要だから	3	2.9%
その他	8	7.8%
無回答	2	2.0%

【男女別】



【年齢別】

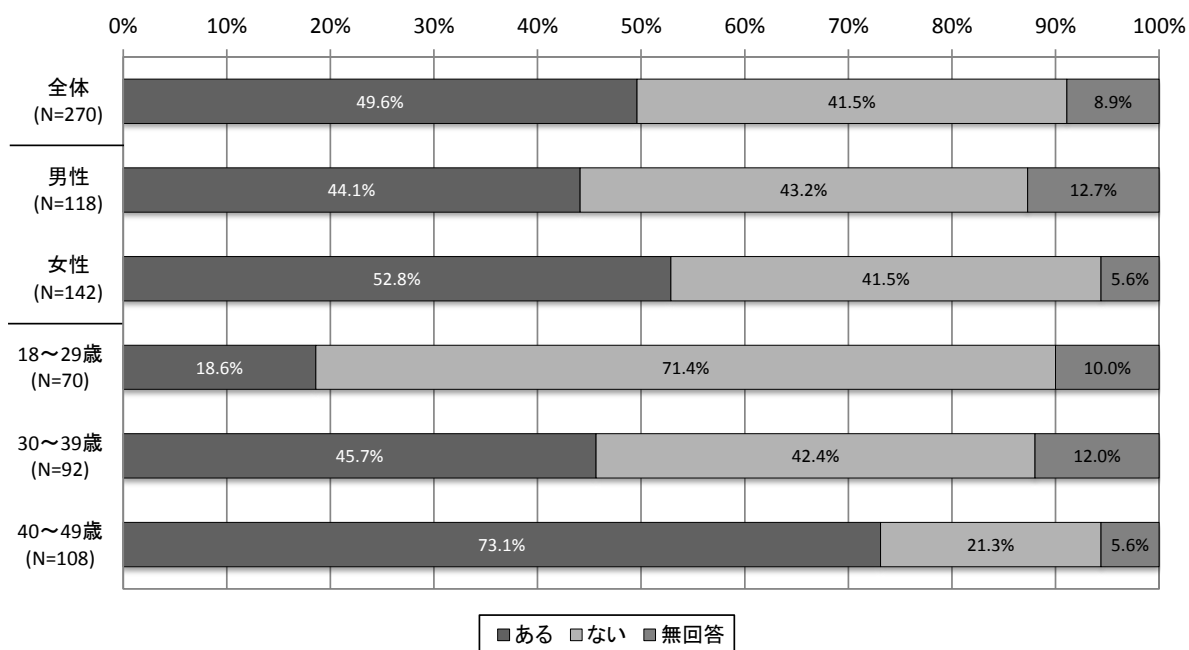


問 2 4 あなた自身またはあなたのパートナーはこれまでに出産したことがありますか。(○は 1 つ)

【全体】

「ある」が 49.6%、「ない」が 41.5%となっている。

	調査数	ある	ない	無回答
全体	270	134	112	24
	100.0%	49.6%	41.5%	8.9%
男性	118	52	51	15
	100.0%	44.1%	43.2%	12.7%
女性	142	75	59	8
	100.0%	52.8%	41.5%	5.6%
無回答	10	7	2	1
	100.0%	70.0%	20.0%	10.0%
18～29歳	70	13	50	7
	100.0%	18.6%	71.4%	10.0%
30～39歳	92	42	39	11
	100.0%	45.7%	42.4%	12.0%
40～49歳	108	79	23	6
	100.0%	73.1%	21.3%	5.6%

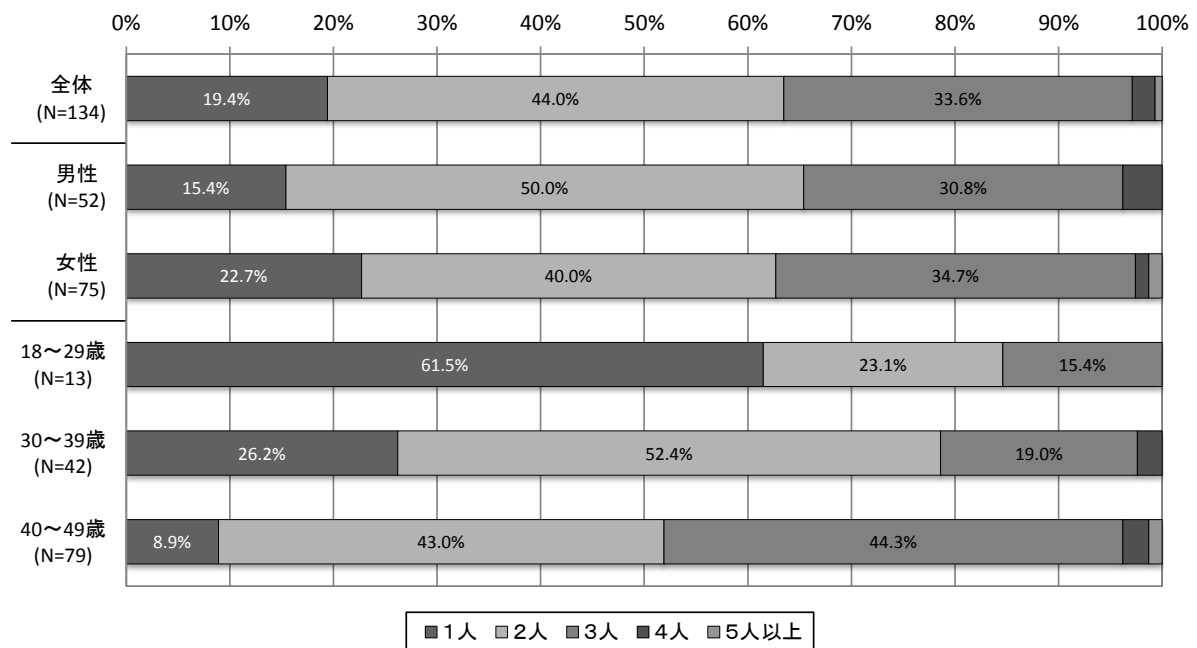


問25 前問で、「1 ある」と答えた方にお伺いします。これまでに生んだお子さんの人数は何人ですか。(○は1つ)

【全体】

「2人」が44.0%、「3人」が33.6%となっている。

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上
全体	134	26	59	45	3	1
	100.0%	19.4%	44.0%	33.6%	2.2%	0.7%
男性	52	8	26	16	2	—
	100.0%	15.4%	50.0%	30.8%	3.8%	—
女性	75	17	30	26	1	1
	100.0%	22.7%	40.0%	34.7%	1.3%	1.3%
無回答	7	1	3	3	—	—
	100.0%	14.3%	42.9%	42.9%	—	—
18～29歳	13	8	3	2	—	—
	100.0%	61.5%	23.1%	15.4%	—	—
30～39歳	42	11	22	8	1	—
	100.0%	26.2%	52.4%	19.0%	2.4%	—
40～49歳	79	7	34	35	2	1
	100.0%	8.9%	43.0%	44.3%	2.5%	1.3%



問26 あなたは理想として、お子さんを何人欲しいと思いますか（思いましたか）。（○は1つ）

【全体】

「3人」が44.4%、「2人」が35.6%となっている。

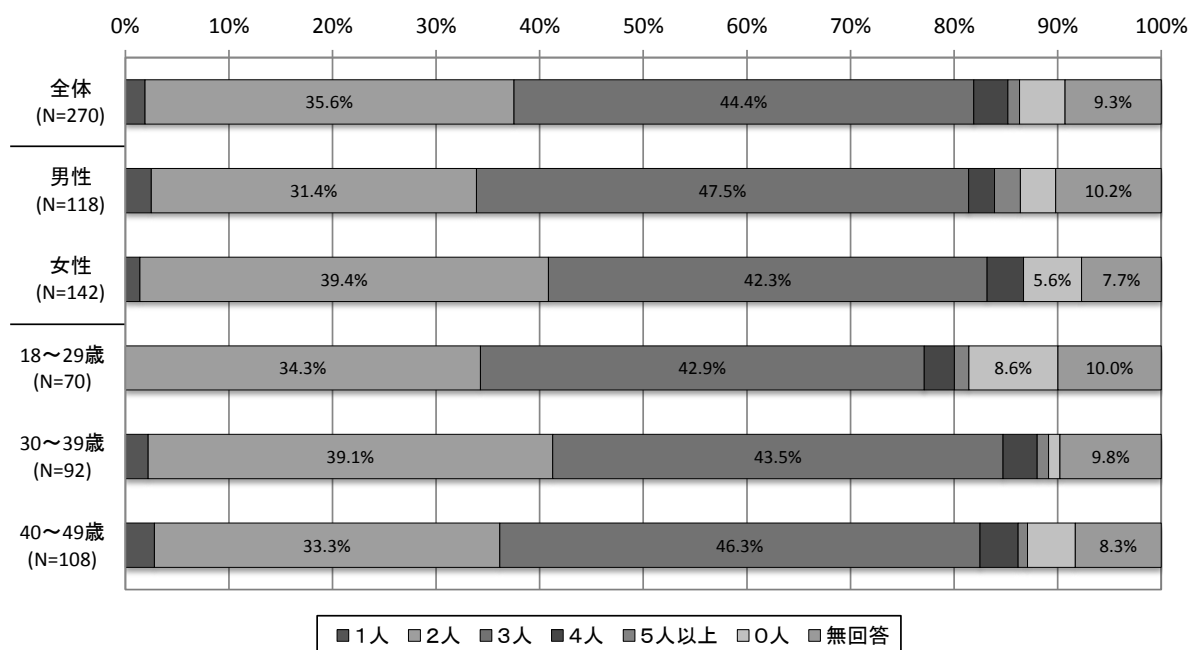
【男女別にみた特徴】

男女ともに「3人」が4割台、次に「2人」が3割台となっている。

【年齢別にみた特徴】

各年代ともに「3人」が4割台、次に「2人」が3割台となっている。

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	0人	無回答
全体	270	5	96	120	9	3	12	25
	100.0%	1.9%	35.6%	44.4%	3.3%	1.1%	4.4%	9.3%
男性	118	3	37	56	3	3	4	12
	100.0%	2.5%	31.4%	47.5%	2.5%	2.5%	3.4%	10.2%
女性	142	2	56	60	5	—	8	11
	100.0%	1.4%	39.4%	42.3%	3.5%	—	5.6%	7.7%
無回答	10	—	3	4	1	—	—	2
	100.0%	—	30.0%	40.0%	10.0%	—	—	20.0%
18～29歳	70	—	24	30	2	1	6	7
	100.0%	—	34.3%	42.9%	2.9%	1.4%	8.6%	10.0%
30～39歳	92	2	36	40	3	1	1	9
	100.0%	2.2%	39.1%	43.5%	3.3%	1.1%	1.1%	9.8%
40～49歳	108	3	36	50	4	1	5	9
	100.0%	2.8%	33.3%	46.3%	3.7%	0.9%	4.6%	8.3%



問 2 7 理想の人数より実際のお子さんの人数が少ない方にお伺いします。その理由は何ですか。

(○は3つまで)

【全体】

構成比が高い順に「仕事と子育ての両立が難しい」と「教育にお金がかかる」が 25.8%、「出産・育児等の経済的負担が大きい」が 22.6%となっており、経済的理由を合わせると 48.4%となっている。

【男女別にみた特徴】

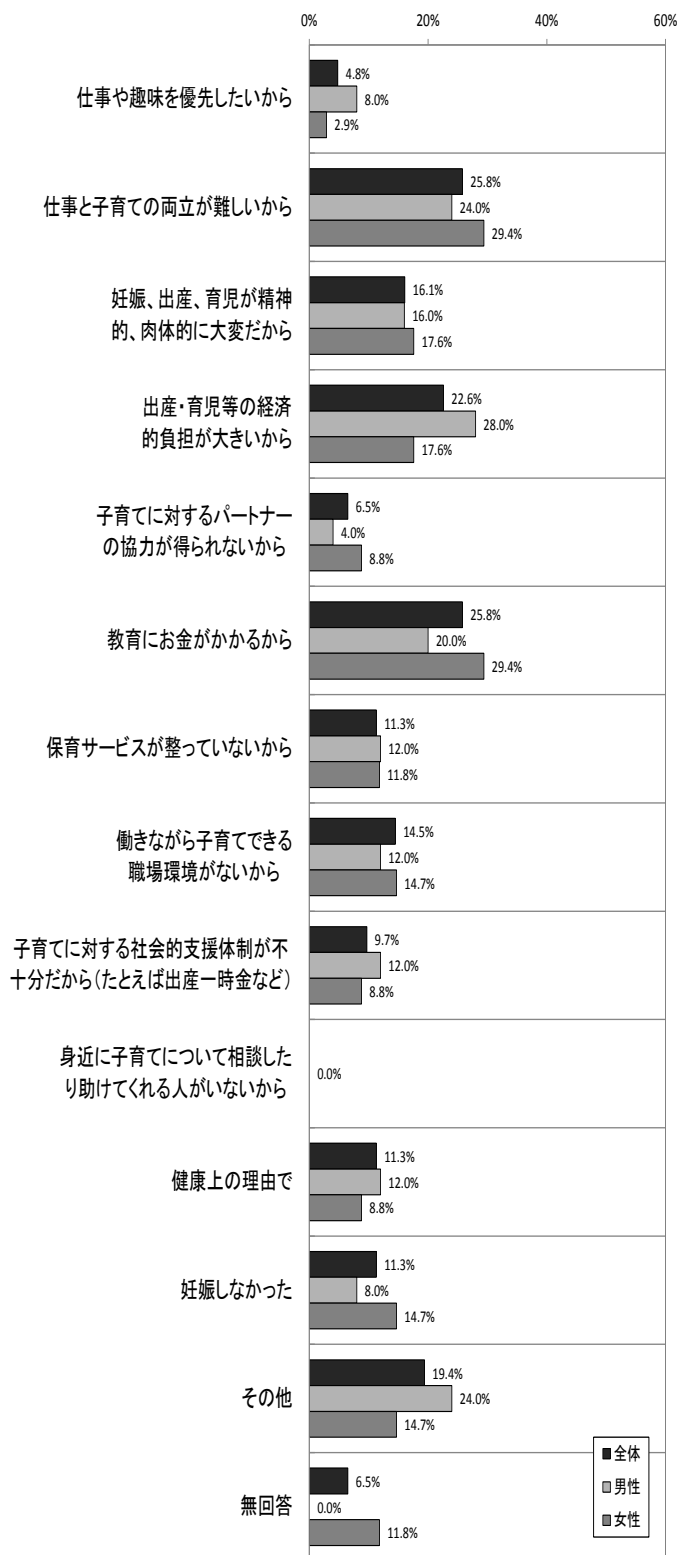
「仕事と子育ての両立が難しい」と「教育にお金がかかる」は、〔男性〕より〔女性〕の方のポイントが高い。「出産・育児等の経済的負担が大きい」では〔女性〕より〔男性〕の方のポイントが高くなっている。〔女性〕は仕事と子育ての両立の負担が大きいといえる。

【年齢別にみた特徴】

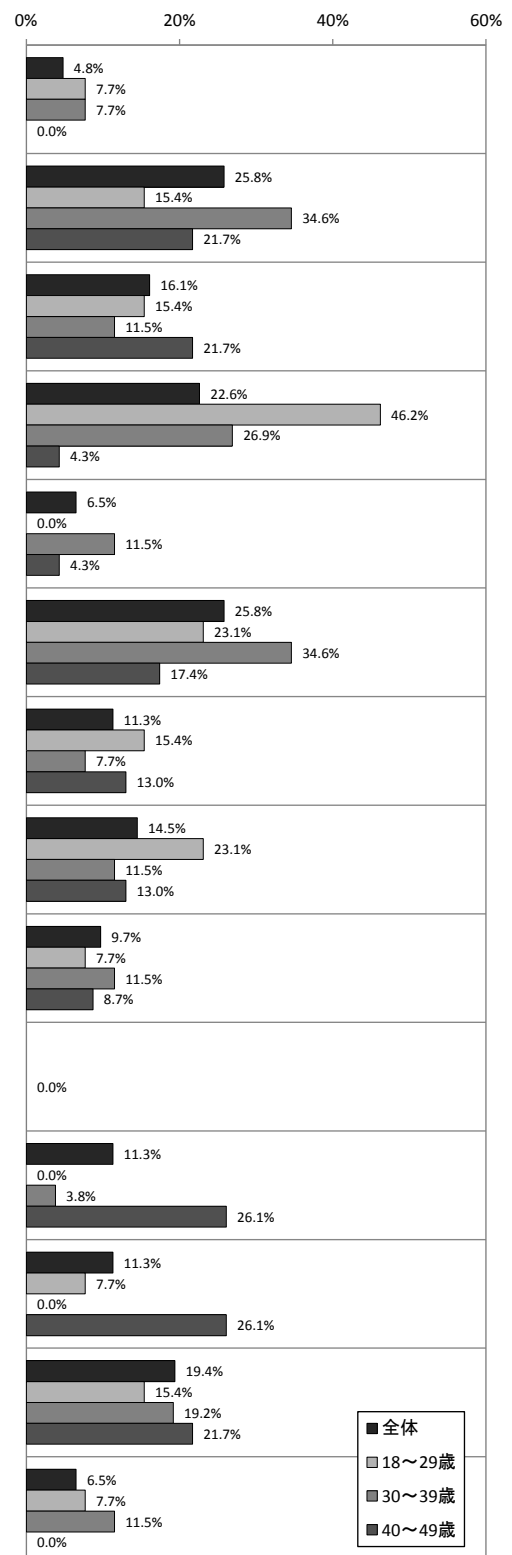
「仕事と子育ての両立が難しい」と「教育にお金がかかる」は〔30 歳代〕、「出産・育児等の経済的負担が大きい」では〔20 歳代〕の比率が高くなっている。

調査数	62	100.0%
仕事や趣味を優先したいから	3	4.8%
仕事と子育ての両立が難しいから	16	25.8%
妊娠、出産、育児が精神的、肉体的に大変だから	10	16.1%
出産・育児等の経済的負担が大きいから	14	22.6%
子育てに対するパートナーの協力が得られないから	4	6.5%
教育にお金がかかるから	16	25.8%
保育サービスが整っていないから	7	11.3%
働きながら子育てできる職場環境がないから	9	14.5%
子育てに対する社会的支援体制が不十分だから(たとえば出産一時金など)	6	9.7%
身近に子育てについて相談したり助けしてくれる人がいないから	-	-
健康上の理由で	7	11.3%
妊娠しなかった	7	11.3%
その他	12	19.4%
無回答	4	6.5%

【男女別】



【年齢別】



問28 あなたの世帯の働き方は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

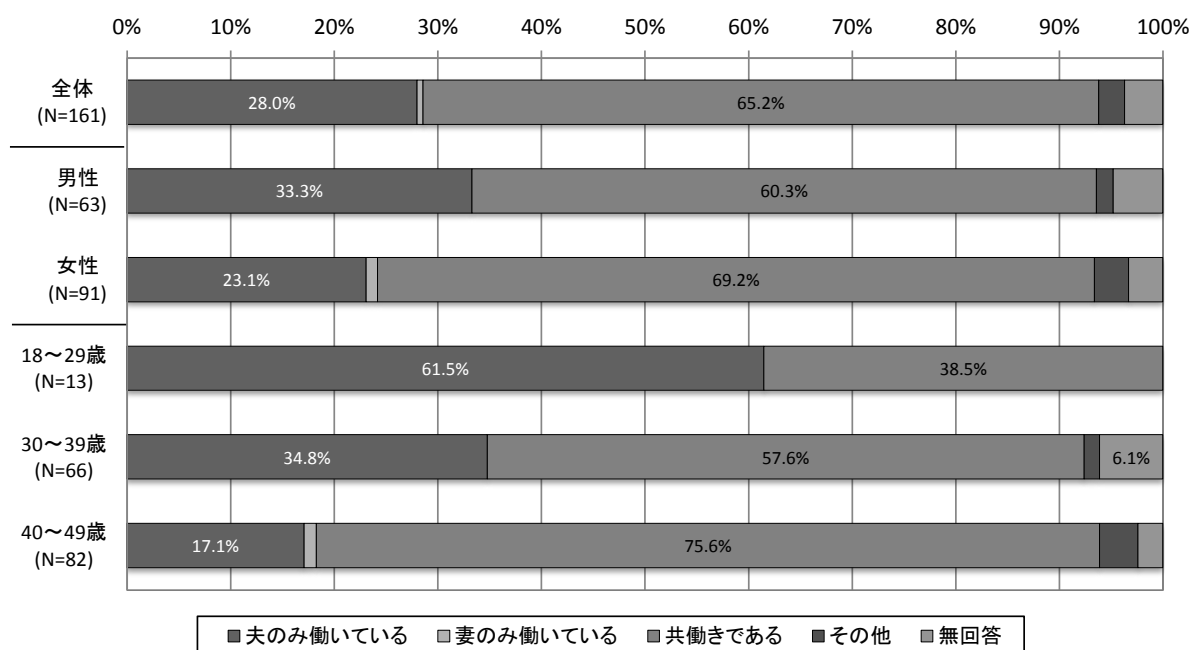
【全体】

「共働きである」が65.2%である。

【年齢別にみた特徴】

年齢階層が高くなるほど「共働きである」の比率が高まる。子どもの教育費等への対応と考えられる。

	調査数	夫のみ働いている	妻のみ働いている	共働きである	その他	無回答
全体	161	45	1	105	4	6
	100.0%	28.0%	0.6%	65.2%	2.5%	3.7%
男性	63	21	—	38	1	3
	100.0%	33.3%	—	60.3%	1.6%	4.8%
女性	91	21	1	63	3	3
	100.0%	23.1%	1.1%	69.2%	3.3%	3.3%
無回答	7	3	—	4	—	—
	100.0%	42.9%	—	57.1%	—	—
18～29歳	13	8	—	5	—	—
	100.0%	61.5%	—	38.5%	—	—
30～39歳	66	23	—	38	1	4
	100.0%	34.8%	—	57.6%	1.5%	6.1%
40～49歳	82	14	1	62	3	2
	100.0%	17.1%	1.2%	75.6%	3.7%	2.4%



Ⅲ 主な自由意見

主な自由意見を施策項目ごとに整理すると以下のとおりである。

項 目	件数	意見内容
1 安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする取り組み	4 3	・ 地元農水産物のブランド化と創成 ・ 町外企業の誘致 ・ 産物を利用した商品化などの工場の設置 ・ 農業地域には集落営農組織、法人化（株・NPO 農業）、商業地域は商業集団化 ・ 役場や一般企業の採用年齢の引き上げ など
2 町外からの新しい人の流れ（U I J ターンなど）をつくる取り組み	2 2	・ 移住者、若年層定住促進のための税制等の優遇 ・ 専門学校などの誘致 ・ 新温泉町のしきたりは古く、外国人も住める、県外からも良い町と思われないと定住しない など
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組み	1 1	・ 景勝地、歴史の街の 2 点を重点に P R ・ ジオパーク館の活用 ・ 病児を受け入れる保育園の設置 ・ 産婦人科や病院施設の充実 ・ 児童館等の設置 ・ 若い人からの意見を聞く ・ 独身の男女の出会いの場づくり など
4 人口が減少しても安心して暮らせる取り組み	2 3	・ 鳥取の病院まで 1 7 8 号での直行バスの運行 ・ J R 鳥取～豊岡間の優等列車の普通料金化 ・ 医療と福祉の重点化 ・ 健康づくりへの指導や施設の整備 ・ 近所同士が助け合えるまちづくり ・ 道路の整備を活用し、鳥取市との連携によるベッドタウン化の推進 など

項 目	件数	意見内容
5 子どもの教育環境の充実 とふるさと意識を醸成する 取り組み	16	・ 浜坂高校の活性化 ・ 幼少期から地元のことを知る機会づくり ・ スポーツ施設の整備 ・ 地域の文化、芸能への取り組み支援 ・ 海をきれいにする取り組みの推進 ・ 子どもたちが遊べる場所、遊具のある公園づくり など
6 高齢者が安心していきい きと暮らせる取り組み	26	・ 高齢者にやさしい町づくり ・ 会社等を退職した人材の活用 ・ 有料の規模の大きい老人ホームの整備 など
7 まちのにぎわいをつくる 取り組み	7	・ 関係者と十分話し合って取り組む ・ 駅前の美化・整備。駅前通りから、本通り（新町 ～京口～旭町）の空き家対策 ・ 駅前、ユートピア等での地場商品のアピール強化 など
8 他の地域との交流や連携 を進める取り組み	3	・ 国際交流の場づくり ・ 鳥取県東部との連携 など
9 その他	49	・ 住民活動団体への援助拡大 ・ 住民が参加できる領域をつくる ・ 町長はリーダーシップをもって職員、町民の意識 改革を促してほしい ・ 住民との話し合い等、役場がもっと動くべき ・ 浜坂でのケーブルテレビの整備 ・ ふるさと納税に力を入れる ・ もっと広い地域と合併すべきだ ・ 身近な放送が聞きたい ・ 町のスローガン（健康・福祉）を掲げ、町民と一 体となって取り組んで欲しい ・ 町内出身の有名人等の活用 ・ アンケートへの回答を通じ、考える機会となった など

新温泉町地方創生に関する住民アンケート調査

住民の皆さまには、日ごろから本町の町政運営に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、新温泉町では国が推進する地方創生を目的とした人口ビジョン及び総合戦略を今年度策定することとしており、策定に際しては、住民を主体とした施策について住民の皆さまと行政が知恵を出し合い、より良い計画にしたいと考えております。

本調査は、総合戦略の策定にあたり、住民の皆さまから率直なご意見をお聞かせいただくために実施するものです。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月

新温泉町長 岡本 英樹

●ご提出にあたってのお願い

アンケート調査票に回答いただき、同封の返信用封筒に入れて、

7月27日（月）までにご返送ください。（切手を貼る必要はありません）

※本調査は、無作為に抽出した 18 歳以上の住民の方 3,000 人を対象に実施しています。
また、調査の結果はまちづくりの統計資料としてのみ活用させていただきます。

●ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は、あて名のご本人様をご記入ください。
なお、病気などやむを得ない事情によってご本人様が回答いただけない場合は、ご家族の方が代筆していただいても結構です。
- 2 回答は、選択肢の番号に「○」をつけてください。
設問によっては、回答が「○は 1 つ」、「○は 3 つまで」などと限定されているものがあります。
- 3 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入ください。
- 4 設問によっては、回答いただく必要がないものがあります。
- 5 返信用封筒に、住所・氏名をご記入いただく必要はありません。

●問い合わせ先

新温泉町企画課

TEL : 0796(82)5624 FAX : 0796(82)3054

E-mail : kikaku@town.shinonsen.lg.jp

※今回、「新温泉町情報化に関するアンケート調査」も同封していますので、併せてご協力くださいますようお願い申し上げます。

新温泉町地方創生に関する住民アンケート調査票

◆ 人口減少について

問1 新温泉町の人口は、平成22年の国勢調査時点では、16,004人ですが、このままの状態で推移すると平成52年の推計人口は、10,000人を下回ると推計されています。あなたは、新温泉町の人口が減少していくことについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべき
- 2 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持すべき
- 3 人口減少は望ましくないが、できるだけ減少幅が小さくなるよう努力すべき
- 4 人口減少は望ましくないが、やむを得ない
- 5 人口が減少してもしなくても、どちらでもよい
- 6 わからない
- 7 その他()

問2 人口減少に歯止めをかけながら活力ある地域づくりを進めるうえで、今後、新温泉町が重視して取り組むべきことは、何だと思えますか。(〇は3つまで)

- 1 安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする取り組み
- 2 町外からの新しい人の流れ(U・I・Jターンなど)をつくる取り組み
- 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組み
- 4 人口が減少しても安心して暮らせる取り組み
- 5 子どもの教育環境の充実とふるさと意識を醸成する取り組み
- 6 高齢者が安心していきいきと暮らせる取り組み
- 7 まちのにぎわいをつくる取り組み
- 8 他の地域との交流や連携を進める取り組み
- 9 その他()

◆ 人口減少対策についての具体的な取り組みについて

問3 安定した雇用を創出し、安心して働けるようにするためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 産業団体間の情報交流や意見交換などによる相互支援体制づくり
- 2 起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出
- 3 各産業の連携を進め、生産から加工、販売までの一貫したしくみづくりやブランド化などによる農林水産産業の振興
- 4 生産性向上や商圏拡大の支援などによる商工業の振興
- 5 海、山、温泉など本町の資源を生かした観光産業の振興
- 6 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチの解消
- 7 生計が立てられる産業環境づくりによる後継者の確保・育成
- 8 学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成
- 9 観光客の誘致や産業振興につながる道路等の整備及びインターネット環境等の社会基盤の整備

※具体的な事業・アイデア等のご提案

問4 町外からの新しい人の流れ（ＵＩＪターンなど）をつくるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。（〇は３つまで）

- 1 新温泉町に住みたくなるような情報発信や受け入れ体制等の環境づくり
- 2 ふるさとへの誇りと愛着の醸成等により本町出身者のＵターンを目指す取り組み
- 3 正規雇用の拡大や雇用機会の創出
- 4 起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備
- 5 若者による地域の魅力づくりの支援
- 6 道路や下水道など生活環境の整備や公共交通機関の充実
- 7 観光や交流などによる地域のにぎわいづくり
- 8 豊富な温泉の有効活用

※具体的な事業・アイデア等のご提案

問5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。（〇は３つまで）

- 1 結婚につながる出会いの場や機会の創出・充実
- 2 妊娠・出産・子育て中の人々が気軽に集える環境づくり
- 3 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や保健・医療体制の整備
- 4 一時・休日保育、放課後児童クラブ、学校園への送迎のしやすさなど保育・教育環境の充実
- 5 地域が子育てを支援する環境の整備
- 6 仕事と子育ての両立（ワーク・ライフ・バランス等）による働き方の見直し
- 7 育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産してもキャリアを失わずに安心して働き続けられる職場環境の整備
- 8 若い世代の経済的安定
- 9 保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実など子育て・教育における経済的な負担の軽減
- 10 多子世帯に対する支援の充実

※具体的な事業・アイデア等のご提案

問6 人口が減少しても安心して暮らすためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。（〇は３つまで）

- 1 自治会や地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出
- 2 地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり
- 3 保健・医療・福祉・教育機関の機能的な連携による健康づくり
- 4 廃校舎、公民館などの施設を利用した小さな拠点づくり
- 5 空き家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備
- 6 町民バスの維持など公共交通網の整備

※具体的な事業・アイデア等のご提案

問7 子どもの教育環境の充実とふるさと意識を醸成するためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 個々の学力・能力を高める教育の充実
- 2 地域文化などを教材とした学習により、ふるさとの魅力を知り、愛着を育む取り組み
- 3 国際的視野をもった子どもの育成
- 4 ジオパークなどの地域資源を生かした体験活動や交流により、豊かな人間性を育む取り組み
- 5 子どもが安全に遊べる公園や防犯体制の整備
- 6 スポーツを通じた教育やスポーツ環境（施設、指導者等）の充実

※具体的な事業・アイデア等のご提案

問8 高齢者が安心していきいきと暮らすためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 高齢者の社会活動への参加促進
- 2 生活上の不便を解消する施策（買い物支援、通院支援など）の充実
- 3 介護予防や認知症予防など、健康寿命の向上を目指す取り組み
- 4 介護を必要とする高齢者への施策の充実
- 5 介護施設等の整備充実
- 6 介護サービスによる高齢者の自立支援

※具体的な事業・アイデア等のご提案

問9 まちのにぎわいをつくるためには、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 浜坂駅前や湯村温泉街などの中心市街地の活性化
- 2 観光資源など地域資源を生かしたまちづくり
- 3 高齢者や若者など地域住民の社会活動への積極的な参加
- 4 地域住民と都市住民との交流
- 5 女性がいきいきと活躍できる場の創出
- 6 スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進

※具体的な事業・アイデア等のご提案

問10 他の地域との交流や連携を進める際に、どのようなことが重要・必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 山陰海岸ジオパークをテーマとした他市町との住民交流
- 2 京阪神圏との交流
- 3 首都圏との交流
- 4 海外との交流
- 5 鳥取市圏域との連携
- 6 豊岡市圏域との連携

※具体的な事業・アイデア等のご提案

◆ 新温泉町のまちづくりについて

問1 1 新温泉町は住みやすいまちですか。(〇は1つ)

1 住みやすい	2 まあまあ住みやすい
3 やや住みにくい	4 住みにくい
5 わからない	

問1 1-1 前問で「5 わからない」以外を答えた方にお聞きします。

なぜ、そのように感じるのですか。

(		)
---	--	---

問1 2 現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1 住み続けたい	2 町内の他の地域に移りたい
3 町外へ移りたい(市区町村名:)	4 わからない

問1 2-1 前問で「4 わからない」以外を答えた方にお聞きします。

なぜ、そのように思うのですか。

(		)
---	--	---

問1 3 新温泉町をイメージする時、どのようなことが思い浮かびますか? (例: 海・山・温泉・文化・ジオパーク・海産物・牛肉など)

(		)
---	--	---

問1 4 新温泉町の好きなところ・誇れるところは何ですか。(〇は3つまで)

1 まちに歴史や伝統が感じられる	2 自然環境がよい
3 新鮮な海産物等おいしい食がある	4 豊かな温泉が身近にある
5 交通の便利さ(鳥取・豊岡地域への鉄道・道路等でのアクセス)	6 通勤・通学の便利さ(鳥取・豊岡地域へのアクセス)
7 病院などの医療施設が充実している	8 保健・福祉施設やサービスが充実している
9 文化・スポーツ施設が充実している	10 まちのイメージがよい
11 人とのつながりがある	12 子育て環境がよい
13 買い物に便利	14 防災の体制が整っている
15 防犯の体制が整っている	16 ^よ 余暇を楽しむ場所が充実している
17 住民活動が活発に行われている	18 住環境がよい
19 行政のサービスがよい	20 その他()

問15 新温泉町のよくないところ・改善すべきところは何ですか。(〇は3つまで)

1 まちに歴史や伝統が感じられない	2 自然環境がよくない
3 交通の不便さ	4 通勤・通学の不便さ
5 病院などの医療施設が不足している	6 保健・福祉施設やサービスが不足している
7 文化・スポーツ施設が不足している	8 まちのイメージがよくない
9 人とのつながりがやすい	10 子育て環境がよくない
11 買い物に不便	12 防災の体制が不十分
13 防犯の体制が不十分	14 余暇を楽しむ場所が少ない
15 住民活動が活発ではない	16 住環境がよくない
17 行政のサービスがよくない	18 その他()

問16 新温泉町が将来どのような特色をもったまちになることを期待しますか。(〇は3つまで)

1 人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち	2 子育てがしやすいまち
3 観光・交流が盛んな活力あるまち	4 史跡や文化財、伝統などを大切にする歴史のまち
5 教育・文化活動の盛んなまち	6 地質などを生かしたジオパークのまち
7 自然環境に恵まれた住み心地のよいまち	8 住環境が整備された暮らしよいまち
9 スポーツや余暇活動の盛んなまち	10 福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち
11 交通安全施設や防犯・防災体制の整った安全なまち	12 その他()
13 わからない	

問17 新温泉町を活性化するためには、どのような地域資源を活かせばよいと思いますか。(〇は1つ)

1 地域の特産品(海産物、牛肉等)	2 ゆかりのある偉人
3 海、山、温泉などの自然資源	4 史跡などの歴史遺産
5 祭りなどの伝統文化	6 町外の人材(町出身者など)
7 町内の人材	8 その他()
9 わからない	

問18 時代の流れへの対応は重要な課題であると考えていますが、人口減少以外に特に重要かつ優先的に対応すべきと考えるものは何ですか。(〇は3つまで)

1 少子高齢化	2 地球環境・エネルギー問題
3 地域福祉の充実	4 防災など安全・安心なまちづくり
5 国際社会・社会経済活動の広域化	6 情報化
7 地域経済の活性化	8 人権意識の高揚、男女共同参画の社会づくり
9 人を育む生涯学習の充実	10 小中学校における学力向上等の充実
11 その他()	12 わからない

◆ あなたご自身のことについておたずねします

(○は1つ)

性別	1 男性	2 女性
年齢	1 15～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳 5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70～79 歳 8 80 歳以上	
家族構成	1 単身世帯（ひとり暮らし） 2 1 世代世帯（夫婦だけ） 3 2 世代世帯（親と子）→→→→→18 歳未満の子ども的人数（ ）人 4 3 世代世帯（親と子と孫）→→→→18 歳未満の子ども的人数（ ）人 5 その他（ ）	
職業 (兼業の方は主なもの)	1 会社員、会社役員 2 公務員、団体職員 3 農林業 4 漁業 5 自営業（商業、工業、サービス業） 6 自営業（医師、弁護士、芸術家等） 7 学生 8 派遣・嘱託・契約社員 9 主婦（夫）などの家事従業者 10 内職・パート・アルバイト 11 無職 12 その他（ ）	
住居	1 持ち家（一戸建て） 2 公営住宅 3 民間の借家（一戸建て） 4 民間の借家（アパートなど） 5 社宅・官舎・寮 6 その他（ ）	
町内での居住年数	1 3 年未満 2 3 年以上～5 年未満 3 5 年以上～10 年未満 4 10 年以上～20 年未満 5 20 年以上	
現在お住まいの校区	1 浜坂東小学校区 2 浜坂西小学校区 3 浜坂南小学校区 4 浜坂北小学校区 5 温泉小学校区 6 照来小学校区	

その他、新温泉町のこれからのまちづくりについてご意見等がありましたらお聞かせください。

★このページからの設問は、49歳までの男女の方のみにお願いいたします。

◆ 結婚・出産・子育てに関する意識や希望について

問19 あなたは現在結婚（事実婚含む）をしていますか。（〇は1つ）

1 現在独身である	2 現在結婚している
-----------	------------

問20 現在結婚している方にお伺いします。知り合ったきっかけは何ですか。（〇は1つ）

1 お見合い	2 職場の同僚、先輩、後輩
3 友人、知人の紹介	4 学校の同級生、先輩、後輩
5 合コン	6 イベント
7 その他（ ）	

問21 現在独身の方に、あなたの結婚観についてお伺いします。（〇は1つ）

1 いずれは結婚したい	2 近い将来には結婚したい
3 結婚はするべきだと思っている	4 結婚したいと思わない
5 理想の相手が見つからなければ結婚しなくてもかまわない	6 わからない
7 その他（ ）	

問22 前問で「1 いずれは結婚したい」、「2 近い将来には結婚したい」、「3 結婚はするべきだと思っている」を答えられた方にお伺いします。結婚したい年齢は何歳ぐらいですか。

1 （ ）歳ぐらい	2 わからない
-----------	---------

問23 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。（〇は3つまで）

1 結婚するにはまだ若いから	2 結婚する必要性を感じないから
3 結婚に夢が持てないから	4 今は仕事（または学業）にうちこみたいから
5 今は趣味や娯楽を楽しみたいから	6 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
7 結婚したいと思える相手にめぐり会わないから	8 出会いの機会がないから
9 出会いの機会に参加する時間がないから	10 異性とうまく付き合えないから
11 経済的理由から	12 自分の健康上の理由から
13 家族の介護が必要だから	14 その他（ ）

問24 あなた自身またはあなたのパートナーはこれまでに出産したことがありますか。(〇は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

問25 前問で、「1 ある」と答えた方にお伺いします。これまでに生んだお子さんの人数は何人ですか。(〇は1つ)

1 1人	2 2人
3 3人	4 4人
5 5人以上 ()人	

問26 あなたは理想として、お子さんを何人欲しいと思いますか(思いましたか)。(〇は1つ)

1 1人	2 2人
3 3人	4 4人
5 5人以上 ()人	6 0人

問27 理想の人数より実際のお子さんの人数が少ない方にお伺いします。その理由は何ですか。(〇は3つまで)

1 仕事や趣味を優先したいから	2 仕事と子育ての両立が難しいから
3 妊娠、出産、育児が精神的、肉体的に大変だから	4 出産・育児等の経済的負担が大きいから
5 子育てに対するパートナーの協力が得られないから	6 教育にお金がかかるから
7 保育サービスが整っていないから	8 働きながら子育てできる職場環境がないから
9 子育てに対する社会的支援体制が不十分だから(たとえば出産一時金など)	10 身近に子育てについて相談したり助けてくれる人がいないから
11 健康上の理由で	12 妊娠しなかった
13 その他 ()	

問28 あなたの世帯の働き方は次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1 夫のみ働いている	2 妻のみ働いている
3 共働きである	4 その他 ()

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。